

令和6年度 日本水産学会大会春季大会

日時 令和6年3月27日(水)～3月30日(土)

場所 東京海洋大学品川キャンパス

大会日程ならびに会場

月 日	時 間	行 事	会 場
3月27日(水)	08:30-	受付開始 ミニシンポジウム	講義棟2階渡り廊下 第2会場
	09:00-12:30	水圏生物の行動解析～水産分野における難題へのチャレンジ～	第1会場
	13:00-16:40	水圏動物の「賢さ」から水産学への展開を探る	
	09:30-17:30	水産環境保全委員会シンポジウム 農林水産業の気候変動影響評価手法と水産分野における将来予測・適応策 —水産分野における課題と展望—	
	11:00-12:00	漁業懇話会委員会	第5会場
	12:00-13:00	水産環境保全委員会	講義棟35番教室
	12:00-13:00	水産政策委員会	講義棟45番教室
	12:00-12:45	水産増殖懇話会委員会	第3会場
	12:00-13:00	水産教育推進委員会	第9会場
	13:15-14:15	水産教育推進委員会 勉強会	第9会場
	13:00-17:00	水産増殖懇話会講演会 国内養殖産業におけるこれからの育種	第3会場
	13:00-16:30	水産学若手の会委員会シンポジウム 20代の水産研究者が考える〇〇～これまでの経験・価値観・研究の観点から～	第7会場
	13:15-17:30	漁業懇話会講演会 定置網漁業における数量管理と選択漁獲技術	第5会場
	13:15-17:30	水産政策委員会シンポジウム 福島第一原発処理水と水産業	第4会場
17:30-20:00	水産学若手の会委員会ナイトポスターセッション	第10会場	
3月28日(木)	09:00-12:00	口頭発表	第1-6、8、9会場
	09:00-12:00	SDGセッション(口頭発表)	第7会場
	11:00-15:00	ポスター発表	第10会場
	12:30-14:00	学会賞・論文賞授賞式	第1会場
	14:00-15:00	日本水産学会賞受賞者講演	第2、3会場
	15:30-17:30	口頭発表	第1-6、8、9会場
	15:30-17:45	SDGセッション(口頭発表)	第7会場
18:00-20:00	会員交歓会	大学会館生協食堂	
3月29日(金)	09:00-12:00	口頭発表	第1-6、8、9会場
	09:00-12:30	SDGセッション(口頭発表)	第7会場
	10:30-13:00	高校生発表(ポスター発表)	第10会場
	12:00-13:00	編集委員会	講義棟21番教室
	13:30-14:30	高校生発表表彰式	第9会場
	11:00-15:00	ポスター発表	第10会場
	13:00-14:20	学会賞受賞者講演	第1-4会場
15:00-18:15	口頭発表	第1-5、8、9会場	
3月30日(土)	09:00-12:45	口頭発表	第1-3、8会場
	11:00-15:00	ポスター発表	第10会場
	13:00-17:45	口頭発表	第1、3会場

学会賞受賞者講演

日時 3月28日(木) 14:00-15:00

	題 目	受賞者	時間	会場
日本水産学会賞	魚介類の代謝機能の解明と食品化学的応用	潮 秀樹	14:00-15:00	第2会場
	水産資源生物の行動生態学的研究	益田 玲爾	14:00-15:00	第3会場

日時 3月29日(金) 13:00-14:20

	題 目	受賞者	時間	会場
水産学進歩賞	高機能アルギン酸分解酵素の発見とそれを利用した有用褐藻類の機能タンパク質に関する生化学的研究	井上 晶	13:00-13:40	第1会場
	養殖海苔色落ち原因珪藻の大量発生機構と植物プランクトン群集の長期変動に関する研究	西川 哲也	13:40-14:20	第1会場
	養殖魚のゲノム選抜育種に関する研究	細谷 将	13:00-13:40	第2会場
水産学奨励賞	ウナギ属魚類の生態解明と保全に関する研究	板倉 光	13:00-13:40	第3会場
	微細藻類を起点とした仔魚への効果的な ω 3脂肪酸供給システムの構築に関する研究	松井 英明	13:40-14:20	第3会場
水産学技術賞	カワウの繁殖抑制対策等を用いた内水面の漁業資源保全に関する技術	坪井 潤一	13:00-13:40	第4会場
	画像処理技術を適用した魚体計測技術の開発と養殖業への導入	米山 和良	13:40-14:20	第4会場

関連行事日程

	行事	時間	会場
3月27日(水)	日本付着生物学会 研究集会	10:00-17:00	第8会場(白鷹館1階講義室)
	マリンケミカルバイオロジー研究会	14:00-15:00	第6会場(講義棟44番講義室)
	マリントキシン研究会	15:00-17:00	第6会場(講義棟44番講義室)
	水産物エキス研究会	15:00-17:00	第9会場(白鷹館2階多目的スペース)
3月28日(木)	日本水産増殖学会 総会・評議員会議	12:00-13:00	第8会場(白鷹館1階講義室)
3月29日(金)	水産育種研究会 勉強会	18:30-19:30	第5会場(講義棟42番教室)
	水産育種研究会 総会	19:30-20:30	第5会場(講義棟42番教室)
3月30日(土)	音響水産資源調査研究会	16:30-18:00	第1会場(講義棟大講義室)

大会参加者の皆様へのお知らせ

受付

講義棟 2 階渡り廊下に受付を設置します。令和 6 年度日本水産学会春季大会ホームページの「マイページ」に参加申込受付時に発行された受付番号とパスワードでログインすると参加章をダウンロードできます。事前に、参加章をダウンロード・印刷し、受付に持参してください。講演要旨集もこの受付番号とパスワードでダウンロードできます。

全てのシンポジウムと講演会は一般公開されます。シンポジウムと講演会に限り無料でご参加いただけます。会場内での感染管理のため、御来場の際は、くれぐれも体調に留意され、発熱や喉の痛みがある場合はご参加をお控えください。

口頭発表資料の提出および発表要領

パワーポイントファイルを入れたUSBメモリ（必ずウイルスチェックしてからお持ちください）を各自会場にご持参ください。ファイルの会場PCへのコピーは午前・午後のセッション開始前に行ってください。必ず下記に示した時間内に会場にファイルをお持ちになり、係の指示に従ってPCへのコピーをお願いします。午前・午後共にセッション中は休憩がありませんので、予めコピーをお願いします。

- ・ 午前セッションでの発表の方は、午前のセッション開始前の8:00-8:50の間（午前のセッション開始1時間前から10分前までの間）
- ・ 午後セッションでの発表の方は、午前のセッション終了後から午後のセッション開始10分前の間

口頭発表1演題の時間は15分（発表12分、討論3分）です。11分経過時に予鈴が1回、12分経過時に本鈴が2回鳴ります。以降、1分経過ごとに警告鈴が3回鳴ります。2演題連続での発表の場合には、23分経過時に予鈴が1回、24分経過時に本鈴が2回鳴ります。以降、1分経過ごとに警告鈴が3回鳴ります。演者の皆様には発表時間厳守をお願いします。パワーポイントのスライドの送りは演者自身がPCのキー（↓）にて操作してください。

口頭発表では午前と午後の1題目の演題を除き、演者または共著者のいずれかの方に、次の演題の座長を務めていただきます。午前と午後の1題目の演題の座長と、2演題以上連続する発表での2演題目以降の演題の座長は大会実行委員会の会場係が務めます。

ポスター発表要領

ポスターの掲示は3月28日から30日までの3日間に3回に分けて行います。ポスターの掲示作業は10:30までに発表者自身で完了してください。講演番号を指定したボード、画鋏等を用意します。ポスターの掲示は3月28日から30日までのいずれも11:00-15:00です。

このうち討論時間は講演番号が奇数の方は12:15-13:15、講演番号が偶数の方は13:15-14:15です。発表者はこの時間帯にご自身のポスター前に待機してください。

ポスターの撤去は17:00までに完了してください。ただし、3月30日は掲示時間終了後（15:00）速やかに撤去してください。お忘れになった場合は、大会期間中は大会本部（2号館 100B）で保管しますが、その後は廃棄させていただきます。

発表講演者の皆様へ

発表会場入口に演者の一覧表を掲示します。入場前に確認のチェックを入れてください。

展示

展示会場は講義棟玄関ホール, 講義棟 3 階, 4 階の講義室です。

喫煙

学内は禁煙です。喫煙は指定場所をお願いします。

昼食

3 月 27 日(水), 28 日(木), 29 日(金)は, 大学会館生協食堂 (営業時間:11:30-13:00) と購買 (営業時間:11:00-14:00) が営業しています。また, 3 月 30 日(土)は, 購買(営業時間:11:30-13:30)のみが営業しています。

Wi-Fi 環境

各会場では, eduroam が使用可能です。使用される場合は, 事前に所属機関においてアカウントを取得してください。

Participant Guideline for SDGs program session

Thank you for attending 2024 Spring Meeting of JSFS. Please read carefully the following instructions and guidelines for oral presentations.

Reception:

Reception desk is located on 2nd floor of the main lecture building (please refer to the map in this booklet). Participants can download the participation badge by logging in with the registration number and password provided at the time of application on the "My Page" for the 2024 Spring Meeting of the JSFS. Participants are kindly requested to download and print the participation badge in advance and bring it to the registration desk. Abstracts of the presentations can also be downloaded using the same registration number and password.

Reception for the event (conference/seminar) starts at 8:30 am.

Please present/show your participation badge or name (or business) card at the reception.

Lecture room and presentation guidelines:

Lecture room for SDGs session is located on 100A, 1st floor of Building No.2.

For your oral presentation, you may bring a PowerPoint file on a USB flash drive (memory stick). You are highly encouraged to bring an additional copy of your presentation in case of technical difficulties. It is suggested that you email a copy of your presentation to your personal inbox as a backup. If for some reason the files cannot be accessed from your flash drive, you will be able to download them to the computer from your email.

All oral presenters are required to submit an electronic version prior to the beginning of the session in the meeting room. All presentations will be scanned for viruses and subsequently loaded on the main projector computer.

- For the morning session of 28th and 29th of March, 2024, please submit your PowerPoint file by 8:50 am.
- For the afternoon session of 28th of March, 2024, please submit your PowerPoint file between 12:10 am and 15:20 pm.

Use of your own laptop is not recommended.

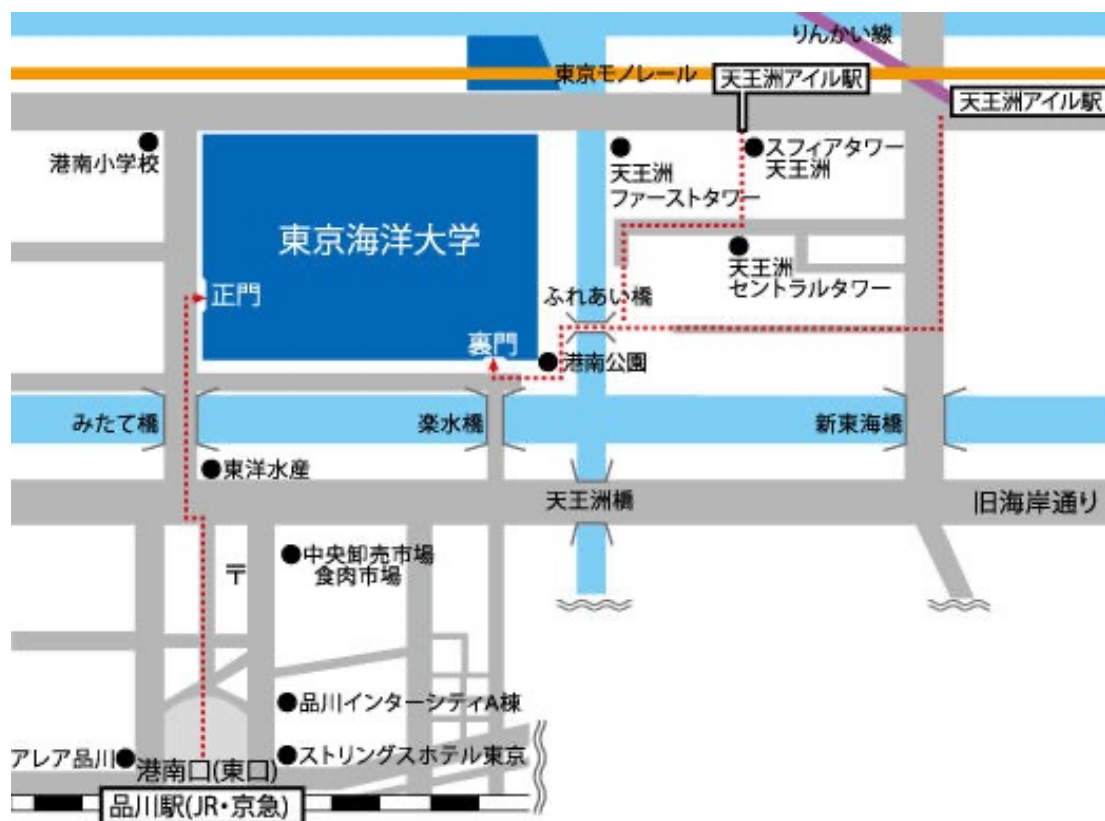
- **Movies:** If your PowerPoint files contain movies, please make sure that they are well formatted and connected to the main files.
- **Timing:** Please make sure that your presentation is well timed. Every speaker has a maximum of 15 minutes total, including speaking time and discussion. Please keep in mind that the program is full, and that the speaker after you would like their allocated time available to them.

研究発表日程表

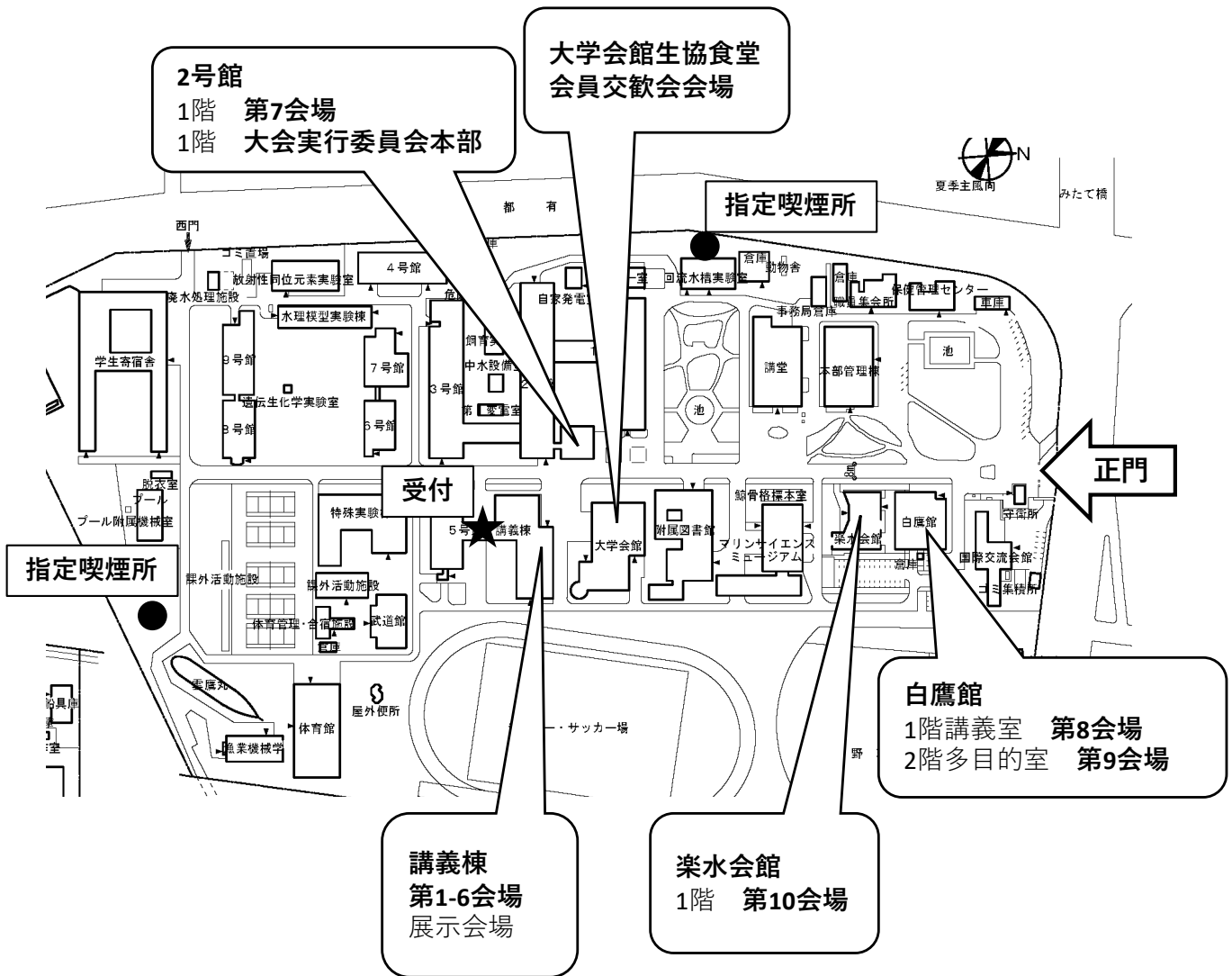
会場	3月28日(木)		3月29日(金)		3月30日(土)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	09:00-12:00	15:30-17:30	09:00-12:30	15:00-18:15	09:00-12:45	13:00-17:45
1	漁具 漁法 0101-0112	漁法 0113-0120	漁場 資源 0121-0132	資源 0133-0144	資源 音響・計測 0145-0156	音響・計測 0157-0168
2	分類 形態 生理 0201-0212	生理 0213-0220	生理 0221-0232	生理 海藻 その他 0233-0244	ベントス プランクトン その他 0245-0254	
3	生態 0301-0312	生態 0313-0320	生態 0321-0332	生態 0333-0344	生態 0345-0356	生態 行動生理 0357-0375
4	餌料生物 種苗生産 0401-0412	種苗生産 0413-0420	栄養・飼料 0421-0432	栄養・飼料 養成 魚病 その他 0433-0444		
5	増養殖環境 生体防御 0501-0512	生体防御 0513-0520	遺伝・育種 0521-0532	遺伝・育種 0533-0545		
6	富栄養化 環境微生物 水域汚染 生体汚染 0601-0612	生体汚染 有害・有毒プランクトン 0613-0620	その他 0621-0627			
7	SDGs SDGs01-SDGs08	SDGs SDGs09-SDGs17	SDGs SDGs18-SDGs31			
8	食品加工 0801-0812	食品加工 その他 0813-0820	鮮度保持 食品衛生 0821-0832	食品衛生 食品微生物 生理活性物質 0833-0844	生理活性物質 0845-0859	
9	タンパク質・酵素・核 酸 0901-0907	脂質・糖質 エキス成分 色素・ビタミン 0908-0914	水産経済 水産政策 0915-0926	水産政策 水産教育 その他 0927-0933		
10	ポスター発表 I (11:00-15:00)		ポスター発表 II (11:00-15:00) 高校生発表(10:30-13:00)		ポスター発表 III (11:00-15:00)	

会場へのアクセス

- JR線・京浜急行線 品川駅港南口（東口）から徒歩約15分
- 東京モノレール 天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り裏門まで約10分
- りんかい線 天王洲アイランド駅から「ふれあい橋」を渡り裏門まで約15分

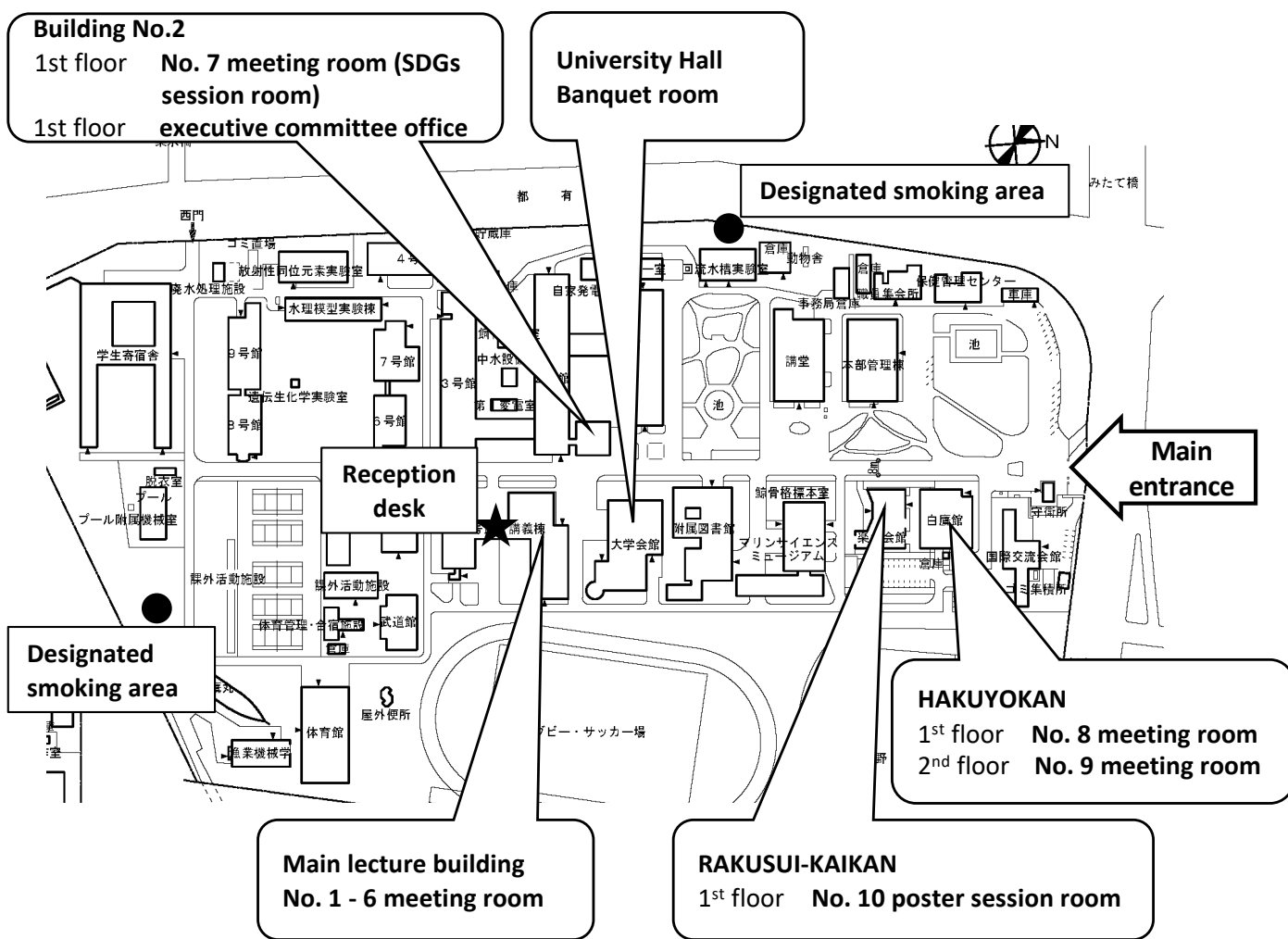


会場案内図

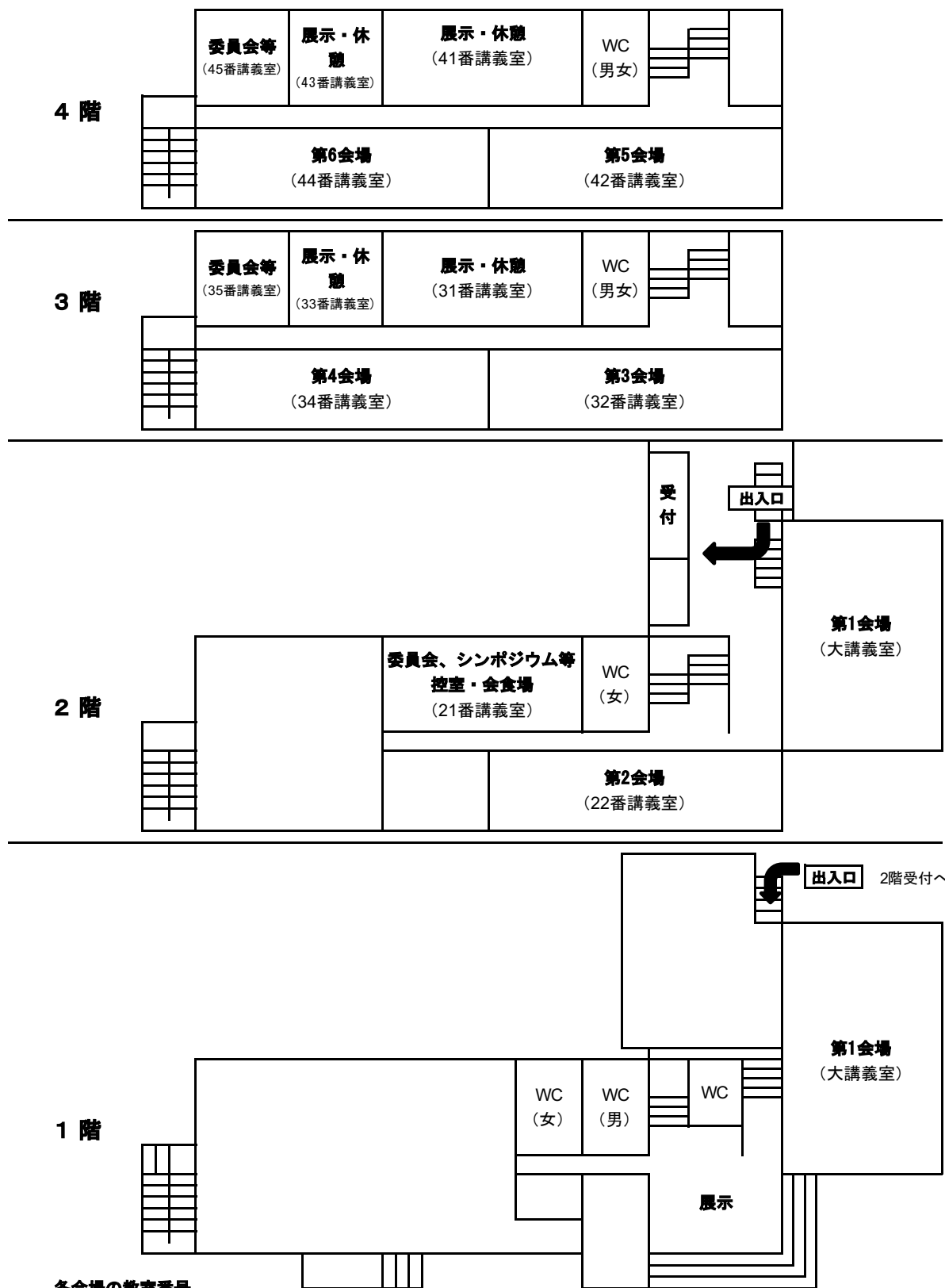


※会場は変更されることがあります。

Venue Map



講義棟（第2～8会場）案内図



各会場の教室番号

- | | | | | | |
|------|-----|--------|-------|------|---------|
| 第1会場 | 講義棟 | 大講義室 | 第6会場 | 講義棟 | 44番講義室 |
| 第2会場 | 講義棟 | 22番講義室 | 第7会場 | 2号館 | 100A講義室 |
| 第3会場 | 講義棟 | 32番講義室 | 第8会場 | 白鷹館 | 1階講義室 |
| 第4会場 | 講義棟 | 34番講義室 | 第9会場 | 白鷹館 | 多目的スペース |
| 第5会場 | 講義棟 | 42番講義室 | 第10会場 | 楽水会館 | 大会議室 |

展示会場 講義棟 1階玄関ホール、31、33、41、43番講義室

本部 2号館 100A講義室

委員会 第3、5、9会場、講義棟21、35、45番講義室

簡易プログラム

一般講演

SDGs 講演

ポスター

高校生発表

シンポジウム等

このプログラムはインターネットで申し込まれたデータを元に作成しています。

令和6年度日本水産学会春季大会プログラム

期間 令和6年3月27日(水)～3月30日(土)

場所 東京海洋大学(品川キャンパス)

第1会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0101 大阪湾における石桁網による繰り返し曳網実験 1. 海底ごみと生物の入網状況
..... ○大美博昭・周藤大樹(大阪環農水研)・東海 正(海洋大)
- 9:15 0102 大阪湾における石桁網による繰り返し曳網実験 2. 区分求積法を用いた重複掃過面積の評価について
..... ○東海 正・佐藤正樹・庄 鑫・塩出大輔(海洋大)・大美博昭・周藤大樹(大阪環農水研)・
内田圭一・宮本隆典(海洋大)
- 9:30 0103 大阪湾における石桁網による繰り返し曳網実験 3. 石桁網による底生生物と海底ごみに対する採集
効率の推定について
..... ○東海 正・佐藤正樹・庄 鑫・塩出大輔(海洋大)・大美博昭・周藤大樹(大阪環農水研)・
内田圭一・宮本隆典(海洋大)
- 9:45 0104 海底プラスチックごみの採集効率推定のためのビームトロールの前後連結曳網方法の開発の試み
..... ○山崎慎太郎・山本晋玄(水産機構技術研)・東海 正・塩出大輔・内田圭一(海洋大)
- 10:00 0105 志布志湾ビーム式底曳網による海底プラスチックごみ回収量
..... ○末岡愛佳・江幡恵吾(鹿大水)・岡本宗明(東申良漁協)
- 10:15 0106 鹿児島県薩摩川内沖におけるごち網の掃過面積と海底ごみ回収量
..... ○神谷隼輔・江幡恵吾・三橋延央(鹿大院水)・小倉貞治(川内市漁協)
- 10:30 0107 タイ国バンガー沿岸の刺網漁業で回収される海洋ごみの実態
..... ○神谷隼輔・江幡恵吾・Thanakorn Sangeamwong(鹿大院水)・
Phatcharapol Boonserm(カセサート大院)
- 10:45 0108 沿岸刺網漁場で発見したALDFGとそれらの生物への影響
..... Saranya Raju・○松下吉樹・高橋千代(長大院水環)
- 11:00 0109 使用済みポリエチレン漁網(廃棄対象)を原料としたリサイクル漁網の開発 ～廃棄漁網の異物除去が
リサイクル漁網の破断特性に及ぼす影響～
..... ○貝田昂大・伊藤 翔・草野 新・箕澤 毅・熊沢泰生(ニチモウ)
- 11:15 0110 生分解性プラスチック人工海藻のイセエビ幼生着生効果と海中浸漬による強度変化
... ○牧瀬桃香・江幡恵吾・松岡 翠・山本智子(鹿大院水)・豊福真也・矢代幸太郎(東京久栄)・
税所誠一・前田一巳(鹿児島共和コンクリート工業)・
志摩浩一・津代美佐男(内之浦漁協)
- 11:30 0111 角目天井網の取付位置が異なるコッドエンドに対するアカムツのサイズ選択性
..... ○梶川和武・佐々木 駿・古賀淳司・富賀見清彦・中村公彦(水産機構 水大校)
- 11:45 0112 状態推定技術による網漁具形状制御と流体力係数推定に関する研究
... ○八重樫健吾・多田治生(北大院環)・鈴木勝也(日東製網)・田村怜子(神奈川水技セ相模湾)・
五味伸太郎(水産機構資源研)・高木 力(北大院水)

午 後

- 15:30 0113 魚群行動モデルの構築を目的とした定置網に入網するクロマグロを対象とした魚群行動パラメータの計測
 …… ○木村大地(北大院水)・細川貴志・鈴木勝也(日東製網)・米山和良・高橋勇樹(北大院水)
- 15:45 0114 定置網用魚群探知機の画像から求めた魚群量指数と箱網の漁獲量との関係
 …… ○宮本隆典・中江正樹・秋山清二(海洋大)・野呂英樹(ホリエイ)
- 16:00 0115 水中における移動軌跡と経路上の流れを推定する装置開発
 …… ○鐘ヶ江直樹・坂本子龍・福島汐織・比田貴博・牧口祐也・小島隆人(日大生物資源)
- 16:15 0116 小型いか釣漁船における配光シミュレーションの活用
 …… ○鈴木大智・加藤慶樹・宮原 一・薄 光憲(水産機構開発セ)・有賀貴紀・五味広祐・渡邊和憲(日亜化学工業)・横田耕介(水産機構開発セ)
- 16:30 0117 餌を介して記録されたヒラメの心電図を用いた騒音による影響評価の試み
 …… 中村祐基・福島英登・牧口祐也・○小島隆人(日大生物資源)
- 16:45 0118 魚類電気不動化の作用機序と中枢神経への影響評価
 …… ○池田怜史(西ニチモウ 鹿大水)・安樂和彦・上田七星(鹿大水)
- 17:00 0119 音波に対するクロダイ(*Acanthopagrus schlegelii*)の反応行動実験
 …… ○田内葉子・井幡光詞・粟野智治・服部亮史・秋元晋平・湯浅美里(三菱電機株式会社)
- 17:15 0120 鹿児島県西薩海域における棒受網の操業海域と燃油消費量当たりの水揚げ量の季節変化
 …… ○枝元拓磨・江幡恵吾(鹿大院水)・新町昭久(北さつま漁協)

第1会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0121 練習船・耕洋丸のリングネットを用いた山口県日本海側における仔魚分布調査(2023年)
 …… ○毛利雅彦・古賀淳司・富賀見清彦・寺島達朗・中村公彦・小金丸真司(水産機構水大校)
- 9:15 0122 係留索がアマモ場生態系に与える影響
 …… ○高橋千代・Saranya Raju・我部山 真(長大院水環)・Gregory Naoki Nishihara(長大海洋機構)・松下吉樹(長大院水環)
- 9:30 0123 漁船数の減少と漁場選択行動-北海道日高地域における沖合底曳網漁業を事例に-
 …… ○中元魁人・八木信行・阪井裕太郎(東大院農)
- 9:45 0124 噴火湾における2022-2023年のスケトウダラ太平洋系群の初期成長
 …… ○及川航太・高津哲也・石川智也・松本涼太郎・中屋光裕(北大院水)
- 10:00 0125 GAMに基づく延縄漁業におけるキハダマグロのCPUE標準化に対する異なる空間解像度の影響
 …… ○許 回(北大院水)
- 10:15 0126 広域かつ逐次的な水産資源推定に向けた漁船特性データベース構築の予備的研究
 …… ○金澤海斗(岩手大院)・石村学志(岩手大農)・阿部景太(武蔵大経)・中村洸介(岩手連大)・木皿祐雅・三橋瑛絵(岩手大院)
- 10:30 0127 噴火湾におけるキュウリウオ*Osmerus dentex*の繁殖生態
 …… ○五十嵐憂樹・中屋光裕・松本涼太郎・高津哲也(北大院水)
- 10:45 0128 陸奥湾におけるマダラ資源増加期の稚魚の胃内容物組成
 …… 董 安然・○高津哲也・石川智也・中屋光裕(北大院水)
- 11:00 0129 放流アユはもうからない?~小規模放流河川での9年間の調査から~
 …… ○高木優也・吉田 豊(栃木水試)
- 11:15 0130 モザンビーク海峡におけるインドエビの遺伝子流動
 …… ○今井秀行・知念龍之介(琉球大理)
- 11:30 0131 日本海西部におけるズワイガニの成長・成熟の時空間変化
 …… ○佐久間 啓・上田祐司(水産機構資源研)
- 11:45 0132 2021-2023年のデータを用いたツチクジラ太平洋系群の個体数推定
 …… ○佐々木裕子・金治 佑(水産機構資源研)

午 後

- 15:00 0133 富山湾におけるシラエビ (*Pasiphaea japonica*) の余剰生産モデルを用いた資源解析
 ○三箇真弘 (富山水研)
- 15:15 0134 日本漁船行動推定に基づく境界海域における外国船活動推定の予備的研究
 ○三橋瑳絵・金澤海斗 (岩手大院)・石村学志 (岩手大農)・阿部景太 (武蔵大経)
- 15:30 0135 瀬戸内海にMSYを達成できる基礎生産量はあるのか?
 ○山本昌幸・渡慶次 力 (福井県大海洋生資)・富山 毅 (広大院統合生命科)
- 15:45 0136 高解像度のカツオ卵巣組織切片画像に対応した卵母細胞の自動検出
 ○山澤拓馬 (北大水)・米山和良 (北大院水)・津田裕一・青木良徳 (水産機構資源研)・
 田中文也・田中知美 (マリノリサーチ)
- 16:00 0137 春季に三浦半島周辺で漁獲されるスルメイカ小型個体のふ化時期と成長
 ... ○小松原昂樹・中屋光裕・沖本恭平・高津哲也 (北大院水)・山本 潤 (北大フィールド科セ)・
 柳本 卓 (水産機構資源研)
- 16:15 0138 ディープラーニングによる旬ごとの気象データを用いた八代海の赤潮発生予測
 ○庄野 宏 (武庫女大情報)
- 16:30 0139 三重県鳥羽市国崎町沿岸における輪採漁場でのアワビ類の漁獲動向
 ○松田浩一 (三重大院生資)・田中翔稀 (三重水研)
- 16:45 0140 スルメイカ親魚量指標値の開発
 ○森山丈継・岡本 俊・宮原寿恵・松倉隆一 (水産機構資源研)
- 17:00 0141 複数体長組成データ解析による%SPR推定法の頑健性の検討
 ○菅野隼人 (北大GFR)・松石 隆 (北大院水)
- 17:15 0142 琵琶湖南湖南部におけるシジミ類の資源変動とその要因
 ○石崎大介・酒井明久 (滋賀水試)
- 17:30 0143 茨城で獲れるイセエビはでかい
 ○多賀 真・西丸裕敏 (茨城水試)
- 17:45 0144 山形県酒田港の遊漁によるハタハタ釣獲量の推定
 ○飯田真也 (水産機構資源研)・高澤俊秀 (山形水研)

第1会場

3月30日(土)

午 前

- 9:00 0145 サクラマス当歳魚における体サイズの密度依存性は成長段階によって変化する
 ○長谷川 功・大門純平・佐橋玄記・福井 翔・小倉裕平・大熊一正 (水産機構資源研)
- 9:15 0146 画像認識AIを用いたサクラエビの体長推定及び持卵個体の認識
 ○中嶋希美・上甲 周 (静岡専)・永田正樹 (静岡大情報基盤センター)・
 塩崎雅基 (静岡専)・阿部祐輔 (株アバンセ)
- 9:30 0147 ステレオ画像による魚体測技術を用いた水槽内を遊泳するサクラマスの尾鰭振動数推定
 ○佐々木勇人 (北大院水)・西川 凜 (北大水)・米山和良 (北大院水)
- 9:45 0148 淡水養成されたサクラマスの成長モニタリング:カメラ計測とPITタグによる成長追跡
 ○山崎祐人・松尾周佳 (北大院水)・池上温史 (北大院水・古野電気)・高橋英佑・
 萩原聖士 (北大フィールド科セ七飯)・高橋勇樹・米山和良 (北大院水)
- 10:00 0149 ステレオカメラを用いた養成サクラマスの魚体長の自動計測性能の評価
 ○松尾周佳・山崎祐人 (北大院水)・池上温史 (北大院水・古野電気)・米山和良 (北大院水)
- 10:15 0150 サクラマスを対象とした画像認識技術による魚群行動計測
 ○西川 凜 (北大水)・佐々木勇人・米山和良 (北大院水)
- 10:30 0151 海上生簀における養成水温と養殖ブリの鉛直遊泳行動の特徴
 ○倉橋康平 (北大水)・池上温史 (北大院水/古野電気)・高橋勇樹・米山和良 (北大院水)
- 10:45 0152 日没時における養殖ブリの深度別体サイズ計測
 ○池上温史 (北大院水・古野電気)・佐々木勇人・高橋勇樹・米山和良 (北大院水)

- 11:00 0153 成長モニタリング技術を応用した異なる養成環境における養殖魚の成長比較
 ○米山和良(北大院水)・曾田竜輔(古野電気)・池上温史(北大院水・古野電気)・高橋勇樹(北大院水)・浅海 茂(古野電気)
- 11:15 0154 ユビキタス魚探画像を用いたクラス分類による定置網内の漁獲量推定
 ○杉野健太(海洋大/海洋研究開発機構)・吉田毅郎・西川 悠(海洋研究開発機構)・細川貴志(日東製網株式会社)・松岡大祐(海洋研究開発機構)・根本雅生(海洋大)
- 11:30 0155 水中植物のAEセンシング—センサの選定と動態監視の試み—
 ○長谷亜蘭(埼玉工大)・荻原豪太・福本 正(西松建設)
- 11:45 0156 深層学習を用いたスケトウダラ耳石画像からの年齢推定手法の検討
 ○眞名野将大・柴田泰宙・岩原由佳・山下夕帆・境 磨・千村昌之・濱津友紀(水産機構資源研)

午 後

- 13:00 0157 音響プロファイラーで観測した噴火湾砂原沖の生物と海洋環境との関係性について
 ○櫻井海晟・長谷川浩平・向井 徹・閻 乃箏(北大院水)・東 一彦(NORTH PROJECT株式会社)
- 13:15 0158 サンマなどの浮魚類を対象とした全周ソナーによる音響推定量とトロールによる漁獲量との比較
 ○澤田浩一・高橋竜三・福田美亮(水産機構技術研)・巢山 哲(水産機構資源研)
- 13:30 0159 Habitat Research of Pacific Saury (*Cololabis saira*) in the Northwest Pacific Ocean Based on Acoustic Data
 ○薛 銘華・童 劍鋒(上海海洋大学)・馬 穩(厦門大学)・朱 振宏(上海海洋大学)
- 13:45 0160 スケトウダラ太平洋系群における産卵来遊群の分布と生息環境
 ○高橋昂大・渡野邊雅道(道裁水試)・武藤卓志(函館水試)・本間隆之(釧路水試)
- 14:00 0161 SEAFDECにおける音響調査能力向上の取り組み
 ○安部幸樹(SEAFDEC/水産機構)
- 14:15 0162 マルチビームソナーを用いた内水面水産資源調査方法の提案
 ○王 勇(古野電気株式会社)・安形仁宏・林田寿文(国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センター)
- 14:30 0163 魚の三次元構造に基づいた音波反射模型の作成及びエコーシミュレーション法の初期検討
 ○伊藤雅紀・田中弘毅・西森 靖(古野電気)
- 14:45 0164 サンマのターゲットストレングス推定に必要な魚肉の密度比・音速比の測定
 ○福田美亮・澤田浩一・高橋竜三(水産機構技術研)・巢山 哲(水産機構資源研)
- 15:00 0165 懸垂法を用いたサケ稚魚の広帯域腹方向ターゲットストレングス特性について
 ○楊 睿通・閻 乃箏・長谷川浩平・向井 徹(北大院水)・清水勇一・岡部 聖・太田倫太郎(岩手県水技セ)
- 15:15 0166 計量ソナーに用いるマサバの3次元ターゲットストレングス
 ○閻 乃箏・向井 徹・長谷川浩平・飯田浩二・鶴田直剛(北大水)
- 15:30 0167 2018/19年の南極海東インド洋区における2種類の解析手法(3周波差分法とスワーム法)を用いたナンキョクオキアミの現存量推定
 ○長田玲子・村瀬弘人・山本那津生・甘糟和男(海洋大)・松倉隆一(水産機構資源研)・安部幸樹(SEAFDEC)
- 15:45 0168 広帯域音波を用いたナンキョクオキアミの姿勢角分布推定
 ○山本那津生・甘糟和男(海洋大)・安部幸樹(SEAFDEC)・松倉隆一(水産機構資源研)・村瀬弘人(海洋大)

第2会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0201 日本沿岸のヤドカリ類に寄生するヤドカリノハラヤドリ亜科(甲殻亜門:等脚目)の種多様性
..... ○篠田晏希・藤田大樹・中野智之・下村通誉(京大・瀬戸臨海)
- 9:15 0202 石垣島固有種イシガキヌマエビと近縁外来種シナヌマエビについて
..... ○永井大翔(琉球大院理工)・今井秀行(琉球大理)
- 9:30 0203 サング稚ポリプの隔壁形成に關与する微小結晶の可視化
..... ○高橋有南・大野良和(北里大海洋)・窪田 梓(日本電子)・井口 亮・
飯島真理子(産総研)・水澤奈々美(北里大海洋)・中村 崇(琉球大理)・
鈴木 淳(産総研)・鈴木道生(東大院農)・安元 純(琉球大農)・
渡部終五・安元 剛(北里大海洋)
- 9:45 0204 QRコードを用いた魚類のストレス応答測定用バイオセンサのためのデータ出力異常検知システムの開発
..... ○呉 海云・出田和毅(海洋大)・松本陽斗・村田政隆(道工技セ)・大貫 等・
柴田恭幸・遠藤英明(海洋大)
- 10:00 0205 クロマグロ性決定候補遺伝子の発現動態
..... ○林田貴雄(水産機構技術研)・相馬智史(水産機構資源研)・風藤行紀(水産機構技術研)・
中村洋路(水産機構資源研)
- 10:15 0206 紅藻類海藻ツルシラモ(*Gracilariopsis chorda*)における硝酸還元酵素と亜硝酸還元酵素の
組換えタンパク質合成
..... ○本間悠里・垣田浩孝(日大文理)
- 10:30 0207 クサフグ胚における糖新生関連遺伝子の発現
..... ○児玉孝文・渡辺晟也・栢沼勇魚・佐々木 麟(北里大海洋)・黒川大輔(東大院理)・
古川史也(北里大海洋)
- 10:45 0208 凍結生殖細胞の異種宿主への移植を介した天然記念物ミヤコタナゴの生産
..... ○山川宏樹(海洋大)・川口 究(いであ)・吉崎悟朗(海洋大)
- 11:00 0209 発生初期の一時的な低酸素暴露は成長後の低酸素耐性を向上させる
..... ○早坂央希・亀井宏泰(金大理工)
- 11:15 0210 キタムラサキウニ主要卵黄タンパク質遺伝子の発現における核内受容体COUP-TFの機能解析
..... ○樋口一郎・都木靖彰・浦 和寛(北大院水)
- 11:30 0211 イルカの末端組織で発現するアルブミンの機能
..... ○齋藤夏歩・柴崎康宏・伊藤琢也・鈴木美和(日大生物資源)
- 11:45 0212 イルカの皮下脂肪における血清タンパク質の発現とその機構解析
..... ○高野美紅・鈴木美和(日大生物資源)・船坂徳子・吉岡 基(三重大院生資)・
渡辺友梨絵・稲森大樹(太地くじら博)・進藤英朗・河村景子・立川利幸(しものせき水族館)・
尾崎美樹・細野雅之(アドベンチャーワールド)

午 後

- 15:30 0213 サクラマス海水投入時の新たなストレス評価手法の検討
..... ○池本恵祐・山口 文・佐々木典子(道さけます内水試)
- 15:45 0214 回遊型および陸封型アユの塩類細胞における海水順応機構の比較
..... ○大津祐人(東大院農)・松尾周平・日下部 誠(静岡大理)・菅原和宏(滋賀水試)・
井ノ口 繭(東大院農)
- 16:00 0215 雌性先熟魚スジアラの性分化時期における雄化誘導
..... ○三好花歩・山口智史・藤倉佑治・竹内宏行・宇治 督(水産機構技術研)
- 16:15 0216 amhr2ノックアウトヒラメを用いた雄化の分子機構の解析
..... ○山口寿哉(水産機構技術研)・北野 健(熊大院先端科学)
- 16:30 0217 泥水がサクラマスの銀化変態に及ぼす影響
..... ○小島大輔・今井 智・清水大輔・湯浅 啓・森田哲男(水産機構技術研)

- 16:45 0218 ニジマスの血中インスリン様成長因子(IGF)-1とIGF結合タンパクに対する育種の効果
 ……井筒彩歌(北大院水)・Brian Small(アイダホ大)・清水宗敬(北大フィールド科セ)
- 17:00 0219 濾胞刺激ホルモン受容体fshrノックアウトナイルティラピアの表現型解析
 ……高 赫・荒井那允・井尻成保(北大院水)
- 17:15 0220 高血糖を引き起こしたキンギョの骨代謝に及ぼす影響
 ……黒田康平(金沢大)・丸山雄介(立教大)・渡辺数基(小松大)・遠藤雅人(海洋大)・
 松原 創(金沢大)・田淵圭章(富山大)・平山 順(小松大)・服部淳彦(立教大)・
 ○鈴木信雄(金沢大)

第2会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0221 硬骨魚類の鱗や鱗板におけるヒアルロン酸の局在解析
 ……○飯村九林(十文字女大)
- 9:15 0222 メダカの時計遺伝子と解糖系酵素遺伝子の発現に水温と光波長が及ぼす影響
 ……熊本拓也・池上花奈・高橋明義・○水澤寛太(北里大海洋)
- 9:30 0223 ホシガレイ脳内における時計遺伝子と甲状腺ホルモン関連遺伝子の発現に水温と緑色光が及ぼす影響
 ……金子真輝(北里大海洋)・小島大輔・清水大輔(水産機構技術研)・池上花奈・高橋明義・
 ○水澤寛太(北里大海洋)
- 9:45 0224 カエルアノコウの“釣り運動ニューロン”の特異な分布
 ……○山本直之・萩尾華子(名大院生命農)
- 10:00 0225 アオリイカの精巣発達におけるGnRH-likeとテストステロンの機能
 ……久保海和(長大院水環)・○村田良介(長大海セ)・延平裕次(高知大農海)・
 青島 隆(長大水)・征矢野 清(長大海セ)
- 10:15 0226 濾胞刺激ホルモン受容体をノックアウトしたニジマスは雌雄ともに不妊になる
 ……○津田真咲(海洋大)・林 誠(筑波大)・三輪美砂子・藤原 亮・守谷奈津子・
 吉崎悟朗(海洋大)
- 10:30 0227 濾胞刺激ホルモン遺伝子を過剰発現したニジマス宿主はドナー由来精子を半年で生産するか?
 ……○守谷奈津子・三輪美砂子・森田哲朗・吉崎悟朗(海洋大)
- 10:45 0228 他家配偶子生産を目的としたマサバ精巣組織の体側筋内移植時における生理応答の解明
 ……○八尋逸清・佐藤桜雅(九大院生資環)・河崎敏宏・酒井則良(遺伝研)・
 伊藤武彦(東工大生命理工)・柚本智軌・松山倫也・Tapas Chakraborty・
 太田耕平(九大院農)
- 11:00 0229 メダカにおける雄化誘導機構の解析
 ……草野呼人(熊大院自然科学)・川村 亘・○北野 健(熊大院先端科学)
- 11:15 0230 nanos2-gfp導入ニジマスにおける機能的精原幹細胞の濃縮
 ……○猿田裕典・山川宏樹・市田健介・吉崎悟朗(海洋大)
- 11:30 0231 メダカにおける環境依存的性決定機構の解明を目指したPpar α の標的遺伝子の探索
 ……○川村 亘・向井幸樹(熊大院先端科学)・大里凌也(熊大院自然科学)・
 北野 健(熊大院先端科学)
- 11:45 0232 視野の位置情報が魚類の脳まで送られている可能性
 ……○萩尾華子・山本直之(名大院生命農)

午 後

- 15:00 0233 遺伝子発現情報を利用したブリ性拮抗選択の可視化
 ……○小山 喬(長大院水環)・豊田 敦(遺伝研)・水野直樹・菊池 潔(東大水実)
- 15:15 0234 ブリ抗体の検出を阻害する血清成分の同定
 ……○堤 京太郎・糸井史朗・周防 玲(日大生物資源)・小祝敬一郎・廣野育生・
 近藤秀裕(海洋大)

- 15:30 0235 性転換魚ホシササノハベラの生殖腺に存在する幹細胞2種のsingle-cell RNA-seq解析
 …… 吉原佑哉・Tapas Chakraborty・水村航大・立山和樹・山崎裕美子(九大院農)・
 豊田 敦(遺伝研)・伊藤武彦(東工大生命理工)・高橋史也・馬場 崇(九大院医)・
 諸橋憲一郎(久留米大医)・松山倫也(九大院農)・長濱嘉孝(金沢大生命理工/基生研)・
 ○太田耕平(九大院農)
- 15:45 0236 代理親魚技法によるムサシトミヨの卵と精子の生産
 …… ○天野雄一・馬場春都(海洋大)・山口光太郎(埼玉水研)・吉崎悟朗(海洋大)
- 16:00 0237 ニホンウナギ卵巣におけるLHサージによる最終成熟誘起ステロイド産生誘導機構
 …… ○田窪祐也・古川景大・井尻成保(北大院水)・風藤行紀(水産機構技術研)
- 16:15 0238 アユ成魚における多様なNa, K-ATPase α サブユニットによる浸透圧調節機構
 …… ○松尾周平(静岡大理)・大津祐人・井ノ口 繭(東大院農)・飯郷雅之(宇都宮大農)・
 栢木健吾(静岡大理)・伊藤武留(筑波大院理工)・日下部 誠(静岡大理)
- 16:30 0239 東京湾のギンイソイワシ野生集団における性決定機構の環境依存性とその繁殖特性
 …… ○稲葉晃誠・佐々木丈彦・佐藤凌介・今井馨香・三好花歩・横田賢史・Carlos Strussmann・
 山本洋嗣(海洋大)
- 16:45 0240 ペヘレイにおけるコルチゾールおよび11-KTの性分化関連遺伝子の発現制御
 …… ○塚田瑞己・山本洋嗣・Carlos Strussmann(海洋大)
- 17:00 0241 Role of Oct4 in gonadal sex maintenance of fish.
 …… ○Tapas Chakraborty (Kyushu University, Graduate School of Agriculture/
 Aqua-Bioresource Innovation Center)・
 Sota Kawao (Kyushu University, Graduate School of Agriculture)・
 Sipra Mohapatra (Kyushu University, Graduate School of Agriculture/
 Aqua-Bioresource Innovation Center)・
 Michiya Matsuyama (Kyushu University, Aqua-Bioresource Innovation Center)・
 Kohei Ohta (Kyushu University, Graduate School of Agriculture/
 Aqua-Bioresource Innovation Center)・
 Yoshitaka Nagahama (National Institute for Basic Biology)
- 17:15 0242 ゲノム編集と組換え濾胞刺激ホルモンによるマサバの生殖統御の試み
 …… ○佐藤桜雅(九大院生資環)・Tapas Chakraborty・加藤洋教(九大院農)・
 八尋逸清(九大院生資環)・入路光雄(水産機構)・伊藤武彦(東工大生命理工)・
 長野直樹(宮崎大農)・松山倫也・太田耕平(九大院農)
- 17:30 0243 ワカメ養殖場における植食性魚類の出現状況の把握
 …… ○部 花梅・清本節夫・手塚尚明(水産機構技術研)・棚田教生・多田篤司(徳島農水総技セ)・
 門田 立・藤野くるみ・野田 勉(水産機構技術研)
- 17:45 0244 種分布モデリングによって検証したハタハタの生息適地面積の変動と歴史的集団動態との対応
 …… ○栗原寛明・藤井豊展(東北大フィールド研セ)・藤原邦浩(水産機構資源研)・
 池田 実(東北大フィールド研セ)

第2会場

3月30日(土)

午 前

- 9:00 0245 大船渡湾の底生生物が長楕円形 *Alexandrium* 属シストの現存量と発芽に及ぼす影響
 …… ○加賀新之助(岩手水技セ)・伊藤真奈・伊藤克敏(水産機構技術研)・渡邊志穂・
 多田裕美子・村上 涼・西洞孝広(岩手水技セ)
- 9:15 0246 ハイガイ *Tegillarca granosa* の低塩分・高濁度耐性に関する飼育実験
 …… ○Albert Valdish Manuel・橋本和正・栗原健夫(水産機構技術研)
- 9:30 0247 日本海の水産有用甲殻類の遺伝的連結性
 …… ○依藤実樹子・喜瀬浩輝・井口 亮・西島美由紀・池内絵里・儀武滉大(産総研)・
 濱津友紀・三澤 遼(水研機構)・藤田純太(福知山高校)・太田雄貴・
 塚崎あゆみ・鈴木 淳・鈴木昌弘(産総研)

- 9:45 0248 大阪湾における浚渫窪地埋め戻しによる環境修復の試み
 …… ○辻村裕紀・秋山 諭・佐野雅基(大阪環農水研)・鍋島靖信(元大阪環農水研)
- 10:00 0249 2023年夏季に大阪湾で発生した微小珪藻赤潮について
 …… ○秋山 諭・辻村裕紀(大阪環農水研)・岡村知海(水産機構技術研)・
 浜口昌巳(福井県大海洋生資)
- 10:15 0250 三陸沿岸域における長期観測に基づくクロロフィルa濃度の水平・鉛直分布動態
 …… ○藤井豊展(東北大フィールド研セ)・縄野 碧・米澤千夏(東大院農)・
 村田裕樹(東大先端研)
- 10:30 0251 有害赤潮藻 *Chattonella marina* の細胞外多糖構造とスーパーオキシド産生機構
 …… 高嶋 溪(埼玉大)・湯浅光貴・紫加田知幸(水産機構技術研)・小竹敬久・○西山佳孝(埼玉大)
- 10:45 0252 飼育ハンドウイルカ2頭における血中テストステロン濃度と精液一般性状の年間変動
 …… ○有菌幸子・船坂徳子・吉岡 基(三重大院生資)・櫻井夏子・大池辰也・
 村上勝志(南知多ビーチランド)・毛塚千穂・古田圭介(神戸須磨シーワールド; 旧須磨水)
- 11:00 0253 血中および糞中性ステロイド動態からみた飼育ハナゴンドウにおける繁殖生理の特徴
 …… ○平岡史帆・船坂徳子(三重大院生資)・渡辺友梨絵・稲森大樹(太地くじら博)・
 細野雅之・尾崎美樹(アドベンチャーワールド)・冠城貴紀・北村春香・
 柳澤牧央(うみたまご)・白形知佳(新江ノ水)・和田夏海(海の中道)・
 足立彩乃・荒武朝子・楠田哲士(岐阜大応生)・吉岡 基(三重大院生資)
- 11:15 0254 飼育下鯨類の噴気中性ステロイド濃度測定による繁殖生理状態モニタリングの有用性に関する予備的
 検討
 …… ○大槻萌奈・船坂徳子(三重大院生資)・平松春香・稲森大樹(太地くじら博)・
 吉岡 基(三重大院生資)

第3会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0301 サクラマス雄の生活史二型：川に残るか海へ行くかの運命の決断はいつ起こるか？
 …… ○森田健太郎(東大大気海洋研)・森野はる香・武藤光司・山本祥一郎(水産機構技術研)
- 9:15 0302 北海道太平洋側河川から降海後に西方海域へ移動したサケ幼稚魚の特徴
 …… ○本多健太郎(水産機構資源研)・白井厚太郎(東大大気海洋研)・森下 匠・
 斎藤寿彦(水産機構資源研)
- 9:30 0303 サンマの安定同位体比から示唆される近年の摂餌環境の変化と肥満度減少の関係
 …… ○富士泰期・宮本洋臣・山口珠葉・富樫博幸・桑田 晃(水産機構資源研)・
 児玉武稔(東大院農)・滝沢侑子・力石嘉人(北大低温研)
- 9:45 0304 北海道根室北部沿岸におけるサケ親魚の回遊行動
 …… ○實吉隼人・刀祢和樹・伊藤雅浩・倉谷京介・越野陽介・春日井 潔・水野伸也・
 藤原 真(道さけます内水試)
- 10:00 0305 放流時期の違いが降海後のサケ幼稚魚の分布・成長に及ぼす影響
 …… ○倉谷京介・越野陽介(道さけます内水試)・宮腰靖之(北見さけます増協)
- 10:15 0306 燧灘カタクチイワシの初期成長と加入水準の関係における時間的変異
 …… ○米田道夫(水産機構技術研)・藤田辰徳(香川県庁)・山本昌幸(福井県大生物資源)・
 河野悌昌・高橋正知(水産機構資源研)・中村政裕(水産機構技術研)・
 富山 毅(広大院統合生命科)
- 10:30 0307 夏眠および冬期の活動鈍化に伴うマナモコの腸の組織学的検討
 …… ○田中 海・木原 稔・櫻井 泉(東海大院生物)
- 10:45 0308 ステレオ画像計測によるカツオの追尾数に応じた繁殖行動比較
 …… ○山本啓人(近大院農)・佐々木 章(かごしま水族館)・漢那朝樹(近大院農)・
 光永 靖・鳥澤真介(近大農)
- 11:00 0309 春季北西太平洋における水色とさけ・ます類の分布の関係
 …… ○佐藤俊平・小役丸隼人・飯野佑樹・佐藤智希(水産機構資源研)

- 11:15 0310 三重県志摩半島で越冬するクロチョウガイ
 ○渥美貴史・阿部文彦・永田 健・岡 謙佑・田中翔稀(三重水研)
- 11:30 0311 東シナ海・日本海で漁獲されたスルメイカ幼生の食性-メタゲノムとアミノ酸安定同位体解析を用いて
 ○足立亨介・野村晋平・森岡克司(高知大農海)・力石嘉人(北大院低温研)・
 井上菜穂子(日大生物資源)・財満信宏(近大農)・加賀敏樹(水産庁増殖推進部)・
 柳本 卓(水産機構資源研)・中屋光裕(北大院水)・山本 潤(北大フィールド科セ)
- 11:45 0312 精子貯蔵様式から考えるヨーロッパマツイカ(*Illex coindetii*)の配偶システム
 ○佐藤成祥・西澤幸輝・王 思文(東海大海洋)・吉田真明(島根大生物資源)・
 Fernando Fernandez-Alvarez・Roger Villanueva(CSIC)

午 後

- 15:30 0313 小浜湾と周辺水域におけるアユ仔魚の出現と成長：河口における物理環境との関連
 荒井 遼・田原大輔・松林 順・杉本 亮・○小路 淳(福井県大)
- 15:45 0314 西の湖で採捕されたホンモロコ稚魚の孵化日組成
 ○香田万里(近大農)・根本守仁・寺井章人・片岡佳孝・石崎大介(滋賀水試)・
 米田一紀(琵琶湖博)・甲斐嘉晃(京大フィールド研セ)・亀甲武志(近大農)
- 16:00 0315 琵琶湖に放流された養殖ウナギ1(大型個体出現のメカニズム)
 ○高作圭汰(近大院農)・花木基子・加澤 渚(近大農)・田辺祥子(滋賀県大)・
 石崎大介(滋賀水試)・光永 靖・小林 徹・亀甲武志(近大農)
- 16:15 0316 琵琶湖に放流された養殖ウナギ2(食性)
 ○高作圭汰(近大院農)・花木基子・加澤 渚(近大農)・田辺祥子(滋賀県大)・
 石崎大介(滋賀水試)・光永 靖・小林 徹・亀甲武志(近大農)
- 16:30 0317 琵琶湖に放流された養殖ウナギ3(耳石バックカリキュレーションによる成長解析)
 加澤 渚・高作圭汰(近大農)・松田直往・石崎大介(滋賀水試)・田辺祥子(滋賀県大)・
 光永 靖・小林 徹・○亀甲武志(近大農)
- 16:45 0318 深層学習を用いた深海魚の胃内容物自動検出
 ○江藤 暁・横田賢史(海洋大)
- 17:00 0319 余呉湖沿岸で採捕されたワカサギ稚魚のふ化日組成
 角田恭平・成田一平(近大農)・石崎大介(滋賀水試)・甲斐嘉晃(京大フィールド研)・
 ○亀甲武志(近大農)
- 17:15 0320 カタクチイワシ仔魚の成長-摂餌関係：摂餌成功度はどのようなメカニズムで決定されるか
 ○田中翔大・遠越零那(東大院農)・安江尚孝(和歌山水試)・中村政裕(水産機構技術研)・
 Corinne Burns・Dominique Robert(ケベック大学)・
 高須賀明典(東大院農)

第3会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0321 根室海峡におけるシャチの群れ構造と識別個体の経年追跡
 ○大泉 宏・白川善大・稲垣祐里乃・服部れみ(東海大海洋)・斎野重夫(神戸動植環専)・
 中原史生(常磐大人科)・三谷曜子(京大野生研)・北 夕紀(東海大生物)・
 幅 祥太(葛西水)・吉岡 基(三重大)
- 9:15 0322 ドローンを用いたタイ国における潮間帯海藻場でのジュゴンの摂餌場利用の一年を通じた経時変化
 ○倭 千晶(京都院情報)・市川光太郎(京大フィールド研セ)・
 Kittiwattanawong Kongkiat(DMCR)・荒井修亮(京大フィールド研セ)
- 9:30 0323 シワハイルカを中心とした飼育異種ハクジラ間の社会行動の分析
 ○加来由津香(近大農)・平松春香・稲森大樹(太地くじら博)・酒井麻衣(近大農)
- 9:45 0324 衛星標識データによる北太平洋のイワシクジラを対象とした可用性バイアス推定方法の検討
 ○鈴木ひより・村瀬弘人・中村 玄(海洋大)・勝俣太貴・袴田高志・松岡耕二(日鯨研)

- 10:00 0325 太地町で採取した標本を用いたDNAメチル化解析によるハンドウイルカの年齢推定
 ……[○]入江 葵・野崎玲子・近藤秀裕・上田真久・中村 玄・村瀬弘人(海洋大)・
 田辺 敦・佐原弘益(麻布大)・前田ひかり(水産機構資源研)
- 10:15 0326 飼育鯨類における複数台のカメラを用いた隊列遊泳時の位置関係の計測
 ……[○]西村大我・山本啓人(近畿大)・大島由貴・森 朋子・神田幸司(名古屋港水族館)・
 鳥澤真介・光永 靖・酒井麻衣(近畿大)
- 10:30 0327 マイクロサテライトDNAを用いた南方系コビレゴンドウ(マゴンドウ)の集団遺伝学的研究
 ……[○]宮城真鈴・上田真久・中村 玄・村瀬弘人(海洋大)・前田ひかり(水産機構資源研)・
 栗原寛明・池田 実(東北大)
- 10:45 0328 ズワイガニとベニズワイの雑種クラスが示す雑種崩壊の可能性
 ……[○]森川英祐・平尾 章・秋田鉄也(水産機構資源研)・藤原篤志(水産機構技術研)・
 佐久間 啓(水産機構資源研)
- 11:00 0329 階層的クラスタリング分析を用いたスズキの回遊パターン分類
 ……[○]高井万葉・黒木真理(東大院農)・白井厚太郎(東大大海研)・寺島佑樹(寺島環境コンサル)・
 村上弘章(東北大院農)・久米 学・三田村啓理・山下 洋(京大フィールド研セ)
- 11:15 0330 仙台湾におけるカナガシラの食性と生態的地位
 ……[○]櫻井慎大・富樫博幸(水産機構資源研)
- 11:30 0331 温帯と亜熱帯の境界線に位置する口永良部島の魚類群集の変化～1972年と2005年の比較～
 ……[○]門田 立(水産機構技術研)・清水則雄(廣大博物館)・坪井美由紀・Barros Breno・
 坂井陽一・橋本博明・具島健二(廣大院生物園科)
- 11:45 0332 信濃川サケの4年間継続した遺伝特性分析
 ……[○]木伏宏俊・原田泰行(JR東日本 信濃川発電所)・柘本 拓(JR東日本 エネルギー企画部)・
 塚越英晴(岩手大学 三陸水産研究センター)
- 午 後
- 15:00 0333 炭素・窒素安定同位体比から推察されたカミツキガメとアメリカザリガニの食物連鎖関係
 ……[○]高井則之・瀧澤終介・池西優希・鈴木武秀・柴崎康宏・間野伸宏(日大生物資源)・
 桑江朝比呂(港湾空港技研)
- 15:15 0334 海産魚の産卵量と環境DNA量の関係：ハタ科魚類スジアラの例
 ……[○]笹野祥愛・三好花歩・山口智史・藤倉佑治・宇治 督(水産機構技術研)
- 15:30 0335 セレバスウナギとニホンウナギの産卵回遊行動の比較
 ……[○]渡邊 俊(近大農)・樋口貴俊・青山 潤(東大大気海洋研)・塚本勝巳(東大)
- 15:45 0336 宮崎県清武川におけるニホンウナギ稚魚の加入状況
 ……[○]宮武航大・竹内 綾(近大農)・樋口貴俊(東大大気海洋研)・黒木真理(東大院農)・
 渡邊 俊(近大農)
- 16:00 0337 アミノ酸混和コンクリートを用いた石倉カゴにおけるニホンウナギの行動特性の把握
 ……[○]鶴江智彦・青山大輔・川島大助・西村博一(日建工学(株))・渡邊 俊(近大農)・
 藤本和隆(トワロン(株))・坂本 茂(小岩金網(株))・市川光太郎・
 荒井修亮・三田村啓理(京大フィールド研セ)・塚本勝巳(東大)
- 16:15 0338 養殖ニホンウナギの放流直後の生残と移動
 ……[○]竹内宏太・脇谷量子郎・前田達彦・板倉 光(東大大気海洋研)・
 萩原聖士(北大フィールド科セ)・安樂和彦・小谷知也(鹿大水)・
 木村伸吾(東大大気海洋研)
- 16:30 0339 産卵期におけるクサフグの毒量の変化
 ……[○]徳武万路・白井響子・木原聖人・堀田悠樹・友納大我・瀬戸かほり・森村 恵・
 長濱琴音・林 あんず・周防 玲・糸井史朗(日大生物資源)
- 16:45 0340 二枚貝類におけるフグ毒保有状況と毒化機構に関する研究
 ……[○]森村 恵・白井響子・周防 玲・糸井史朗(日大生物資源)
- 17:00 0341 カタクチイワシの資源量と体サイズの同期的増大は「正」の密度効果の結果なのか？
 ……[○]上村泰洋・古市 生・由上龍嗣(水産機構資源研)
- 17:15 0342 頭足類の社会性に関する研究-35 ヴァーチャル映像提示によるアオリイカの同種への嗜好性に関する
 検証
 ……[○]信田直希(琉球大院理工)・池田 讓(琉球大理)

- 17:30 0343 交雑種フグ類のフグ毒保有状況に関する研究
 ……[○]白井響子・長濱琴音・林 あんず・周防 玲・糸井史朗(日大生物資源)
- 17:45 0344 低水温環境がニホンウナギの日周鉛直移動に与える影響
 ……[○]樋口貴俊(東大大気海洋研/仏自然史博)・渡邊 俊(近大農)・
 眞鍋諒太郎(愛媛水研セ)・青山 潤(東大大気海洋研)・塚本勝巳(東大)

第3会場

3月30日(土)

午 前

- 9:00 0345 捕食者タイプに応じたアオリイカの対捕食者行動
 ……[○]黒澤 巧・益田玲爾(京大フィールド研セ)
- 9:15 0346 植食性動物に対するイセエビの捕食生態
 ……[○]史 翔寿・益田玲爾(京大フィールド研セ)
- 9:30 0347 頭足類の多感覚に関する研究-2 ヒラオリダコの触覚から生じる満腹感の錯覚
 ……[○]川島 董・池田 譲(琉球大理)
- 9:45 0348 ダンゴイカ類の体各部における色素胞および反射性細胞の配置パターンの評価
 …… 山田麻央・池田 譲(琉球大理)・坪川達也・[○]杉本親要(慶應大法生物)
- 10:00 0349 カニ類の捕食によるホシガレイ人工種苗の減耗の可能性
 ……[○]荒井優志(京大院農)・和田敏裕(福島大)・山野辺貴寛(福島資源研)・
 高木淳一(京大卓越大学院)・久米 学・山下 洋・三田村啓理(京大フィールド研セ)
- 10:15 0350 Evaluation of Reproductive Characteristic of Mud Crab, *Scylla olivacea*, in the Southern Regions of Thailand
 ……[○]Husneya Rensep(金沢大/Prince of Songkla University)・
 Takeuchi Yutaka(金沢大)・Sukree Hajisamae(Prince of Songkla University)
- 10:30 0351 データロガーを用いた飼育下における雄のジンベエザメのクラスパークロス抽出
 ……[○]漢那朝樹(近大院農)・高橋沙矢香・ウンドク ビヨン・山城 篤・松本瑠偉(美ら海水族館)・
 鳥澤真介・光永 靖(近大農)
- 10:45 0352 衛星テレメトリー手法を用いた日本周辺海域におけるジンベエザメの鉛直行動の解明
 ……[○]中村天音(北大水)・野間俊介・朱 妍卉(北大フィールド科セ)・伊東隆臣・
 芳井祐友・喜屋武 樹・入野浩之(大阪海遊館)・黒田充樹・南 憲吏・
 宮下和士(北大フィールド科セ)
- 11:00 0353 御蔵島周辺海域に生息するミナミハンドウイルカの子育て行動の個体差について
 ……[○]多田光里(近大農)・小木万布(御蔵島観光協会)・酒井麻衣(近大農)
- 11:15 0354 Time-series Data Analysis of Humpback Whale Behaviors and Surrounding Environments: Factors Affecting Foraging Behaviors
 ……[○]呂 孟樺(東大大気海洋研)・青木かがり(帝京科学大学)・岩田高志(神戸大)・
 Patrick J. O. Miller(Sea Mammal Research Unit, School of biology, University of St Andrews)・
 佐藤克文(東大大気海洋研)
- 11:30 0355 ツチクジラを対象としたマイクロサテライトDNA解析の有用性に関する検討
 ……[○]近藤昭仁・村瀬弘人・上田真久・宮城真鈴・中村 玄(海洋大)・栗原寛明・
 池田 実(東北大フィールド研セ)・前田 光(水産機構資源研)
- 11:45 0356 北海道東部沿岸域におけるチシマラッコの休息地選択に関する研究
 ……[○]今野夏季(北大院環)

午 後

- 13:00 0357 ブリ属魚類の回遊生態 I 黄海から日本海西部海域を回遊するヒラマサの鉛直移動
 ……[○]大脇拓洋(長大水)・濱田翔太・工藤謙輔(長大院水環)・刀祢和樹(道さけます内水試)・
 中村乙水(長大海セ)・小山 喬・阪倉良孝(長大院水環)・河邊 玲(長大海セ)

- 13:15 0358 ブリ属魚類の回遊生態Ⅱ ブリ・ヒラマサの深度記録から産卵関連行動を抽出する試み
 …… ○上浦綾大(長大水)・濱田翔太・工藤謙輔(長大院水環)・刀祢和樹(道さけます内水試)・
 中村乙水(長大海セ)・米山和良(北大院水)・小山 喬・
 阪倉良孝(長大院水環)・河邊 玲(長大海セ)
- 13:30 0359 台湾北西部海域に導入された着床式洋上風力発電施設における魚類の遊泳行動解析
 …… ○松本有生(長大水)・佐々木幾星(長大院水環)・刀祢和樹(道さけます内水試)・
 Nan-Jay SU(国立台湾海洋大)・Wei-Chuan CHIANG・
 Hsin-Ming YEH(国立台湾水試)・河邊 玲(長大海セ)
- 13:45 0360 夏季ベーリング海におけるサケ属の食性
 …… ○佐藤智希・本多健太郎・佐藤俊平(水産機構資源研)・阿部貴晃(日大生物資源)
- 14:00 0361 地磁気情報を用いたサケ(*Oncorhynchus keta*)の沿岸域における行動分類に関する研究
 …… ○三並一輝(北大院環)・佐藤信彦(水産機構資源研)・山本竜司・関 恭佑・
 名畑公晴(北大院環)・黒田充樹・朱 妍卉・南 憲吏・宮下和士(北大フィールド科セ)
- 14:15 0362 秋期の三春ダムにおける湖内環境と変化に伴うウグイ、ギンプナ、ニゴイの行動の解明
 …… ○西原宏之(北大水)・南 憲吏(北大院環)・長岡祥平(北大フィールド科セ)・
 稲川崇史・沖津二郎・坂本正吾(応用地質株式会社)・大杉奉功(水源環セ)・
 東 信行(弘大農)・黒田充樹・朱 妍卉・宮下和士(北大フィールド科セ)
- 14:30 0363 ホシガレイ種苗の大量放流-少数放流群間における魚類・鳥類による被食リスクの比較
 …… ○角野和史(京大農)・和田敏裕(福島大)・山野辺貴寛・舟木優斗(福島資源研)・
 前屋敷大輔・倉都健治・安藤大輔(日本海洋(株))・高木淳一(京大卓越大学院)・
 久米 学・山下 洋・三田村啓理(京大フィールド研セ)
- 14:45 0364 ニホンウナギ保全に向けた石倉増殖礁の設置適地:32水系49地点におけるモニタリング結果を用いた探索
 …… ○松重一輝・大戸夢木・坂上 嶺・日比野友亮・酒井恭平(九大院農)・内田和男(全内漁連)・
 望岡典隆(九大院農)
- 15:00 0365 環境要因に伴うニホンウナギ人工仔魚の摂餌行動
 …… 塩浦雄也(鹿環協)・検崎 明(クロレラ工業)・○奥西将之・前田広人(鹿大水)・
 友田 努(水産機構技術研)
- 15:15 0366 キアンコウ卵帯のゼラチン質膜は塩分刺激から胚を守る
 …… ○石川智也・中屋光裕・江野脩太・高津哲也(北大院水)
- 15:30 0367 イサザ*Gymnogobius isaza*の産卵場で確認された死亡個体の特性
 …… ○竹中剛志・團 秀太・前 圭士郎・時枝崇一郎・松井謙弥・花木基子(近大農)・
 石崎大介(滋賀水試)・甲斐嘉晃(京大フィールド研)・亀甲武志(近大農)
- 15:45 0368 ドローンを用いた実環境下におけるアオウミガメ幼体のフレンジー期遊泳の観察
 …… ○伊地知寛温・西澤秀明(京大院情報)・
 近藤理美・田中秀侑(エバーラスティング・ネイチャー)
- 16:00 0369 欠番
- 16:15 0370 サケ科魚類稚魚が正または負の走光性を示すのはどのぐらいの明るさか?
 …… ○松田圭史(水産機構技術研)
- 16:30 0371 アーカイバルタグ・データを用いたマサバの体温調節機構の検討
 …… ○日野晴彦・安田十也・木下順二・新野洋平(水産機構資源研)・奥山隼一(水産機構技術研)・
 北川貴士(東大院新領域/東大大気海洋研)
- 16:45 0372 衛星発信機を用いたイシイルカ日本海-オホーツク海系群の夏季~秋季における生息地利用様式の推定
 …… ○金治 佑・佐々木裕子(水研機構資源研)・生田 駿・小林万里(東農大)
- 17:00 0373 ノリ養殖場におけるクロダイの詳細な位置情報
 …… ○高倉良太(兵庫水技セ)・吉川智典・光永 靖(近大農)
- 17:15 0374 動きの遅い水中生物の移動特性把握-状態推定によるマナモコの行動解析-
 …… ○田中優斗(北大院環)・酒井勇一(函館水試)・仁田ゆき(北大院環)・
 高木 力(北大院水)
- 17:30 0375 シロサケ稚魚の水温選好性における体サイズと収容密度の影響
 …… ○星 泰誠・荒谷綾香・加藤早織(宮城教育大学)・遠藤起寛(青森内水研)・
 棟方有宗(宮城教育大学)

第4会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0401 ウスベニイトミミズ *Monopylephorus rubroniveus* の孵化に及ぼす酸素の影響
 ○赤木知裕・山際秀誠・高辻 渉(和歌山工技セ)
- 9:15 0402 アサリ稚貝の殻長に応じた大小2種微細藻類の最適な混合給餌比の検討
 ○山崎康裕・今井 輝(水産機構水大校)・多賀 茂(山口水研セ)
- 9:30 0403 殻長の成長に即した大小2種微細藻類の混合給餌比の変更がアサリ稚貝の成長に与える影響
 ○今井 輝・山崎康裕・井上隆人(水産機構水大校)・多賀 茂(山口水研セ)
- 9:45 0404 ツボワムシ属の加齢にともなう酸化ストレス耐性の変化と次世代への影響
 ○沼尾海斗・吉永龍起(北里大海洋)
- 10:00 0405 Low-temperature induction of sexual reproduction in the rotifer *Brachionus plicatilis* and associated molecular mechanisms
 ○韓 程燕・阪倉良孝・萩原篤志(長大院水環)
- 10:15 0406 フェザーミールを用いたカイアシ類の大量培養方法の開発
 ○木藪旬弥・金 禧珍(長大水)
- 10:30 0407 メチルテストステロン投与によるクエ幼魚の性転換誘導
 ○小林靖尚(近大農)・梶川保亮・森下尊将・中田 久(近大水研)
- 10:45 0408 メチルテストステロンの処理水温がクエ2歳魚の性転換および採精率に及ぼす影響
 ○中田 久・梶川保亮・森下尊将・中務 寛・山下 洋・服部亘宏(近大水研)・
 小林靖尚(近大農)
- 11:00 0409 ニホンウナギ仔魚飼育における半閉鎖循環時の低水温半海水利用の有効性
 ○金子信人・石川 卓・福井洋平・野村和晴(水産機構技術研)
- 11:15 0410 ニホンウナギの絶食による変態誘導サイズ
 ○須藤竜介・高崎竜太郎・里見正隆・中村康平・今泉 均・風藤行紀(水産機構技術研)
- 11:30 0411 流速制御によるニホンウナギ仔魚の吻部形態異常低減効果
 ○石川 卓・井上誠章・高崎竜太郎・須藤竜介・野村和晴・金子信人・福井洋平・
 里見正隆・谷田部誉史・今泉 均(水産機構技術研)・高橋勇樹・米山和良(北大院水)
- 11:45 0412 ニホンウナギ仔魚が利用可能な生物餌料の探索
 金井怜欧・○奥西将之・前田広人(鹿大水)・塩浦雄也(鹿環協)・友田 努・
 鈴木博史・古板博文・福田野歩人・長井 敏(水産機構技術研)・安倍大介・
 日高清隆(水産機構資源研)

午 後

- 15:30 0413 キンメダイ飼育技術開発に向けた必須脂肪酸解明の取り組み
 ○阿部泰画・佐藤翔悟・松岡洋佑(海洋大)・石崎智大(日大生物資源)・
 壁谷尚樹・森田哲朗・吉崎悟朗(海洋大)・石田孝行・倉石 祐(静岡水技研)
- 15:45 0414 スジアラの種苗生産初期における鰾の開腔を促す飼育方法の検討
 ○藤倉佑治・山口智史・三田哲也・三好花歩・竹内宏行・兼松正衛・
 宇治 督(水産機構技術研)
- 16:00 0415 代理親魚技術により生産したアユの成長と性成熟
 ○阿久津 崇・塩澤佳奈子・鈴木究真(群馬水試)・天野雄一・鈴木弘貴・
 市田健介・吉崎悟朗(海洋大)
- 16:15 0416 ヒラメ着色型黒化の簡便な防除法の検討と生産流通過程における調査
 小野山 剛(京大院農)・山田敏之(長崎水試)・○田川正朋(京大院農)
- 16:30 0417 小型カプセル水槽を用いたマサバ催熟技術の開発(Ⅱ)
 ～CHUGAチューブの改良とメス親魚催熟への利用～
 ○今岡史弥(海洋大)・川村 亘(熊本大)・矢澤良輔・森田哲朗・吉崎悟朗(海洋大)
- 16:45 0418 アユ種苗生産における初期成長予測モデルの作成
 ○高木優也・野中信吾(栃木水試)・船山光弘(種苗センター)

- 17:00 0419 改良型クライゼル水槽を用いたブリ仔魚飼育の通気量と水面照度の検討
 ○橋本幹人(長大院水環)
- 17:15 0420 天然アカムツ親魚の水槽内産卵の初確認について
 ○古山 遥(山形水研)

第4会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0421 ワムシを材料とした配合飼料の作成とマダイへの使用
 ○小谷知也・矢野義博・石川 学(鹿大水)・石堂佑典(博楽福祉會)
- 9:15 0422 ワムシを材料とした配合飼料の改良とハマチ・ヒラメへの使用
 ○小谷知也・大海聡一・佐々木 拓・石川 学(鹿大水)・石堂佑典(博楽福祉會)
- 9:30 0423 低水温期から水温上昇期にかけての無魚粉飼料給与がマダイの成長
 およびコレステロール代謝におよぼす影響
 ○高桑史明・飯塚泰助・白石章悟・峰山直大・請井潤也・塩地政士(近大水研)・
 村下幸司・吉永葉月(水産機構技術研)
- 9:45 0424 ブリにおける天然種苗と人工種苗の比較：成長と消化
 梨和 歩(高知大農海)・松本暢久(高知大院)・泉水彩花(愛媛連合農)・
 ○深田陽久(高知大農海)
- 10:00 0425 人工クロマグロで確認された「腹薄」について
 ○高志利宣・樋口健太郎・沖田光玄・玄 浩一郎(水産機構技術研)・
 相馬智史(水産機構資源研)
- 10:15 0426 飼育条件がクロマグロの「腹薄」に及ぼす影響
 ○松成宏之・樋口健太郎・沖田光玄・橋本 博・江場岳史・高志利宣・
 玄 浩一郎(水産機構技術研)・相馬智史(水産機構資源研)
- 10:30 0427 クロマグロ天然種苗への配合飼料給餌が「腹薄」に及ぼす影響
 ○浅野晃大・樋口健太郎・小出佑紀・沖田光玄・林田貴雄・松成宏之・高志利宣・
 玄 浩一郎(水産機構技術研)・児玉雅章(東京動物園協会)
- 10:45 0428 マダイ *Pagrus major* に対する魚粉・魚油代替原料としてのゴカイ粉末利用の影響
 ○松岡洋佑・佐藤翔吾(海洋大)・佐藤秀一(福井県大海洋生資)・芳賀 稜・
 壁谷尚樹(海洋大)
- 11:00 0429 微細藻類および摂餌誘因物質を用いたブリ用無魚粉無魚油飼料の開発に関する研究
 ○米田琢朗(海洋大)・佐藤秀一(福井県立大)・竹本悟郎(長崎水試)・
 芳賀 稜・壁谷尚樹(海洋大)・網塚貴彦(長谷川香料)
- 11:15 0430 骨なし魚の養殖技術：大型魚の肥育効果
 ○杉浦省三(滋賀県大環境)
- 11:30 0431 クルマエビの成長と免疫指標における植物発酵物の効果
 ○横山佐一郎・石川 学(鹿大水)・水津拓三・鳥居英人(万田発酵)
- 11:45 0432 錦江湾産ハダカイワシの飼料原料としてのポテンシャル
 ○横山佐一郎・石川 学・杉野詩恩・フーフン ファム・江幡恵吾・久米 元・
 鳥居享司・幅野明正・小針 統(鹿大水)

午 後

- 15:00 0433 ニホンウナギ *Anguilla japonica* のシステインスルフィン酸脱炭酸酵素
 およびグルタミン酸脱炭酸酵素様酵素-1の発現に及ぼすタウリンの影響
 夏 煌慧・○芳賀 稜・柴田 峻・壁谷尚樹(海洋大)
- 15:15 0434 Temporal changes on tissue distribution of vitamin B compounds in rainbow trout fed diets
 formulated with microalgae meal
 ○Marissa Castro Naorbe・Seiya Tanaka・
 Naoki Kabeya・Yutaka Haga(海洋大)

- 15:30 0435 サツキマスの早期馴致に関する研究
 …… 堀田敏弘・○秋田もなみ(高知深層水研)・鈴木大進・保科公彦・川北浩久(高知工技セ)
- 15:45 0436 異なる養成月齢および魚体重のニホンウナギにおける人為催熟誘導
 …… ○樋口健太郎・風藤行紀・今泉 均(水産機構水技研)・飯沼紀雄(静岡水技研)・
 鈴木博史・中村康平・高崎竜太郎・里見正隆・須藤竜介(水産機構水技研)
- 16:00 0437 クビレズタの閉鎖循環式栽培における光質の影響
 …… ○大嶋泰平・荻原豪太・福本 正(西松建設)・栗原紋子・遠藤雅人(海洋大)
- 16:15 0438 水温および日長制御による養成クロマグロ3歳魚の早期産卵
 …… ○入路光雄(水産機構技術研)・相馬智史(水産機構資源研)・樋口健太郎・
 高志利宣・沖田光玄・林田貴雄・石井慶太・横田高士・車 遥介・玄 浩一郎・
 森 広一郎(水産機構技術研)
- 16:30 0439 フンを用いた魚の病気診断は可能か?
 …… ○竹内美緒(産総研バイオ)・永田恵里奈(近大農)・黒田恭平(産総研生物)・
 坂田研二(理研環境資源)・成廣 隆(産総研生物)・菊地 淳(理研環境資源)
- 16:45 0440 アユとニジマスの冷水病菌の病原性と宿主特異性の比較
 …… ○永田恵里奈(近大農)・Rochat Tatiana・Lee Bo-Hyung・
 Lallias Delphine・Rigaudeau Dimitri・
 Bernardet Jean-François・Duchaud Eric (INRAE)
- 17:00 0441 Potentiality to grow carp oedema virus (genogroups I) in monolayers of carp-derived primary cells
 with further implication in cell analysis
 …… ○Ehdaa E. E. Abdelsalam (FFWP USB/福井県大海洋生資)・
 Zuzana Bláhová・Ali Asghar Baloch・Veronika Piačková (FFWP USB)
- 17:15 0442 やせ病罹患トラフグ遺伝子発現情報を利用した病態診断
 …… ○小山 喬(長大院水環)・佐藤圭吾・大島奈津子・青木亮磨(長大水)・
 細井昂人(東農大)・杉原志貴・吉川荘太・山田敏之(長崎水試)
- 17:30 0443 オニオコゼにおける背鰭棘抜去標識の装着サイズが生残と標識精度に及ぼす影響
 …… ○太田健吾・木津優助・有瀧真人(福山大生命工)
- 17:45 0444 養殖シミュレータを活用した小規模水槽によるヤマメ養殖の収益性の評価
 …… ○高橋勇樹・赤穂峻太郎・吉田大修・佐々木勇人(北大院水)・倉橋康平(北大水産/AQSim)

第5会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0501 小型閉鎖循環式養殖システムでの青色光照射が与える影響の評価
 …… ○福永耕大(琉球大研推)・吉田美穂(株式会社ARK)・山科美美香(琉球大理)・
 吉田 勇(株式会社ARK)・平塚悠治(琉球大研推)・竹村明洋(琉球大理)
- 9:15 0502 ラズパイを用いた画像モニタリング
 …… ○手塚尚明(水産機構技術研)
- 9:30 0503 広島湾における各種微小珪藻類の発生量がマガキ浮遊幼生の着底に与える影響
 …… ○岡村知海・松原 賢・鬼塚 剛・山口峰生(水産機構技術研)・浜口昌巳(福井県大海洋生資)
- 9:45 0504 クルマエビはどのような底質を好むのか? -酸化還元状態を指標とした検証-
 …… ○伊藤真奈・佐藤 琢・菅谷琢磨(水産機構技術研)・中村龍平(理研)・
 伊藤克敏(水産機構技術研)
- 10:00 0505 山梨県の本栖湖におけるレイクトラウトの生息確認
 …… ○三浦正之・谷沢弘将・藤原 亮・芦澤晃彦・岡崎 巧(山梨水技セ)・
 山本祥一郎(水産機構技術研)
- 10:15 0506 マダイと底質汚染をめぐる相互影響関係の検証
 …… ○伊藤克敏・伊藤真奈・羽野健志(水産機構技術研)
- 10:30 0507 秋冬季のタイラギ稚貝の中間育成
 …… 山田充哉・○伊藤 篤(水産機構技術研)

- 10:45 0508 宮城県志津川湾で確認されたメジナによるワカメ種苗の食害
 ○阿部拓三・鈴木将太(南三陸ネイチャーセ)・庄子真樹(宮城大)・手塚尚明・
 奥村 裕(水産機構)
- 11:00 0509 ゼブラフィッシュL-アミノ酸オキシダーゼの誘導
 ○岩間瑛人・木谷洋一郎(金大臨海)
- 11:15 0510 キトサン-DNA粒子を用いたDNAワクチンの腹腔内投与法の開発
 ○吉村和真・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕(海洋大)
- 11:30 0511 Comparison of L-Amino Acid Oxidases in the Serum and Skin Mucus of Red-Spotted Grouper
 ○Janthamat Duangmorakot・木谷洋一郎(金大臨海)
- 11:45 0512 ドチザメIgNAR遺伝子の多様性解析
 ○吉澤聡一朗・小西佳代・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕(海洋大)

午 後

- 15:30 0513 The expression of CD83 homologs on macrophage subpopulations isolated from brain and kidney in
 ginbuna crucian carp
○Thu Trang Tran・Tomonori Somamoto・
 Miki Nakao・Takahiro Nagasawa(Kyushu University)
- 15:45 0514 ホシササノハベラのL-アミノ酸オキシダーゼ
 ○木谷洋一郎(金大臨海)・Jareeporn Ruangsri(PSU)
- 16:00 0515 軟骨魚類におけるCD4およびLAG-3遺伝子の同定および発現様式
 ○瀧澤文雄・末武弘章(福井県大海洋生資)・宮澤龍一郎(ペンシルベニア大)・
 徳永幸太郎(アクアワールド・大洗)・橋本敬一郎・Johannes M. Dijkstra(藤田医大)
- 16:15 0516 エゾアワビ血球細胞分類の体系化に向けた scRNA-seq の活用
 ○日下博貴(北里大海洋)・原田真知・小祝敬一郎(海洋大)・許 仲辰(MGI)・
 諸橋伸行・中野江一郎(生物技研)・近藤秀裕(海洋大)・古川史也(北里大海洋)・
 廣野育生(海洋大)
- 16:30 0517 Development of anti-peptide antibody specific for IgM heavy chain of *Oryzias latipes* and its
 application to assay of immune response triggered by BSA-coated microplastics
○Akhil Kizhakkumpat・Mako Izumi・Harsha Prakash・
 Takahiro Nagasawa・Tomonori Somamoto・
 Miki Nakao(九大院農)
- 16:45 0518 GFPクローニングプラナ系統の確立と腎臓造血細胞移植
 ○上原 怜・武田真治(日大生物資源)・村上 賢(麻布大)・司馬 肇・
 中山智宏・片倉文彦・森友忠昭(日大生物資源)
- 17:00 0519 ニジマス鰓上皮抗原取込細胞の局在性
○加藤豪司・碓 由紀(海洋大)・Kati Franzke・山口卓哉・
 Uwe Fischer(FLI)・Rocio Simon・Patricia Diaz-Rosalez・
 Carolina Tafalla(CISA-INIA)・佐野元彦(海洋大)
- 17:15 0520 ニジマス鰓上皮抗原取込細胞集団を構成する2つの細胞亜集団に関する研究
 ○斉藤風紗・原田真知(海洋大)・日下博貴(北里大海洋)・湯浅 壺・小祝敬一郎・
 佐野元彦・加藤豪司(海洋大)

第5会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0521 養殖マダイのミトコンドリアDNA多型
 ○澤山英太郎・尾花百香・渡部芳春(日大生物資源)・野口大毅(日本総合科学)
- 9:15 0522 ニホンウナギの仔魚期間短縮に向けた選抜効果の検証
 ○野村和晴・石川 卓・須藤竜介・福井洋平・金子信人・鈴木博史・尾崎雄一・
 藤原篤志(水産機構技術研)

- 9:30 0523 分水嶺を挟んだイワナ(*Salvelinus leucomaenis*)の遺伝的差異
 ○笠原大輔(東北大院農)・石川直子・陶山佳久(東北大フィールド研セ)・
 中嶋正道(東北大院農)
- 9:45 0524 魚類自然集団におけるカウンターシェーディング体色多型の原因DNA変異
 ○小北智之・三品達平(九大院農)
- 10:00 0525 ゲノム情報を用いたカンパチ類の集団構造解析
 ○山崎 晶・岩田光南(海洋大)・阪倉良孝(長大院水環)・河邊 玲(長大海セ)・
 YEH Hsin-Ming・HSIAO Sheng-Tai・CHIANG Wei-Chuan(台湾水試)・
 菊池 潔(東大院農水実)・坂本 崇(海洋大)
- 10:15 0526 ブリの凍結精子作製におけるペレット法の有効性
 ○柴田季子・泉田大介・菅谷琢磨・足立賢太・山本一毅(水産機構技術研)
- 10:30 0527 多変量データによるスマの品質解析の試み
 ○斎藤大樹・近藤総一郎・大塚淳希・松原孝博・後藤理恵(愛媛大南水研セ)
- 10:45 0528 スマ筋肉呈味の定量的解析
 ○斎藤大樹・近藤総一郎・大塚淳希・松原孝博・後藤理恵(愛媛大南水研セ)
- 11:00 0529 クマノミ温帯集団の低温適応進化に関わる遺伝子の探索
 ○吉田陽香(九大院生資環)・平瀬祥太郎(東大院農水実)・小北智之(九大院農)
- 11:15 0530 マスノスケ精子の冷蔵保存
 ○藤本貴史・小島悠暉・木村克也(北大院水)・高橋英佑(北大フィールド科セ)・
 安部智貴・石原 学・嵯峨忠信(函館海洋機構)
- 11:30 0531 観賞メダカ品種のゲノムワイド関連解析(GWAS)による多様な表現型の遺伝的基盤
 ○大森義裕・湯 瑞・伏木宗一郎(長浜バイオ大)・今 鉄男・今-南條 琴(ウィーン大)・
 豊田 敦(遺伝研)・福多賢太郎・野口英樹(ROIS-DS)・成瀬 清(基生研)
- 11:45 0532 BLUP法によるスジアラ体サイズの遺伝率推定
 ○宇治 督・山口智史・藤倉佑治・三田哲也・三好花歩・風藤行紀(水産機構技術研)・
 奥澤公一(水産機構技術研/現福井県大生物資源)・細谷 将(東大院農水実)

午 後

- 15:00 0533 メガイアワビにおける性決定領域の同定と性判別マーカーの開発
 ○喜納泰斗・平瀬祥太郎・菊池 潔(東大院農水実)
- 15:15 0534 シマアジ親魚推定法(マイクロサテライト、dd-RAD-seq)の比較と優良親魚推定について
 ○阿川泰夫・谷山直輝・前田知隆・源六佳志・澤田好史(近大水研)
- 15:30 0535 Asian Stinging catfish: Constructing the first draft genome and understanding the genetic diversity
 and sex determination system
 ○Taslima Khanam
 (東大院農水実/Faculty of Fisheries, Bangladesh Agricultural University, Bangladesh)・
 Christos Palaiokostas (Swedish University of Agricultural Sciences, Uppsala, Sweden)・
 Sho Hosoya・Kiyoshi Kikuchi(東大院農水実)・
 Atiqur Rahman (Faculty of Agriculture, Bangladesh Agricultural University, Bangladesh)・
 Nittyanda Chandra Das・Sadia Nusrat Sharna・Jesmin Akter・Kaniz Fatema Nur・
 Mst. Halima Khatun・Sara Momtaj Chowdhury
 (Faculty of Fisheries, Bangladesh Agricultural University, Bangladesh)
- 15:45 0536 粘液胞子虫性やせ病耐性トラフグに関する選抜育種の可能性
 ○細谷 将(東大水実)・吉川壮太・濱崎将臣(長崎水試)・菊池 潔(東大水実)・
 山田敏之(長崎水試)
- 16:00 0537 RAD-seqデータを用いて検討したマガレイの遺伝的集団構造 一局所適応と逆位多型の可能性―
 ○山本佑樹(東北大フィールド研セ/水産機構資源研)・
 富樫博幸・千葉 悟(水産機構資源研)・池田 実(東北大フィールド研セ)
- 16:15 0538 トラフグ放流魚は子供を残しているのか? : 種苗生産用親魚と天然集団のDNAデータセットからの推測
 ○片町太輔・菅谷琢磨・中道礼一郎(水産機構)・池田 実(東北大院農)・
 齋尾雅宏・村上 智・大石淳之・竹ノ内洋平(フジシステムズ)・佐藤尚史(広島市)・
 小島大輔・片山貴史・山本義久(水産機構)・太田健吾(福山大生命工)

- 16:30 0539 アゴハゼの複数の交雑帯に着目した全ゲノムクライン解析
 …… ○加藤柝也(東大水実)・永野 惇(龍谷大農/慶大IAB)・菊池 潔・平瀬祥太郎(東大水実)
- 16:45 0540 Fluorescence in situ hybridization (FISH) を用いた北海道十勝地方における
 三倍体ドジョウの出現機構に関する研究
 …………… ○朝倉菜津子・田村 溪・高岡大翔・東 典子・黒田真道(東京農大 生物産業)
- 17:00 0541 グッピーにおける高温耐性とHsp70発現量の成長に伴う変化
 …………… Trevor Hoang・○中嶋正道(東北大院農)
- 17:15 0542 Toward the construction of T2T representative haplotype-resolved reference assemblies of *Scomber japonicus*
 …………… ○Ahammad Kabir・Kiyoshi Kikuchi・
 Sho Hosoya (Fisheries Laboratory, University of Tokyo)
- 17:30 0543 Stepwise expansion of the nonrecombining region on sex chromosomes through accumulation of
 chromosomal inversions in *Scomber japonicus*
 …………… ○Ahammad Kabir・Kiyoshi Kikuchi・
 Sho Hosoya (Fisheries Laboratory, University of Tokyo)
- 17:45 0544 分割型 tracrRNA によるゲノム編集技術の改変
 …………… ○岸本謙太・國井厚志(リージョナルフィッシュ)
- 18:00 0545 北海道十勝地方で発見された多様なゲノム構成のドジョウ集団
 …………… ○田村 溪・高岡大翔・朝倉菜津子・東 典子・黒田真道(東京農大 生物産業)

第6会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0601 石西礁湖の底質の蓄積リンの年変化とサンゴ密度との関連性
 …………… ○安元 剛・武田結仁・館小路紗礼・井出涼太・大野良和・
 水澤奈々美・渡部終五(北里大海洋)・廣瀬美奈(トロピカルテクノ)・新城竜一(地球研)・
 飯島真理子・井口 亮(産総研)・中村 崇(琉球大理)・安元 純(琉球大農)
- 9:15 0602 ウナギ目葉形仔魚の消化管内微生物叢
 …………… ○友田 努(水産機構技術研)・稲葉信晴(寒地土研)・福田野歩人・張 成年・
 古板博文・高崎竜太郎(水産機構技術研)・渡辺 剛・田所和明・長友佐太郎・
 日高清隆・安倍大介・谷内由貴子・奥西 武・長谷川大介・澤山周平・横内一樹・
 岡崎 誠・小埜恒夫・黒木洋明(水産機構資源研)・
 塩浦雄也(鹿環協)・児玉武稔(東大院農)・福井洋平・長井 敏(水産機構技術研)・
 奥西将之(鹿大水)・奥西将之(鹿大水)
- 9:30 0603 海産稚魚用配合飼料由来の溶存有機炭素の細菌による無機化速度
 …………… ○丹原弥空(近大院農)・家戸敬太郎(近大水研)・江口 充・谷口亮人(近大農)
- 9:45 0604 石西礁湖に位置する黒島における地下水淡水レンズ中の微生物叢と機能遺伝子解析
 …………… ○井出涼太・安元 剛・水澤奈々美・渡部終五・丸山莉織(北里大海洋)・
 宋 科翰(琉球大農)・新城竜一(地球研)・細野高啓・池原尚朋(熊本大)・
 井口 亮・飯島真理子(産総研)・安元 純・金城 尚・上原望笑・松岡 走(琉球大農)
- 10:00 0605 16S rRNA 解析およびショットガンメタゲノム解析による沖縄本島南部地域の地下水の微生物叢と
 窒素代謝遺伝子の動態解明
 …… 丸山莉織・○水澤奈々美・安元 剛・渡部終五(北里大海洋)・廣瀬美奈(トロピカルテクノ)・
 宋 科翰(琉球大院)・新城竜一(地球研)・細野高啓(熊本大先端科学)・
 飯島真理子・井口 亮(産総研)・上原望笑・松岡 走・安元 純(琉球大農・院)
- 10:15 0606 ダム湖における音響手法を用いたラン藻計測の有効性の検証
 …………… ○菅原大誠(北海道大学大学院 環境科学院)・南 憲史(北大フィールド科セ)・
 金 相暉(島根大学エスチュアリー研究センター)・稲川崇史・沖津二郎・
 坂本正吾(応用地質株式会社 地球環境事業部 応用生態工学研究所)・
 大杉奉功(水源環境センター)・東 信行(弘前大学 農学生命科学部)・
 朱 妍卉・宮下和士(北大フィールド科セ)

- 10:30 0607 ポリアミンが造礁サンゴの初期生理に与える影響：飼育実験とRNA-Seq解析からのアプローチ
 …… ○儀武滉大(産総研)・水澤奈々美(北里大海洋)・飯島真理子(産総研)・
 大野良和(北里大海洋)・安元 純(琉球大農)・安元 剛(北里大海洋)・井口 亮(産総研)
- 10:45 0608 マイクロプラスチックの形状に着目した魚類の消化管における残留時間について
 …… ○若林悠太(北大院環)・南 憲吏・宮下和士(北大フィールド科セ)
- 11:00 0609 紫外線吸収剤を添加したマイクロプラスチックがシオミズボワムシの生殖能に与える影響
 …… ○山本早恵(長大院水環)・成 泰敬(長大水)・中谷久之(長大工)・八木光晴(長大水)・
 経塚雄策(長大海イ)・金 禧珍(長大水)
- 11:15 0610 餌生物中のCs-137のうち魚類が体内に取り込める状態のCs-137量
 …… ○重信裕弥・富樫博幸・櫻井慎大・岡崎雄二・田所和明・
 笈 茂穂・森田貴己(水産機構・
 資源研)
- 11:30 0611 ヒラメ海水ばく露実験における放射性ヨウ素¹²⁹Iの移行
 …… ○今井祥子(環境科学技術研)
- 11:45 0612 請戸川水系のダムと溪流河川に生息する魚類の放射性セシウム濃度
 …… ○児玉楓弥(福島大学共生システム理工学研究科)・金指 努(環境放射能研究所)・
 星 笙太(福島大学共生システム理工学類)・
 和田敏裕(福島大学共生システム理工学研究科/環境放射能研究所)

午 後

- 15:30 0613 タカノケフサイソガニにおける蛍光多重染色によるマイクロプラスチック検出の精度評価
 …… ○田野入 開・白鳥 伶(海洋大)・中野知香(九大応力研)・荒川久幸・横田賢史(海洋大)
- 15:45 0614 ナノプラスチックのアサリの体内局在に関する超微形態学的研究
 …… ○小川展弘・森下保幸(東大大気海洋研)
- 16:00 0615 有害赤潮藻 *Karenia* 属2種間の増殖相互作用
 …… ○矢野諒子・北辻さほ(水産機構技術研)・高井優生・島崎洋平(九大院農)・
 山崎康裕(水産機構水大校)・紫加田知幸(水産機構技術研)
- 16:15 0616 *Chattonella* に曝露されたブリのへい死に及ぼす収容密度の影響
 …… ○向井幸樹・矢野諒子・北辻さほ・紫加田知幸(水産機構技術研)
- 16:30 0617 海藻付着性渦鞭毛藻 *Gambierdiscus* 属の増殖に及ぼす海藻抽出液添加の影響
 …… 安宅太一・船木 紘・山口晴生・○足立真佐雄(高知大農海)
- 16:45 0618 有明海湾奥部における養殖ノリ色落ち原因珪藻 *Skeletonema* 属の周年動態と環境要因との関係
 …… ○岩永卓也(佐賀有明水振セ)・吉田和広・木村 圭(佐賀大農)・山口 聖(水産機構技術研)・
 三根崇幸(佐賀県水産課)
- 17:00 0619 赤潮藻 *Chattonella* の形態及びスーパーオキシド産生に及ぼす水温・塩分の影響
 …… ○紫加田知幸(水産機構技術研)・山崎康裕(水産機構水大校)
- 17:15 0620 Exploring the dynamics of harmful marine karenian dinoflagellates in Mombetsu, northern coast
 of Hokkaido facing the Okhotsk Sea
 …… ○Wai Mun Lum
 (Fisheries Technology Institute, Japan Fisheries Research and Education Agency)・
 Sirje Sildever (Department of Marine Systems, Tallinn University of Technology)・
 Noriko Nishi (AXIOHELIX Co. Ltd)・
 Hiromi Kasai (Fisheries Resource Institute, Japan Fisheries Research and Education Agency)・
 Seiji Katakura (Mombetsu, Hokkaido)・
 Satoshi Nagai (Fisheries Technology Institute, Japan Fisheries Research and Education Agency)

第6会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0621 大村湾の貧酸素水塊の発達と生物応答^⑮ 大村湾におけるカタクチイワシの鉛直分布と海洋環境
[○]金子真也・樋渡 萌・真角 聡・内田 淳・青島 隆・松下吉樹(長大水)・
 鈴木利一・和田 実・広瀬美由紀(長大院水環)
- 9:15 0622 大村湾の貧酸素水塊の発達と生物応答^⑯ 音響カメラARISを用いたミズクラゲ観測の試み
[○]広瀬美由紀・竹下愛華・柿本拓海(長大院水環)・藤本樹紀・樋渡 萌・
 真角 聡・内田 淳(長大水)・青島 隆・鈴木利一・和田 実(長大院水環)
- 9:30 0622 藻場造成施設における磯焼け要因の解明と機能回復の試み
[○]福田裕毅・合田浩朗・三好晃治・石田宏一(道中央水試)
- 9:45 0624 女川湾における魚類排泄物の養殖カキ生産量への影響に関する数値分析
[○]周 金コン(東大生研)・張 俊波(上海海洋大院)・藤井豊展(東北大院農)・
 吉田毅郎(海洋研究開発機構)・李 橋(横国大院工)・董 書闖・北澤大輔(東大生研)
- 10:00 0625 西部北太平洋における生分解性プラスチック分解細菌の鉛直分布
[○]佐治圭輔・岡井公彦(海洋大)・長島佳菜(JAMSTEC)・下島公紀・
 石田真巳(海洋大)
- 10:15 0626 デンプンをブレンドした生分解性プラスチックの海水中での微生物分解
[○]松澤朱里・岡井公彦(海洋大)・宇山 浩・徐 于懿(大阪大)・石田真巳(海洋大)
- 10:30 0627 北西太平洋におけるマイクロプラスチックとプランクトンの関係について
[○]井口友里・田村智紀・西山宝輝・萩田隆一・濱田 聡・宮崎奈穂・宮本佳則・
 内田圭一(海洋大)

第7会場 SDGセッション

3月28日(木)

No.7 SDGs session room (Lecture Room 100A , 1st floor, Building No.2)

28th (Thu.) of March, 2024

午 前 Morning session

Opening remarks

Keynote lecture

- 9:15 KEYNOTE-1 Does recreational use impact freshwater fish diversity in a tropical metacommunity?
[○]Ada Fontrodona-Eslava (Centre for Biological Diversity,
 School of Biology, University of St Andrews, St Andrews, UK) ・
 Amy E. Deacon (Department of Life Sciences,
 The University of the West Indies, St. Augustine, Trinidad and Tobago) ・
 Anne E. Magurran (Centre for Biological Diversity, School of Biology,
 University of St Andrews, St Andrews, UK)

Keynote lecture

9:30 KEYNOTE-2 Microplastic uptake and trophic transfer in fish from a heavily contaminated Manchester river

..... Badiozaman Sulaiman (Division of Cardiovascular Sciences,
The University of Manchester, Manchester, UK) ·
Jamie Woodward
(Department of Geography, The University of Manchester, Manchester, UK) ·
Hannah Burton · Carlos Nevy · Juan Garcia ·
○Holly Shiels (Division of Cardiovascular Sciences,
The University of Manchester, Manchester, UK)

Coffee Break

10:00 SDGs01 Application of nervous necrosis virus capsid protein-based antigen-presenting particles for vaccine development

.....○Sajee Wayha · Keiichiro Koiwai · Motohiko Sano ·
Ikuo Hirono · Hidehiro Kondo (TUMSAT)

10:15 SDGs02 Characterization of neuropeptides and serotonin receptors in Pacific abalone

.....○Young Chang Sohn (Gangneung-Wonju National University)

10:30 SDGs03 Innovations in the precision quality control of seafood : more fresh, more nutrition

.....Shiliang Dong (Ocean Research Center of Zhoushan, Zhejiang University/
College of Biosystems Engineering and Food Science, Zhejiang University) ·
Ryosuke Bizen · Sota Hayashi (Faculty of Agriculture, Iwate University) ·
Xin Lu · Koichi Takaki (Faculty of Science and Engineering, Iwate University) ·
○Chunhong Yuan (Faculty of Agriculture, Iwate University)

10:45 SDGs04 Can common consumers judge the freshness of fish from visual cues? A case study of Japanese consumers

... ○Peng long Li (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo)

11:00 SDGs05 The use of machine learning in shrimp aquaculture in Indonesia

.....○Muhammad Abdul Aziz Al Mujahid (The University of Tokyo,
Graduate School of Agricultural and Life Sciences) ·
Gun Gun Indrayana · Nina Rachminiwati (PT. Inovasi Akuakultur Muda, Indonesia) ·
Fahma Fiqhiyyah Nur Azizah (Japan International Research Center for Agricultural Sciences) ·
Yutaro Sakai · Nobuyuki Yagi (The University of Tokyo,
Graduate School of Agricultural and Life Sciences)

11:15 SDGs06 Cytochrome c oxidase subunit I gene in *Thalassiosira nordenskiöldii* strains inhabiting in cold and warm sea waters

..... Yoshie Uchida (Dept. of Food Business,
Sch. of Health and Human Life, Nagoya Bunri Univ.) ·
Takeshi Sato · Yuko Nishimoto
(Res. Inst. for Integ. Sci., Kanagawa Univ./
Dept. of Sci., Fac. of Sci., Kanagawa Univ.) ·
Takao Oi · Mitsutaka Taniguchi (Grad. Sch. of Bioagri. Sci., Nagoya Univ.) ·
Kazuhiro Inoue (Res. Inst. for Integ. Sci., Kanagawa Univ./
Dept. of Biochem. and Biotech., Fac. of Chem. and Biochem., Kanagawa Univ.) ·
Yoshihiro Suzuki (Res. Inst. for Integ. Sci., Kanagawa Univ./
Dept. of Sci., Fac. of Sci., Kanagawa Univ.) ·
○Hidenobu Uchida
(Dept. of Food Business, Sch. of Health and Human Life, Nagoya Bunri Univ./
Res. Inst. for Integ. Sci., Kanagawa Univ.)

11:30 SDGs07 Stock assessment for dolphinfish (*Coryphaena hippurus*) in the Northwest Pacific Ocean using Stock Synthesis model

..... ○Wen-Qi Xu · Sheng-Ping Wang
(Department of Environmental Biology and Fisheries Science, National Taiwan Ocean University) ·
Wei-Chuan Chiang (Eastern Marine Biology Research Center, Fisheries Research Institute)

- 11:45 SDGs08 Bergamot Essential Oil: A Growth and Health Enhancer for Common Carp Juveniles
 ○Bircan Tasci · Takayuki Katagiri · Kunihiko Futami ·
 Yutaka Haga · Yuto Sakai ·
 Masashi Maita (TUMSAT)

午 後 Afternoon session

- 15:30 SDGs09 Potential recovery following red tide harmful algal bloom event of the benthic sea urchins populations, and reflections in diet of sea otters (*Enhydra lutris*) in Eastern Hokkaido
 ○Jackson Johnstone · 村山恭平 · 今野夏季 · 落合彩月 (北大院環) ·
 鈴木一平 (北大FSC) · 三谷曜子 (京大野生研)
- 15:45 SDGs10 Fatty Acid-Based Diet Estimation of Juvenile Flathead Grey Mullet (*Mugil cephalus*) in Tsurumi River, Tokyo Bay -Toward Application to Microplastics Analysis-
 ○Hnin Inzali · Hiraku Tanoiri · Kabeya Naoki ·
 Yokota Masashi (Tokyo Uni. of Marine Sci. and Tech.)
- 16:00 SDGs11 Research on Management Measures for Marine Recreational Angling Harvests in Taiwan.
 ○SYUN HUA ZENG · CHUNG LING CHEN · TING SHIANG LIN
 (Taiwan NCKU of Ocean Tech. and Marine Affairs)
- 16:15 SDGs12 Estimating catch of recreational angling in Taiwan
 ○TING SHIANG LIN · CHUNG LING CHEN · SYUN HUA ZENG
 (National Cheng Kung University)
- 16:30 SDGs13 SEAFDEC activities on usage and development of hydroacoustic research implementation in Southeast Asian waters
 ○Saruttaya Jaroonpongsawat · Nakaret Yasuk ·
 Nopporn Manajit · Santiphong Putsa ·
 Koki ABE (SEAFDEC/TD)
- 16:45 SDGs14 Screening for lifespan prediction markers using semelparous fish Ayu
 ○LiangJie Qiu · Kazutosh Yoshitake · Shuichi Asakawa ·
 Shigeharu Kinoshita (U Tokyo) · Takashi Akutsu · Kyuma Suzuki ·
 Shunsuke Saito (Gunma Prefectural Fisheries Experimental Station)
- 17:00 SDGs15 Microplastic size and concentration effects on the early life stages of olive flounder (*Paralichthys olivaceus*)
 ○Siti Syazwani Binti Azmi · Taekyoung Seong ·
 Hisayuki Nakatani · Mitsuharu Yagi ·
 Kyojuka Yusaku · Kim Hee-Jin (Nagasaki University)
- 17:15 SDGs16 Effects of different types of microplastics on zooplankton reproductivity and its molecular mechanisms
 ○Taekyoung Seong (Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences,
 Nagasaki University) ·
 Hisayuki Nakatani (Graduate School of Engineering, Nagasaki University) ·
 Mitsuharu Yagi (Faculty of Fisheries, Nagasaki University) ·
 Yusaku Kyojuka (Organization for Marine Science and Technology, Nagasaki University) ·
 Hee-Jin Kim (Faculty of Fisheries, Nagasaki University)
- 17:30 SDGs17 Docosahexaenoic acid enhancement of fillet of Asian seabass *Lates calcarifer* by Aurantiochytrium supplementation in low fish meal and low fish oil diet
 Pitchaya Chainark (DOF, Thailand) ·
 Shuichi Satoh (Fukui Pref. Univ.) · Naoki Kabeya ·
 ○Yutaka Haga (TUMSAT)

第7会場 SDGセッション

3月29日(金)

No.7 SDGs session room (Lecture Room 100A , 1st floor, Building No.2)

29th (Fri.) of March, 2024

午前 Morning session

- 9:00 SDGs18 Introduction of artificial seaweed to enhance biodiversity of grey infrastructure in a fishing port
 ○Takuma Matsumoto・Kenji Motoyama (CERI)・
 Nobuharu Inaba (CERI/UNSW)
- 9:15 SDGs19 Long-term changes in catches in large set nets in Okinawa Prefecture, Japan
○Minako Kato (Fishing Ports and Fisheries Division, Agriculture, Forestry and Fisheries
 Department, OPG)
- 9:30 SDGs20 Marine Milkfish (*Chanos chanos*) Cage Stocking Density Estimation Using Index of Suitable Location
 with Acid Volatile Sulfides Criteria Through Mathematical Modeling
○Joemel G. Sumbing (University of the Philippines Visayas/Yokohama National University)
- 9:45 SDGs21 Trial of the use of biofloc water and copepod *Tigriopus japonicus* for metamorphosing Japanese
 flounder *Paralichthys olivaceus*
○Mary Anne E. Mandario (NU/SEAFDEC/AQD)・
 Mai A. Wassel・Koji Hamasaki (UTokyo)・Yoshitaka Sakakura (NU)
- 10:00 SDGs22 Comparison of blast and cell alive system (CAS) freezing on the quality of thawed cherry salmon
 (*Oncorhynchus masou*) sashimi
○Afrin Faria・Zhuolin Wang・Yumeng Lin (UGAS of Iwate Uni)・
 Chunhong Yuan (Agri Iwate Uni) n
- 10:15 SDGs23 Migration and Swimming Behavior of *Bathytoshia brevicaudata* in the Seto Inland Sea
 ○Maya Stock (The Univ. of Tokyo)・
 Shinichi Watanabe (Little Leonardo/Azabu University)・
 Toshihiro Hatama (Yamaguchi Prefectural Fisheries Research Center)・
 Katsufumi Sato (The Univ. of Tokyo)
- 10:30 SDGs24 Exploring the Relational Values between Forest River Ocean Nexus and Watershed Residents: The
 Study in the Hei River Basin in Miyako City, Iwate Prefecture, Japan
 ○Sicong Li (Tokyo Univ. of Marine Sci.and Tech.
 The Graduate School of Marne Sci. and Tech.)・
 Tsuyoshi Sasaki (Tokyo Univ. of Marine Sci.and Tech.Department of Ocean Pol. and Cul.)
- 10:45 SDGs25 Sustainable Fisheries Management: A Numerical Model Analysis of Marine Protected Areas (MPAs)
 in Bintan Island, Indonesia
 ○ Wahyudin (Faculty of Marine Science and Fisheries,
 Universitas Maritim Raja Ali Haji)・
 Jamaluddin F. Alam (Faculty of Marine Science and Fisheries, Hasanuddin University)・
 Dedy Kurniawan (Faculty of Marine Science and Fisheries, Universitas Maritim Raja Ali Haji)・
 Aulia Rahman (Marine and Fisheries Institute, Riau Island Province Government)・
 Jumsurizal (Faculty of Marine Science and Fisheries, Universitas Maritim Raja Ali Haji)・
 Umi Mu–amawah (National Research and Innovation Agency (BRIN) Republic of Indonesia)
- 11:00 SDGs26 Comparison of microplastics contamination in striped barnacles (*Amphibalanus amphitrite*) and
 water in the Tsurumi River Tidal Flat, Tokyo Bay, Japan.
○Eduardo Estevan Barrientos・Hiraku Tanoiri・Masashi Yokota
 (Tokyo Uni. of Marine Sci. and Tech.)

- 11:15 SDGs27 The impact of Tetrodotoxin (TTX) on the community structure and metabolic functions of the gut microbiome in juvenile tiger pufferfish *Takifugu rubripes*
[○]Mai A. Wassel (Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Japan/
 National Institute of Oceanography and Fisheries, NIOF, Cairo, Egypt) ·
 Yoko Makabe Kobayashi · Can Huang · Mehedi Md Iqbal
 (Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Japan) ·
 Tomohiro Takatani · Yoshitaka Sakakura
 (Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University, Nagasaki, Japan) ·
 Koji Hamasaki (Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, Japan)
- 11:30 SDGs28 Utilization of closed recirculating aquaculture system (RAS) for the evaluation of biodegradability of biomass plastics
[○]Wilasinee Kotcharoen · Taisuke Itaya ·
 Keito Higuchi · Yutaka Takeuchi (KU)
- 11:45 SDGs29 Functional and structural properties of type V collagen from the skin of the shortbill spearfish (*Tetrapturus angustirostris*)
[○]QIUYU HAN (Tokyo Univ.of Marine Science and Technology) ·
 Shugo WATABE (Kitasato University) ·
 Shoichiro ISHIZAKI (Tokyo Univ.of Marine Science and Technology)
- 12:00 SDGs30 Exploring the Potential of Endophytic Bacteria Isolated from *Sargassum* Sp.: Enhancing Growth and Non-Specific Immune Response of Fish
[○]Fittrie Meyllianawaty Pratiwy · Iskandar Iskandar · Rosidah Rosidah ·
 M Irfan Sumantri (Faculty of Fisheries and Marine Sciences, Universitas Padjadjaran, Indonesia) ·
 Faihanna Ching Abdullah (Borneo Marine Research Institute, University Malaysia Sabah, Malaysia)
- 12:15 SDGs31 Exploration of microorganisms potentially interacting with *Heterosigma akashiwo* in Osaka Bay based on co-occurrence analysis
[○]Shuhe Chen · Yoshinari Imaura · Takashi Yoshida ·
 Ryoma Kamikawa (Graduate School of Agriculture, Kyoto University) ·
 Keigo Yamamoto (Research Institute Environment, Agriculture and Fisheries Osaka Prefecture)

第8会場

3月28日(木)

午 前

- 9:00 0801 小型分光測定器による冷凍カツオの脂肪・鮮度の非破壊同時測定
[○]山内 悟・山崎資之(静岡水技研)・中原正寛(イシダテック)・本多 真(いちまる)
- 9:15 0802 鰹節のオレンジミート抑制に向けた原料の解凍条件に関する研究
 徳富暁人・増田侑人(鹿大水)・瀬崎祐介(金七商店)・[○]熊谷百慶(鹿大水)
- 9:30 0803 晒し水を利用したメイラード反応生成物に関する研究
[○]デン イ・耿 婕婷・大迫一史(海洋大)
- 9:45 0804 低温結晶法によるスルメイカ肝油中n-3系多価不飽和脂肪酸の濃縮法の検討
[○]徐 セイ・耿 婕婷・大迫一史(海洋大)
- 10:00 0805 ごぼう粉末の添加による大豆粉末のにおいの軽減のメカニズム
[○]西 達也(海洋大)・井上淳詞・村上崇幸・高柳 周(株あじかん)・耿 婕婷・
 大迫一史(海洋大)

- 10:15 0806 *mc4r*ゲノム編集が魚肉の栄養成分に与える影響
[○]藤原久子(山陽女子短大/県立広島大院)・吉野智哉(県立広島大院)・
 川西加純・松本 茜・古田 歩・馬淵良太(県立広島大)・家戸敬太郎(近大水研)・
 谷本昌太(県立広島大)・木下政人(京大院)
- 10:30 0807 加熱によるマダコの品質変化
 久保田亜子・[○]中村柚咲・高橋希元(海洋大)
- 10:45 0808 外的プリファレンスマッピング手法を用いた北海道産魚醤油の道央圏での消費者の嗜好性評価
 松田 互・傳法貴司(北海道魚醤油生産組合)・吉川修司・
 田巻明彦(道総研食品加工研究センター)・
 鈴木崇広・平山高光・[○]船津保浩(酪農大食と健康)
- 11:00 0809 山形県飛鳥産「塩辛」の製法と独自性
 [○]五十嵐 悠・高木牧子(山形水研)・奥野貴士(山形大学)
- 11:15 0810 日本・中国・インドネシアの若年層に対するワカメ製品の嗜好調査と選択要因の比較
 [○]下山奈津美(岩手大院)・袁 春紅(岩手大農)
- 11:30 0811 加熱処理したパンガシウスすり身の坐りゲル形成能
 [○]田中啓太・耿 婕婷・大迫一史(海洋大)
- 11:45 0812 魚類ミオシン分子上における健康機能性ペプチドの局在について
 [○]渡部終五(北里大海洋)・陸 鵬・永田宏次(東大院農)・保坂健太・石崎松一郎(海洋大)・
 植木暢彦(鈴廣魚肉たんぱく研)

午 後

- 15:30 0813 超音波処理を用いたアコヤ貝 *Pinctada fucata martensii* タンパク質回収率の向上に関する研究
 [○]郭 祖霖・耿 婕婷・大迫一史(海洋大)・日高 肇(対馬真珠養殖漁協)
- 15:45 0814 熟成によるタイセイヨウクロマグロ筋肉のテクスチャー変化
 [○]高松千華・岡本沙南・中村柚咲・高橋希元(海洋大)
- 16:00 0815 ATP濃度を指標としたアニサキス幼虫への塩漬と凍結による殺虫効果の検証
 [○]松川雅仁・落井慶翔(福井県大海洋生資)
- 16:15 0816 長期熟成による魚肉の冷凍耐性向上
 [○]鈴木絵理香・岡本沙南・中村柚咲・高橋希元(海洋大)
- 16:30 0817 キハダ血合肉由来セレノネイン濃縮物の食品安全性
 [○]大西諒佳・山下倫明((国研)水産研究・教育機構 水産大学校)・世古卓也・
 山下由美子(水産技術研究所)
- 16:45 0818 アコヤ貝リングル液を用いた真珠品質の向上
 [○]西川 智・中岡典義・森 創太(愛媛水研セ)
- 17:00 0819 ゲノム編集技術によって作出された可食部増量マダいの肉質評価
 [○]村上 悠(京大院農)・安藤正史(近大農)・岸本謙太・大濱光希・植村悠人・
 赤澤敦史(リージョナルフィッシュ株式会社)・松宮健太郎・佐藤健司・木下政人(京大院農)
- 17:15 0820 海洋のデジタルツイン実現に向けたDeep Learningによる水中画像復元技術の実海域適用と評価
 [○]鈴木達也・富森英樹・飯田弘一・江尻 革・境 克司(富士通)

第8会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0821 魚類筋肉および筋原線維中のタンパク質冷凍変性メカニズムの違い
 川上佑希子(鹿大院農水研)・中尾款太(鹿大水)・[○]加藤早苗(鹿大院農水研/鹿大水)
- 9:15 0822 頭部肉を用いた冷凍カツオの品質評価
 [○]平塚聖一・田村和菜・蓮井宗明(東海大海洋)・山崎資之・山内 悟(静岡水技研)・
 本多 真(いちまる)
- 9:30 0823 スルメイカの鮮度予測モデルの構築と妥当性の検証
 篠原祐治(北大院工)・吉岡武也(道工技セ)・[○]坪内直人(北大院工)

- 9:45 0824 市販の包装形態を模倣したマガキむき身の冷蔵時の品質および細菌叢の変化
 …… ○渡壁奈央(県立広島大院)・佐藤有希・松本 茜・古田 歩(県立広島大地域)・岡崎 尚(山陽女子短大食物)・谷本昌太(県立広島大院/県立広島大地域)
- 10:00 0825 ナイルティラピア *Oreochromis niloticus* における魚体サイズと鮮度低下の関係
 …… ○海老沢結花・栗原紋子・遠藤雅人・伊藤尚利・小林征洋・濱田(佐藤) 奈保子(海洋大)
- 10:15 0826 ニジマス *Oncorhynchus mykiss* のK値上昇に魚体サイズが及ぼす影響
 …… ○吉村未羽・栗原紋子・遠藤雅人・兵藤哲朗・小林征洋・濱田(佐藤) 奈保子(海洋大)
- 10:30 0827 山田湾養殖マガキの空気曝露保管中の生化学的鮮度評価と新たな活力指標開発への試み
 …… ○林 蒼太(岩大院)・袁 春紅(岩大次アグリノベ研セ/岩大農)・盧 忻(岩大理工)・高木浩一(岩大理工/岩大次アグリノベ研セ)・備前椋介(岩大院)・佐藤里胡・蘭 禹萌(岩連大)
- 10:45 0828 霞ヶ浦産シラウオに関する研究-Ⅱ- 鮮度変化に対する曳き網時間の影響-
 …… ○安藤正史・松下顕大(近大農)・伊藤一郎・今泉健作(なめがた地域活性化協議会)・鈴木周也(行方市)・田中照佳・福田隆志(近大農)
- 11:00 0829 神経締めがシマアジの鮮度保持と消費者評価に与える影響
 …… ○大淵 龍(東大農)・阪井裕太郎・八木信行(東大院農)・清水義弘
- 11:15 0830 *Dinophysis norvegica* が産生する下痢性・脂溶性貝毒
 …… ○内田 肇・長井 敏・小澤真由・沼野 聡・渡邊龍一・松嶋良次・鈴木敏之(水産機構技術研)
- 11:30 0831 オキナワフグのテトロドトキシン/サキシトキシン蓄積プロファイル
 …… ○朱 鴻辰・酒井峻志(長大院水環)・土井啓行(海遊館)・山口健一・山田明德・高谷智裕・荒川 修(長大院水環)
- 11:45 0832 麻痺性貝毒検査における機器分析法と動物試験法の比較
 …… ○渡邊龍一・沼野 聡・小澤真由・内田 肇・松嶋良次(水産機構技術研)・小原ふみ子・近藤 豊・大泉由里・照井善光(日本食品検査)・鈴木敏之(水産機構技術研)
- 午 後
- 15:00 0833 ホタテガイの給餌試験によるアサスピロ酸蓄積特性
 …… ○小澤真由・内田 肇・沼野 聡・渡邊龍一・松嶋良次(水産機構技術研)・高橋和也・岩滝光儀(東大院農)・鈴木敏之(水産機構技術研)
- 15:15 0834 不妊化サケ科雑種三倍体の魚卵アレルギー発症リスクの評価
 …… 渡辺彩希・○清水 裕(北大院水)・高橋英佑(北大フィールド科セ)・藤本貴史・趙 佳賢・佐伯宏樹(北大院水)
- 15:30 0835 LAMP法を用いたサバ属およびサバ種特異的な検出法
 …… ○崔 巍・小山寛喜・黒瀬光一(海洋大)
- 15:45 0836 *Raoultella planticola* および *Raoultella ornithinolytica* のヒスタミン産生特性
 …… ○松尾澁大・山木将悟・山崎浩司・川合祐史(北大院水)
- 16:00 0837 ホルモンで前培養したトラフグ肝臓組織切片のTTX蓄積特性と遺伝子解析
 …… ○長田真実・松本拓也(県立広島大)・長島裕二(新潟食農大)
- 16:15 0838 冷蔵貯蔵した国産食用バナメイエビの菌叢変化
 …… ○松本 茜(県広大)・渡壁奈央・吉 雅静・王 潤(県広大院)・谷本昌太(県広大)
- 16:30 0839 褐藻類ウミトラノオから単離した *Halosphaeriaceae* 科真菌が産生する dihydrocolletodiol による抗炎症機構の解明
 …… ○阪井智香(三重大院生資)・山田剛司(大阪医薬大薬)・伊藤智広(三重大院生資)
- 16:45 0840 *Alexandrium catenella* (Group I) 有毒株 Axat-2 におけるサキシトキシン生合成遺伝子 *sxtG* の株内多様性解析
 …… ○長 由扶子(東北大院農)・大村卓朗(LASC)・此木敬一(東北大院農)・大島泰克(東北大院生命)・山下まり(東北大院農)
- 17:00 0841 ホタテガイ外套膜に含まれる新規貝毒の性状と作用メカニズム
 …… ○長谷川 靖・前田菜吹(室工大院)
- 17:15 0842 ラン藻 *Okeania hirsuta* から得られたオキシリピン類の構造決定並びに生物活性
 …… ○西野陽香・章 博韜・神田菜緒・神尾道也(海洋大)・内田 肇(水産機構技術研)・佐竹真幸(東大院理)・永井宏史(海洋大)

- 17:30 0843 沖縄産ラン藻から単離された新規環状ペプチド
 ○川邊稜也・章 博韜・神尾道也(海洋大)・内田 肇(水産機構技術研)・
 佐竹真幸(東大院理)・永井宏史(海洋大)
- 17:45 0844 Disease biomarkers and metabolic characterization in the urine and hemolymph of the Caribbean
 spiny lobster, *Panulirus argus*
 ○BOYU QIN・神尾道也・永井宏史・三浦那々(海洋大)・Erica Ross (UFL)・
 Jan Tebben (AWI)・Tilmann Harder (AWI/Uni Bremen)・
 Charles Derby (GSU)・Donald Behringer (UFL)

第8会場

3月30日(土)

午 前

- 9:00 0845 Structure elucidation of highly methylated triterpene hydrocarbons from the green microalga
Botryococcus braunii
 ○M Anugrah Rizky Pambudi・Shigeru Okada(東大院農)・
 Koji Kawamura(大阪工大)
- 9:15 0846 ヒクラゲの刺胞に由来するタンパク質毒素の単離と性状解析
 ... ○伊藤礼音・永井宏史・神尾道也(海洋大)・神保 充(北里大海洋)・本間智寛(東海大生物)・
 近藤裕介・大塚 攻(広大院生物圏科)
- 9:30 0847 テトロドトキシン類縁体によるトラフグ誘引活性の解明
 宮寄海成・横山雄彦・佐藤 繁・○高田健太郎(北里大海洋)・周防 玲・
 糸井史朗(日大生物資源)・廣田順二(東工大院生命理工)・安立昌篤(東北大院薬)・
 宮坂忠親・西川俊夫(名大院農)
- 9:45 0848 生合成遺伝子に基づく kahalalide Z の構造解析
 ○山崎由貴・山辺創太・小森俊之助・佐藤 繁・高田健太郎(北里大海洋)・
 吉武和敏(東大院農)・福岡雅史(名大理菅島臨海)
- 10:00 0849 Theonella 属カイメンを捕食するオオフトトゲヒトデ *Thromidia catalai* 由来アルカロイドの構造決定
 ○松田隆雅・佐藤 繁・高田健太郎(北里大海洋)
- 10:15 0850 メタゲノム解析に基づくカイメン内共生細菌の種多様性に関する研究
 ○山辺創太・佐藤 繁・高田健太郎(北里大海洋)・吉武和敏・松永茂樹(東大院農)
- 10:30 0851 cDNA cloning of phytoene synthase (PSY) from biofuel producing microalga *Botryococcus braunii*
 ○MD. SHIRAJUL ISLAM SARKAR・AKIHIRO NINOMIYA・
 SHIGERU OKADA (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo)・
 TIMOTHY DEVARENNE (Department of Biochemistry and Biophysics, Texas A&M University)
- 10:45 0852 緑藻ヒラミル由来レクチンの立体構造解析
 日下真凜(広大院生物生産)・藤井創太郎・堀 貫治・○平山 真(広大院統合生命)
- 11:00 0853 鰹節カビからの有用物質の探索
 ○小川颯士(東大院農)
- 11:15 0854 藍藻 *Dolichospermum circinale* 由来のサキシトキシン生合成酵素 SxtT の大腸菌での発現と反応
 ○山下まり・青沼栞里(東北大院農)・工藤雄大(東北大学際研/東北大院農)・
 袴田真有・廣住燎亮・長 由扶子・此木敬一(東北大院農)・
 石塚 颯・長澤和夫(東京農工大)
- 11:30 0855 沖縄産ラン藻から単離したリポペプチド類の構造および生物活性
 ○章 博韜・西野陽香・川邊稜也・神尾道也(海洋大)・内田 肇・
 渡邊龍一(水産機構技術研)・佐竹真幸(東大院理)・永井宏史(海洋大)
- 11:45 0856 スケトウダラ由来タンパク質摂取による老化促進モデルマウス SAMP8 の短期記憶
 および腸内環境への影響
 ○村上大和・田中元稀(関西大)・村上由希(関西医大)・細見亮太・吉田宗弘・
 福永健治(関西大)

- 12:00 0857 サケ鼻軟骨由来プロテオグリカン複合体の給餌はマウスの四肢握力
およびヒラメ筋断面積を増加させる
.....○小川大輝・吉田宗弘・福永健治・細見亮太(関西大)・
入谷隼多・和田竜哉(日本薬品株式会社)
- 12:15 0858 細菌叢解析を用いた水草バイオフィーム由来殺藻細菌の探索
..... ○中村歩未・酒井隆一・藤田雅紀(北大院水)
- 12:30 0859 褐虫藻の光合成促進因子の探索
..... 湯屋瑛仁・○神保 充(北里大海洋)・山下 洋・鈴木 豪(水産機構技術研)・
安元 剛(琉球大熱研セ)・天野春菜(北里大海洋)

第9会場

3月28日(木)

午 前

- 10:15 0901 筋原線維結合型セリンプロテアーゼ遺伝子とトリプシン遺伝子との進化的関係
..... ○大久保 誠・谷口成紀・前田俊道・安本信哉・近藤昌和(水産機構水大校)
- 10:30 0902 魚類速筋ミオシン・アルカリ軽鎖の尿素変性に関する分子動力学シミュレーション
..... ○小澤秀夫(神工大バイオ)・落合芳博(東北大農)・加納 哲・船原大輔(三重大院生資)
- 10:45 0903 褐藻マコンブの新規アルギン酸分解酵素
..... ○井上 晶・池田直幸・尾島孝男(北大院水)
- 11:00 0904 貝殻に色素を蓄積しないアコヤガイ突然変異体の原因遺伝子の探索
..... ○黄 馨田・吉武和敏・浅川修一(東大院農)・竹内 猛・佐藤矩行(OIST)・
前山 薫(御木本製薬)・永井清仁(ミキモト真珠研)・渡部終五(北里大海洋)・
木下滋晴(東大院農)
- 11:15 0905 食用甲殻類体液における黒変反応の鍵酵素の探索
..... ○中井心大朗(摂南大農)・小祝敬一郎・廣野育生(海洋大)・伊藤慎二(京大院医)・
芳本 玲・増田太郎(摂南大農)
- 11:30 0906 ニジマスにおける抗ミオスタチン抗体誘導の影響評価
..... ○大久保康平(海洋大)・原川明宏・横田昌樹(海洋大フィールド研セ)・
野崎玲子・高瀬研志・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕(海洋大)
- 11:45 0907 紅藻ソメワケアマノリ葉状体において発現差異を示す性バイアス遺伝子の探索
..... ○五十嵐洋治・神谷純輝・姜 萬求・倉島 彰(三重大院生資)・吉武和敏・
浅川修一(東大院農)・柿沼 誠(三重大院生資)

午 後

- 15:30 0908 アメリカミズアブ脂質の抗菌活性の評価
..... ○三浦太暉・安藤 忠・世古卓也・石原賢司(水産機構技術研)
- 15:45 0909 北太平洋に分布する動物プランクトン群集の脂質特性分析
..... ○笹川拓真・山口 篤・高谷直己・細川雅史・別府史章(北大院水)
- 16:00 0910 北海道沿岸で採集されたフナクイムシ類の共生細菌によって生産される二次代謝産物
... 張 文強・Angem Librand-Descallar(北大院環境)・○沖野龍文(北大院環境/北大院地球環境)
- 16:15 0911 マグロ類血液のセレノネイン抽出と測定
..... ○後藤竜希・馬場園賢太・山下倫明・大西諒佳(水産大学校)
- 16:30 0912 メバチ血合筋摂取による血漿セレノプロテインP低減効果
..... ○世古卓也・山下由美子(水産機構技術研)・山下倫明(水産機構水大校)・
臼井一茂(神奈川水技セ)・遊道和雄・杉下陽堂・
高橋由妃(聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター)

- 16:45 0913 セレノネイン給餌による養殖ブリの抗酸化能強化
○馬場園賢太・野田竜雅・大西諒佳・後藤竜希・山下倫明(水大校)・世古卓也・
 山下由美子(技術研)・大山隼人・竹内 唯・保 聖子(鹿児島水技セ)
- 17:00 0914 海洋細菌が産生する希少カロテノイドの同定と抗炎症活性評価
 ○高谷直己・別府史章・細川雅史(北大院水)

第9会場

3月29日(金)

午 前

- 9:00 0915 MSC認証水産物の価値とその宣伝方法の影響に関する研究
 ○魚谷和史(東大農)・阪井裕太郎・八木信行(東大院農)
- 9:15 0916 Informal pricing in formal fish markets: Evidence from the Solomon Islands
 ○東田啓作(関西学院大学)・木山正一(京都大学)・
 Kofi Otumawu-Apreku (Solomon Islands National University)・
 山崎 暁(University of Tasmania)
- 9:30 0917 カーボンフットプリントラベルへの支払意思額に関する研究
 ○松岡 翼・佐藤 越・八木信行・阪井裕太郎(東大院農)
- 9:45 0918 海洋環境変動が漁業に与える影響
 ○阪井裕太郎・Mary McClure・Dani Lopes・八木信行(東大院農)
- 10:00 0919 ロジットモデルを使用した東北産水産物に対する消費者選好の分析
 ○志賀智寛・魚谷和史・竹内誠一・阪井裕太郎・八木信行(東大院農)
- 10:15 0920 コロナショックが生鮮水産物の小売市場にもたらした影響の類型化
 - 数量および価格変化の四象限マトリクス分析 -
 ○CHUNGUO YU・大石太郎(海洋大)
- 10:30 0921 地方の自然環境と都市住民の間の関係価値 —沖縄県のサンゴ礁を対象としたCVM調査—
 ○匡 越・佐々木 剛・大石太郎(海洋大)
- 10:45 0922 ミカン養殖マダイにおける産地情報と認知的不協和
 - 盲検調査、インテリジェンス調査、完全オープンインテリジェンス調査に基づく食味官能評価 -
 ○邢 璐・大石太郎(海洋大)
- 11:00 0923 リアス海岸がもたらす福利・懸念の総合評価：国内3地域における主観的側面を比較する試み
 ○小路 淳(福井県大)・法理樹里(政策研)・北川貴士(東大院新領域/東大大海研)・
 杉本 亮(福井県大)・牧野光琢(東大大海研)
- 11:15 0924 ベイジアンネットワークを用いた漁獲割当て(IQ方式)の評価
 ○半沢祐大・亘 真吾・竹村紫苑(水産機構資源研)
- 11:30 0925 MSC認証からみた日本の課題と成長産業化を促進する漁業管理体制
 ○田村陽子(東大院農/Global Marine Consulting)
- 11:45 0926 日本海・東海黄海において試行されている個別漁獲割当管理の効果の検証
 ○石井理人(東京大学 農学部国際開発農学専修 国際水産開発学研究室)・
 阪井裕太郎・八木信行
 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 農学国際専攻 国際水産開発学研究室)

午 後

- 15:00 0927 日本EEZにおけるリアルタイム海中観測プラットフォームの空間分布と水産関係機関の管轄割合
 ○田中広太郎・朱 夢瑤・赤松友成(OPRI)
- 15:15 0928 北海道東部沿岸におけるラッコの利用と保全に対する観光客の関心態度の分析
 ○村山恭平(北大院環)・鈴木一平(北大フィールド科セ)・三谷曜子(京大野生研)
- 15:30 0929 世界自然遺産知床西岸先端の番屋の現況とその機能に関する考察
 ○伊原希望(北大院環)・白岩孝行(北大低温研)

- 15:45 0930 北太平洋まき網漁業における個別割当制度(IQ)導入の影響：漁船の移動速度に関する分析
 阪井裕太郎(東大院農)・阿部景太(武蔵大経/岩手大農)・
 中塩 瞭(三菱UFJ銀行)・石村学志(岩手大農)・八木信行(東大院農)
- 16:00 0931 環境DNA調査を用いた環境教育の取り組み
 鈴木将太・阿部拓三(南三陸ネイチャーセ)
- 16:15 0932 魚病情報の提供が消費者の養殖用稚エビの産地の評価に与える影響
 唐川奈々絵(東大大気海洋研)・阪井裕太郎・良永知義(東大院農)
- 16:30 0933 東京湾まき網漁における、一網ごとの漁獲量予測モデルの可能性検証
 竹内誠一(東大農)・阪井裕太郎・八木信行(東大院農)

ポスターセッション

期日：令和6年3月28日(木)～3月30日(土)

掲示：11:00～15:00

[討論時間：講演番号奇数12:15～13:15 / 講演番号偶数13:15～14:15]

3月28日(木)

- 1001 琵琶湖北湖深湖底における底生動物の分布
 井上栄壮・永田貴丸(琵琶湖環セ)
- 1002 岩手県産サケ親魚の鱗解析から得た成長履歴
 八谷三和(水産機構資源研)
- 1003 トラフグの脳・下垂体におけるフグ毒テトロドトキシンおよびフグ毒結合タンパク質の免疫組織化学
 染色による検出
 天野勝文・阿見弥典子・大塚裕真・本間淳之介(北里大海洋)・萩尾華子・
 山本直之(名大農)・山口健一・高谷智裕・阪倉良孝(長大院水環)
- 1004 多板網の減耗を介した海洋酸性化の間接効果
 松本 凌・今 孝悦(海洋大)
- 1005 クロダイの産卵検出における環境DNAの核/ミトコンドリア比の有効性
 石山颯人(広大生物生産)・西田 剛(石川水総セ)・竹下大輝・
 源 利文(神戸大院人間発達環境)・笹野祥愛・益田玲爾(京大フィールド研セ)・
 海野徹也・河合賢太郎(広大院統合生命科)
- 1006 マナマコ稚仔の砂泥忌避に及ぼす水温の影響
 中川恵佑・孫 欣藝・田中 海・櫻井 泉(東海大院生物)
- 1007 手網追尾処理によるトラフグ人工種苗の潜砂行動の発現
 河野翔哉(近大農)・持丸穂波(近大農・院)・高橋宏司(新潟大)・
 Tanangonan Jean(近大農・院)
- 1008 ホッケの親魚のサイズが繁殖に与える影響
 森田晶子・千葉 悟・中川 亨・岡村 寛(水産機構資源研)・横田高士(水産機構技術研)
- 1009 環境DNAを用いた琵琶湖流入河川におけるイワナ *Salvelinus leucomaenis* の季節的分布変動
 田辺祥子・江藤彰汰(滋賀県大環境)・亀甲武志(近大水産)
- 1010 東京湾における底棲魚介類群集と環境因子の長期変動(1977～2023年)
 児玉圭太(国環研)・黒木真理・山川 卓(東大院農)・清水 誠(東大)・
 近都浩之・堀口敏宏(国環研)
- 1011 雌雄間の繁殖ミスマッチ ～成熟していても繁殖できるとは限らない～
 千葉 晋・井上果林・松本裕幸・東 典子(東京農大生物産業)
- 1012 紅藻類カゲノリの量産に向けた培養条件の検討
 プーン ケンリン・中村華子・田中真弓(鹿島建設)
- 1013 鳥取県におけるマナマコの成熟状況について
 福本一彦・藤原大吾・門脇慧史(鳥取栽漁セ)・藤岡秀文(鳥取水試)・
 松本才絵(水産機構技術研)

- 1014 バイオテレメトリー法によるアカメの行動生態の解明
～高知県浦ノ内湾における3集団9個体の行動記録～
……………○三木慎也・山敷祐也(近畿大学大学院農学研究科水産学専攻)・爲國甲登・
光永 靖(近畿大学農学部水産学科)
- 1015 ウニ用配合飼料に用いる海藻代替材料の探索
……………○山本梨乃(北大水)・井戸篤史(愛媛大農/株愛南リベラシオ)・
樋口一郎・都木靖彰・浦 和寛(北大院水)
- 1016 実はマイワシとカタクチイワシの鰓耙構造を比較した研究は少ないので調べてみた
……………○古市 生・上村泰洋・由上龍嗣(水産機構資源研)
- 1017 飼育下スナメリにおける母仔で記録されたパケット音
……………○寺田知功・森阪匡通(三重大院生資)・若林郁夫(鳥羽水族館)
- 1018 サクラマス嗅神経系における可溶性N-エチルマレイミド感受性因子接着タンパク受容体(SNARE)
複合体の遺伝子発現
…………… 荻原淳司(北大院水)・阿部嵩志(熊本大生命)・下田和孝和孝(さけます内水試)・
○工藤秀明(北大院水)
- 1019 日本沿岸の海草藻場魚類群集調査で記録された魚類
…………… ○堀之内正博(島根大)
- 1020 琵琶湖に放流された養殖ウナギ4(銀化の可能性)
…………… ○小田康平(近大農)・高作圭汰(北大院農)・加澤 渚・岸脇由宇太(近大農)・
田辺祥子(滋賀県大)・石崎大介(滋賀水試)・光永 靖・小林 徹・亀甲武志(近大農)
- 1021 標識再捕により推定された琵琶湖流入河川のカジカ大卵型の移動と成熟
…………… 瀬川木雪(近大農)・○前 圭士郎(北大院農)・宇野航太郎・亀甲武志(近大農)
- 1022 鯨類追込網漁業を利用した個体識別によるハンドウイルカの熊野灘南部海域への来遊状況
…………… ○橋田佳央梨・船坂徳子(三重大院生資)・佐々木裕子(水産機構資源研)・
小畑充規(太地いさな組合)・貝 良文(太地町漁協)・吉岡 基(三重大院生資)
- 1023 ガラモ場の衰退と魚類相の関係：多様性は低下したか
…………… 大西瑠美奈・山本啓斗(広大院統合生命科)・岩崎貞治(広大生物生産)・
上村泰洋(水産機構資源研)・西嶋 渉(広大環境安全セ)・
松永久宏・宮田康人(JFEスチール(株))・
○富山 毅(広大院統合生命科)
- 1024 ワカメ養殖育苗期における食害防除ケージの開発
…………… ○堀 正和(水産機構技術研/資源研)・棚田教生・多田篤司(徳島農水総技セ)・
澤山周平(水産機構技術研/資源研)・手塚尚明・吉田吾郎(水産機構技術研)
- 1025 小笠原諸島父島で食用にされている海藻「ハバノリ」(褐藻カヤモノリ目)について
…………… ○北山太樹(国科博)・鈴木雅大(神大内海域セ)・羽生田岳昭(北里大)
- 1026 Histological characterization and distribution of cholecystokinin-immunoreactive cells in the digestive
tract of the Pacific bluefin tuna (*Thunnus orientalis*)
…………… ○Jeong-Hyeon Cho・Jin Woo Park・Yong-Woon Ryu・
Seung Cheol Ji・Jeong Yong Lee (National Institute of Fisheries Science, Rep. of Korea)
- 1027 三軸加速度センサとバイオセンサを用いた魚類のストレス応答モニタリングの試み
…………… ○堀口祐輔・呉 海雲(海洋大)・村田政隆・松本陽斗(道工技セ)・大貫 等・
柴田恭幸・遠藤英明(海洋大)
- 1028 さば類小型未成魚の簡易種判別手法
…………… ○荒井将人(茨城水試)
- 1029 市民科学ツール機能を搭載したWebアプリ『MyJellyLab』の開発
…………… ○藤井涼音・高野保真・三宅裕志(北里大)
- 1030 北海道森系サクラマス0年魚のスモルト化特性：光周期・体サイズ依存性と同調性
…………… ○田島奈緒(北大水)・北出晴香(北大院水)・高橋英佑・清水宗敬(北大フィールド科セ)
- 1031 サクラマスのインスリン様成長因子結合タンパク質の成長ホルモン分泌調節作用
…………… ○渡邊聡太(北大水)・三浦拓人(北大院環)・磯崎泰嘉(北大水)・長谷川竜也(北大院環)・
井筒彩歌(北大院水)・森山俊介(北里大海洋)・棟方有宗(宮城教育大)・
清水宗敬(北大フィールド科セ)
- 1032 環境制御によるマサバ雌の早期初回成熟誘導法の開発
…………… ○小澤佳奈・川村 亘・矢澤良輔・森田哲朗・吉崎悟朗(海洋大)

- 1033 生息環境及び移入されたアマゴがゴギの生息数に与える影響
 ○佐々木悠人(近大院農)・亀山晃政・亀甲武志・鳥澤眞介・光永 靖(近大農)
- 1034 マダコヒトを介した観察学習の予備的研究
 ○尾崎飛鳥・酒井麻衣・鳥澤眞介・光永 靖(近大農)
- 1035 ダウリアチョウザメアロマターゼ遺伝子の5'選択的スプライシングによる組織特異的発現機構
 ○趙 清エン・高 赫・東坂和樹・中瀬英郁・井尻成保(北大院水)
- 1036 アカメの河川侵入に影響を与える環境要因の推定
 ○爲國甲登(近大農)・三木慎也(近大院農)・鳥澤眞介・光永 靖(近大農)
- 1037 メダカ*Oryzias latipes* 寿命死予測法確立に向けた様態観察
 ○小川翔太郎・木下滋晴・吉武和敏・地頭所 光・浅川修一(東大院農)
- 1038 数理モデルおよびニューラルネットワークを用いた岩手県三陸沿岸エゾアワビの資源動態の分析
 ○進士淳平(水産機構技術研)・堀井豊充(水産機構資源研)・渡邊隼人(岩手水技セ)・
 村岡大祐(水産機構技術研)・高見秀輝(水産機構資源研)
- 1039 クロマグロの心拍数計測手法の検討
 藤岡 紘(水産機構資源研)・○阿部貴晃(日大生物資源)・
 浅井咲樹・福田漢生(水産機構資源研)・
 北川貴士(東大院新領域/大海研)
- 1040 春季・夏季の南部オホーツク海におけるカイアシ類*Metridia pacifica*
 および*M. okhotensis*の昼夜鉛直分布
 ○中川至純・松本光矢・西野康人(東京農大生物産業)・
 谷内由貴子・葛西広海(水産機構資源研)
- 1041 北海道周辺対馬暖流—宗谷暖流—オホーツク海におけるカイアシ類*Metridia*属の個体群構造
 ○中川至純・小笠原優輝・西野康人(東京農大生物産業)・
 谷内由貴子・葛西広海(水産機構資源研)
- 1042 高水温暴露下における造礁サンゴの生理活性応答とその個体差
 ○李 顔秀(東大大気海洋研)・古堅風紗・高間億人・中村良太(水産土木建設技術セ)・
 新里宙也(東大大気海洋研)
- 1043 シャコガイのゲノム解読と網羅的遺伝子発現解析による共生関連遺伝子の探索
 ○内田大賀(東大大気海洋研)・島田 剛(宮古島市)・山下 洋(水産機構技術研)・
 藤江 学・將口栄一(沖縄科技大)・新里宙也(東大大気海洋研)
- 1044 フレキシブルバイオセンサを用いた海水魚のストレス応答モニタリング
 ○柴田裕貴・森田千尋・呉 海云(海洋大)・村田政隆・松本陽斗(道工技セ)・
 大貫 等・遠藤英明(海洋大)
- 1045 ハタ類における採卵技術向上のための水槽内産卵の音響モニタリング
 ○天谷貴史・藤川稔晃(長大海セ)・荒川和美・下田政太(長崎県立鶴洋高校)・
 征矢野 清(長大海セ)
- 1046 雄クルマエビの生殖器官におけるインスリン様ペプチドの発現解析
 ○古川雄裕(三重大院生資)・大平 剛(神奈川大理)・山根史裕(三重栽培セ)・
 豊田賢治(金沢大臨海)・筒井直昭(三重大院生資)
- 1047 固体Ca源による貝類の石灰化への影響解析
 ○劉 心璐・朱 凌霄・清水啓介(東大院農)・遠藤一佳(東大院理)・吉村 航・
 小杉知佳(日本製鉄)・船原大輔・筒井直昭(三重大院生資)・鈴木道生(東大院農)
- 1048 Morphological analysis of giant deep-sea isopod *Bathynomus doederleinii*
 王 昱陽・○莊 東樺・黄 銘志(台南大生科)
- 1049 ミズクラゲエフィラの発生におよぼす環境要因の影響
 ○松浦大貴・谷口亮人(近大農)
- 1050 伊勢湾に生息するスナメリの子どもと同伴する個体の交代
 ○野呂苑衣子(近大農)・八木原風(三重大院生資)・神田育子(三重大院生資鯨研セ)・
 寺田知功・村山夏紀(三重大院生資)・酒井麻衣(近大農)
- 1051 甲状腺ホルモン経口投与がヤイトハタの成長に与える影響
 ○名護恵美(琉球大理)・武方宏樹・福永耕大・宇田川伸吾(琉球大研推)・
 Yafan Zhu(琉球大理工)・竹村明洋(琉球大理)

- 1052 北海道における2023年のストランディングレコード
 …… ○松石 隆・松田純佳(SNH/北大院水)・黒田実加(SNH/北大フィールド科セ)・
 竹内 颯(SNH/北大院環)・柴田夏実・名倉のどか(SNH/北大院水)・
 佐々木基樹(SNH/帯畜大)・小林万里(SNH/東京農大生物産業)
- 1053 ウスエダミドリイシの発生に伴う卵黄タンパク質の動態
 …… ○天野春菜・藤田隼輔・田沼拓己・麻生史都・安元 剛・神保 充(北里大海洋)・
 山下 洋・鈴木 豪(水産機構技術研)
- 1054 請戸川水系の河川・ダム貯水池におけるヤマメの食性と濃度の夏季・早春季の比較
 …… ○星 笙太・鈴木紳悟(福島大学 共生システム理工学類)・
 金指 努(福島大学 環境放射能研究所)・
 難波謙二(福島大学 共生システム理工学類/環境放射能研究所)・
 和田敏裕(福島大学 環境放射能研究所)
- 1055 野生メダカの集団ゲノミクスによって探る椎骨数決定機構
 …… ○原 里英・安齋 賢(京大院農)・松田 勝(宇都宮大バイオセ)・亀井保博(基生研)・
 木下政人(京大院農)
- 1056 カクレクマノミの孵化における孵化酵素分泌とカルシウムイオンの関係
 …… ○山中朔人・木下政人(京大院農)
- 1057 仙台湾で刺網漁獲物を食害するヨコエビ類 *Aroui onagawae* の生鮮時の体色の特徴と分布特性
 …… ○石川哲郎(宮城水技セ)・大竹優也・太田吉陽・松田絵里(東北緑化環境保全株式会社)
- 1058 ムカデミノウミウシ *Pteraeolidia semperi* において高度に発達した褐虫藻共生機構
 …… ○溝端秀彬・富田憲司・米澤 遼・林 健太郎・木下滋晴・吉武和敏・浅川修一(東大院農)
- 1059 視覚的脅威に対するメダカの集団行動選択とその行動基盤の調査
 …… ○中畑量平・竹内秀明(東北大院生命科学)
- 1060 天然海水に含まれる微生物群による低分子有機物の資化性とプラスチックの生分解について
 …… ○田中真美・佐野 森・森久保 諭・小沼ルミ・三枝静江・奥 優・田丸慶明(都産技研)
- 1061 室内飼育のニホンウナギ仔魚からの細菌分離の試み
 …… ○福井洋平(水産機構技術研)・中村洋路(水産機構資源研)・今泉 均(水産機構技術研)・
 鴨志田正晃(水産機構本部)
- 1062 有害渦鞭毛藻カレニア・ミキモトイの終息を事前に予測する指標代謝物の探索
 …… ○羽野健志・外丸裕司(水産機構技術研)
- 1063 ジャワメダカへの多環芳香族炭化水素の蓄積にマイクロプラスチックが与える影響
 …… ○高井優生・徳永美遥・小松 霞(九大院農)・姜 益俊(九大共創)・島崎洋平・
 大嶋雄治(九大院農)
- 1064 海産稚魚はマイクロプラスチックに汚染されているのか? : 空間的同所性と誤食実態
 …… ○八木光晴・Syazwani Azmi Siti(長大院水環)・明正大純(静岡県大栄養)・
 藤本真悟(琉球大医)・成 泰敬・金 禧珍(長大院水環)・
 中谷久之(長大院工)・経塚雄策(長大海洋イノベ)・清水健一(長大院水環)
- 1065 アコヤガイ殻黒変病を引き起こす細菌 *Tenacibaculum* sp. Pbs-1 株のゲノム解析
 …… ○鈴木貴也(富大院理)・端野開都(金沢大臨海)・田中大祐(富大院理)・
 鈴木信雄(金沢大臨海)・一色 正(三重大院生資)・中村省吾・酒徳昭宏(富大院理)
- 1066 イトウの産卵河川上流部における取水堰の小規模改修一作業で行う保全活動一
 …… ○鈴木享子(学芸大環境教育)・川原 満(猿払イトウの会)
- 1067 Effects of short-term starvation on Java medaka *Oryzias javanicus* under harmful alga *Karenia mikimotoi* exposure
 …… ○Abrianna Elke Chairil(九大院農)・向井幸樹(水産機構技術研)・
 高井優生・本山由里子・Zhaoya Li・黒木海斗・
 石村公花・安尾しのぶ・Vishwajit Sur Chowdhury・大嶋雄治・島崎洋平(九大院農)
- 1068 マイクロプラスチック分析のための消泡剤
 …… ○田野入 開・荒川久幸・横田賢史(海洋大)
- 1069 キンギョ *Carassium auratus* 飼育水槽における微生物の遷移
 …… ○楠 ひかり・吉田恵史郎(ジェックス)

- 1070 Impact of marine microplastics on Iwagaki Oyster (*Crassostrea nippona*) larval mortality, development, and attachment
 ○Taekyoung Seong
 (Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences, Nagasaki University) ·
 Hisayuki Nakatani (Graduate School of Engineering, Nagasaki University) ·
 Mitsuharu Yagi (Faculty of Fisheries, Nagasaki University) ·
 Yusaku Kyojuka (Organization for Marine Science and Technology, Nagasaki University) ·
 Hee-Jin Kim (Faculty of Fisheries, Nagasaki University)
- 1071 瀬戸内海の底泥から検出された16SrDNA配列
 ○奥村 裕・坂本節子(水産機構)・荒川久幸(海洋大)
- 1072 ポリアミンレッドによる微細藻類細胞内ポリアミンの定量
 ○西堀尚良(四国大学短期大学部)
- 1073 *Tubastraea*属サンゴの共生細菌がもつサンゴ病原細菌に対する抗菌活性
 ○李 培希(近大農)・中高誠一(近大院農)・勝田芳樹・田畑侑樹・
 伊村広吉・青木隆一郎(近大水研)・谷口亮人(近大農)
- 1074 東京湾における青潮由来栄養塩の表層への放出とアサリ餌料環境
 ○石井光廣・林 俊裕・小山智行・速水啓介(千葉水総研セ)
- 1075 漁具設置型ロガー／デジタル操業日誌からみたクロダイの生息環境
 ○渡邊晟也・石井光廣(千葉水総研セ)・三田久徳(現:千葉県漁業資源課)・
 宇都康行(現:千葉県水産課)・飛田野祥平(現:千葉県銚子水産事務所)・
 柴田敬一・柴田武史(船橋市漁協所属)・三田村啓理(京大フィールド研セ)・
 内藤大輔(中電シーティーアイ)
- 1076 田辺湾養殖場水域の有機物分解プロセスを制御する環境酵素の温度特性
 ○石川碧伊・谷口亮人(近大農)・家戸敬太郎(近大水研)・江口 充(近大農)
- 1077 Microplastic abundance and characteristics in *Crassostrea gigas* from estuaries in Kochi
 ○Mella Sarah Elmania・池島 耕(高知大農海)

3月29日(金)

- 1078 発光体を併用した浮延縄の擬餌周辺におけるアカイカ類の出現と影響要因
 ○河野将隆・塩出大輔・胡 夫祥・東海 正(海洋大)・
 上野真太郎・越智大介(水産機構資源研)
- 1079 ニューストンネットの網口内流速と網口深度について
 ○島田 響・塩出大輔・内田圭一・胡 夫祥・東海 正(海洋大)
- 1080 沿岸水温を考慮したサケ河川捕獲数モデルと漁獲規制の影響評価
 ○水本寛基・渡邊久爾・佐藤俊平(水産機構資源研)
- 1081 人工衛星による植生指数(NDVI)を用いた水草モニタリング手法の実用化に向けた考察
 ○石川可奈子・蔡 吉(琵琶湖環セ)・芳賀裕樹(琵琶湖博)
- 1082 天然ウナギ資源の保護再生デザイン-15 2023年度採捕予測と採捕実績との照合
 ○柵瀬信夫・中村華子(鹿島建設)・伏見直基(フタバコウケン)・葉山一郎・
 浅岡美代子(藤沢市漁協)
- 1083 福井県坂井市のバフンウニ漁における入漁者数, 入漁日数およびCPUEの変遷
 ○仲野大地(福井水試)
- 1084 生分解性網袋を利用した潮下帯漁場におけるアサリの保護・育成
 ○日比野 学(愛知水試)・山下 修(TBR(株))・佐藤嘉洋(あいち三河繊維セ)・
 進藤 蒼・阿知波英明・平井 玲(愛知水試)
- 1085 天然ウナギ資源の保護再生デザイン-16 新型 軽量簡単石倉カゴ
 ○柵瀬信夫・中村華子・高本英邦・鷺尾 卓(鹿島建設)・
 伏見直基・中川拓康(フタバコウケン)・
 田中智一郎(田中三次郎商店)・高橋 実(海洋リサーチ)・
 本橋弘康(勝どきマリーナ)・江幡昌裕(三井不動産)・
 木村 恵・松田倫子・古川恵太(東京水産振興会)

- 1086 電動自動釣り機の複数台運転技術の開発
○木村拓人・小川真拓・石野光弘・貞安一廣(水産機構 開発セ)・
 小池章太(ユニマック(株))・黒木和智(日光水産(株))
- 1087 曇り込みニューラルネットワークによるサケ鱗画像の年齢予測とGrad-CAMによる注目領域の可視化
 ○宮島(多賀)悠子・鈴木健吾・井上誠章・大井邦昭(水産機構水技研)
- 1088 水中ドローンとステレオカメラによる魚体重量ベースでの高層魚礁の魚類相分布の推定
 ○宮島(多賀)悠子・大井邦昭・佐藤允昭・井上誠章・古市尚基・澤田浩一(水産機構水技研)
- 1089 モーションキャプチャを用いたコチョウザメの概日活動リズムの把握
 ○大江健太郎(近大院農)・鳥澤真介・光永 靖(近大農)・木南竜平・稲野俊直(近大水研)
- 1090 生息場の植生が放流サザエの成長に及ぼす影響
 ○芳山 拓(神奈川水技セ)・鬼塚年弘(水産機構技術研)・澤山周平(水産機構資源研)・
 丹羽健太郎・白藤徳夫(水産機構技術研)・松石 隆(北大院水)
- 1091 Marine benthic plastic debris impact on marine ecosystem: Effects on undersized organisms caught
 in trawl nets
 ○Saranya Raju・吉樹松下・千代高橋(長大院水環)
- 1092 海外まき網漁業における素群操業の漁獲効率向上に向けた検討
 ○和田聖子・保尊 脩・加藤慶樹・原 孝宏・追中大作・横田耕介(水研機構 開発セ)
- 1093 仙台湾におけるマコガレイ資源量の変動と年齢・成長特性の関係
 ○高津戸啓介・石川哲郎(宮城水技セ)
- 1094 岩手県沖合域における漁獲物組成の変化と海洋環境の関係
 ○森 友彦(岩手水技セ)・奥西 武(水産機構資源研)
- 1095 定置網に導入するイルカ混獲防止格子に適した間隙形状の検討
 ○柴田夏実(北大院水)・梶 征一・角川雅俊(おたる水族館)・松石 隆(北大院水)
- 1096 水中画像に対するフォトグラメトリ技術の適用について
 ○大井邦昭・宮島(多賀)悠子・鈴木健吾・井上誠章・佐藤允昭(水産機構技術研)
- 1097 鹿児島湾におけるイワハダカの音響生物量推定
 矢澤宏太郎・○安間洋樹(北大院水)・久米 元・東 隆文・牧野文洋・小針 統(鹿大水)
- 1098 深層学習によるデジタルカメラ画像内のマナモコの高精度検出
 ○木藤裕也・松田浩一(三重大水実)
- 1099 高感度ハンドカメラを活用した多魚種取扱市場における機動的な魚体長推定手法の実用化
 ○平井慈恵(水産機構資源研)・木本圭輔・和田宗一郎・渋谷駿太(大分水研)

3月30日(土)

- 1100 日本沿岸におけるヨシエビ *Metapenaeus ensis* 野生集団の遺伝的多様性評価
 ○足立賢太・菅谷琢磨・佐藤 琢(水研機構水技研)
- 1101 飼育水温がサクラマス₀₊春スマルト変態に及ぼす影響
 ○今井 智・小島大輔・湯浅 啓・清水大輔(水産機構技術研)
- 1102 クエ養殖におけるマハタハダムシ剥離に最適な塩分と日数
 ○森田哲男・今井 正(水産機構技術研)
- 1103 *Fusarium* 属菌に感染したクルマエビの鰓病変部位における遺伝子発現解析
 ○坂本洋平・今泉健太郎・川戸 智・古川美穂・小西佳代・野崎玲子・小祝敬一郎・
 近藤秀裕・廣野育生(海洋大)
- 1104 種苗生産にみるニホンウナギ浮遊仔魚の成長戦略
 ○川上 優(ゼンショー HD)
- 1105 養殖ホタテガイの初期成長に及ぼす飼育密度と分散時期の影響
 ○佐藤海斗・櫻井 泉(東海大院生物)
- 1106 アメリカミズアブ脱脂粉末を含む飼料の長期給餌がマダイの成長と筋肉性状に及ぼす影響
 ○大福高史・辻村浩隆・平康博章・山本圭吾・瀬山智博(大阪環農水研)
- 1107 酵素処理大豆粕含有飼料給餌によるコチョウザメの血中ゲニステイン濃度
 及び肝臓ピテロジェニン遺伝子発現量の変化
 ○中村 凌(近大院農)・稲野俊直・高桑史明・木南竜平(近大水研)

- 1108 雌性発生により作出したロシアチョウザメおよびシベリアチョウザメの遺伝型
 …… ○加納達海(近大院農)・稲野俊直・木南竜平(近大水研)・中村充志・中西健二・
 三木涼平・入木田 敦(宮崎水試)
- 1109 メイラード産物不溶性画分のアルテミアによる摂食取り込み
 …… ○徳田雅治(水産機構技術研)・横山雄彦(北里大海洋)
- 1110 養殖生簞内におけるヒラマサの遊泳行動の季節変化
 …… ○古川幹太郎・濱田翔太・川口 凜・佐々木幾星(長大院水環)・藤川稔晃・
 室越 章・中村乙水・河邊 玲(環東シナ海環境資源研究センター)
- 1111 飼育水温がサケ稚魚のDNAメチル化に与える影響
 …… ○小亀友也・ト部浩一(道さけます内水試)・藤本貴史(北大院水)
- 1112 ブリにおける天然種苗と人工種苗の内臓形態の比較
 …… ○松本暢久(高知大院)・梨和 歩(高知大農海)・泉水彩花(愛媛連大農)・
 深田陽久(高知大農海)
- 1113 SNP解析を用いたサケの種卵移殖の影響評価
 …… ○大磯毅晃・下田和孝・ト部浩一・小亀友也(道さけます内水試)
- 1114 長日および短日処理によるキタムラサキウニの成熟抑制効果の持続期間
 …… ○合田浩朗・三上加奈子・鎌水 梢・高橋夢伽・麻生真悟(道中央水試)・
 金田友紀(道総研)・鶴沼辰哉(東北大院農/水産機構資源研)
- 1115 長日処理を終えたキタムラサキウニの自然日長下における配偶子形成
 …… ○鶴沼辰哉(東北大院農/水産機構資源研)・
 高木聖実・長谷川夏樹・町口裕二(水産機構資源研)・
 村田裕子(水産機構技術研)・金田友紀(道総研)・合田浩朗(道中央水試)
- 1116 タンパク質原料が異なるキタムラサキウニ用配合飼料(1)身入りと品質への影響
 …… ○鎌水 梢・合田浩朗・菅原 玲・高橋夢伽(道中央水試)・高橋和寛・金田友紀(道総研)・
 高木聖実・町口裕二・長谷川夏樹(水産機構資源研)・鶴沼辰哉(東北大院農/水産機構資源研)
- 1117 タンパク質原料が異なるキタムラサキウニ用配合飼料(2)飼料と生殖巣のアミノ酸組成
 …… ○高木聖実(水産機構資源研)・高橋和寛・金田友紀(道総研)・菅原 玲・
 鎌水 梢・麻生真悟(道中央水試)・町口裕二・長谷川夏樹(水産機構資源研)・
 村田裕子(水産機構技術研)・鶴沼辰哉(東北大院農/水産機構資源研)
- 1118 A Circular Agricultural Based Hard Clam (*Meretrix* spp.) Aquaculture System- An Novel Way to
 Utilize Pickle Vegetable Brine
 …… Jhao Cian Hou・Ho Mun Wong・Li Han Chen (Institute of Fisheries Science, College of Life
 Science, National Taiwan University, Taipei, Taiwan.)・
 ○Ching Huei Huang (Fisheries Research Institute, Ministry of Agriculture, Keelung, Taiwan.)
- 1119 ブリの収穫時体重を若齢時体重からゲノム予測する
 …… ○秋田一樹・中条太郎・内野 翼・宅野将平(水産機構技術研)
- 1120 アコヤガイ軟体部萎縮症におけるアコヤガイ外套膜のRNA-seq解析
 …… ○佐野葉採(三重大院生資)・松山知正(水産機構技術研)
- 1121 メジナの新規養殖魚としての可能性評価
 …… ○大西基文・竹内久登・高木基裕(愛媛大・農)
- 1122 アカムツに対するオイゲノール(FA100)の麻酔効果
 …… ○福西悠一・藤島陽平・渡辺孝之・村木誠一(富山水研)
- 1123 MIG-seq法による三陸岩手のサケの遺伝特性分析
 …… ○塚越英晴(岩手大三陸水研セ)・尾針由真(北大獣医)
- 1124 マナマコ大型種苗生産に向けた水温および密度の影響評価
 …… ○長谷川竜也・川崎琢真(道裁水試)
- 1125 マダコの産卵促進と水温が親ダコの活動に与える影響 マダコ養殖イノベーション事業-1
 …… ○亀井良則・中力健治(岡山水研)・伊藤 篤(水産機構技術研)・團 重樹・
 浜崎活幸(海洋大)
- 1126 マダコの飼育現場でのアルテミア培養と栄養強化 マダコ養殖イノベーション事業-2
 …… ○松成宏之・竹島 利・関澤彩真・今井 正・西岡豊弘(水産機構技術研)・
 亀井良則・増成伸文(岡山水研)・原佐登子・中山博志(香川水試)・崎山和昭(大分水研)・
 山元 慶・團 重樹(海洋大)・伊藤 篤(水産機構技術研)

- 1127 マダコ人工種苗の中間育成におけるシェルターの影響 マダコ養殖イノベーション事業-3
 ○竹島 利・関澤彩真(水産機構技術研)・亀井良則・増成伸文(岡山水研)・
 原 佐登子・中山博志(香川水試)・崎山和昭(大分水研)・松成宏之・
 今井 正・西岡豊弘・伊藤 篤(水産機構技術研)・團 重樹(海洋大)
- 1128 マダコ種苗の輸送条件の検討 マダコ養殖イノベーション事業-4
 ○崎山和昭(大分水研)・團 重樹・榛葉絢子・相馬美聡(海洋大)・内海訓弘(大分水研)・
 伊藤 篤(水産機構技術研)
- 1129 マダイ不妊魚の作出および身質解析
 ○後藤理恵・大塚淳希・松原孝博・斎藤大樹(愛媛大南水研セ)
- 1130 マダイエドワジエラ症原因菌の海中動態に関する研究
 ○竹内久登・清水園子(愛媛大南水研セ)
- 1131 グルコースバイオセンサを用いたカキ内転筋中におけるグルコース濃度測定システムの適用
 ○瀧澤敦生・呉 海云(海洋大)・土内隼人(長崎水試)・大迫一史・耿 婕婷・
 大貫 等・柴田恭幸・遠藤英明(海洋大)
- 1132 ゲノム編集により作出したおとなしいマサバのオフターゲット解析
 ○竹内 諒(九大院農)・大野 薫(基生研)・大賀浩史(九大院農)・
 伊藤武彦(東工大生命理工)・長野直樹(宮大農)・藤原篤志(水研機構)・佐久間哲史・
 山本 卓(広大院統合生命科学)・Tapas Chakraborty・太田耕平・松山倫也(九大院農)
- 1132 ゲノムワイドSNPとmtDNAによるマボヤの集団遺伝構造解析
 ○横山有人(日大生物資源)・Sanghee Kim(愛媛大院理工)・
 北村真一(三重大生物資源)・熊野 岳(東北大浅虫)・澤山英太郎(日大生物資源)
- 1133 ニベ *Nibea mitsukurii* 飼料におけるゴカイ粉末利用の影響
 ○松岡洋佑・佐藤翔吾(海洋大)・CHAINARK Pitchaya(タイ水産局)・
 佐藤秀一(福井県大海洋生資)・芳賀 穰・壁谷尚樹(海洋大)
- 1135 サケ稚魚の栄養状態に与える絶食と水温の影響
 ○伴 真俊(水産機構資源研)
- 1136 Characterization of temperature-sensitive Transient Receptor Potential Cation Channel Subfamily
 Vanilloid (TRPV) 1 and its modulation of fshb expression in chub mackerel (*Scomber japonicus*)
 ○Kyle Dominic Barnuevo・Hironori Katoh・Sipra Mohapatra
 (Kyushu University Graduate School of Agriculture)・
 Naoki Nagano (Miyazaki University Agriculture)・
 Takehiko Itoh (Tokyo Institute of Technology, School of Life Science and Technology)・
 Michiya Matsuyama (Kyushu University, Aqua-Bioresource Innovation Center)・
 Tapas Chakraborty・Kohei Ohta (Kyushu University Graduate School of Agriculture/
 Aqua-Bioresource Innovation Center)
- 1137 ハクメチヒロエビ (*Aristeus mabahissae*) の鰓に寄生するエビヤドリムシの同定：形態および分子生物学解析
 ○荘 東樺・王 昱陽・黄 銘志(台南大生科)
- 1138 マサバ黄体形成ホルモン(LH)のノックアウトによる不妊化-妊性回復システムの作出の試み
 ○江口 瑛(九大院生資環)・Tapas Chakraborty・Sipra Mohapatra・
 松山倫也・太田耕平(九大院農)・八尋逸清(九大院生資環)・
 向井幸樹(水産機構)・伊藤武彦(東工大生命理工)
- 1139 Identification and characterization of colony-stimulating factors in Japanese Flounder (*Paralichthys
 olivaceus*)
 ○Rungnapa Sakulworakan・Ikuo Hirono・
 Keiichiro Koiwai・Hidehiro Kondo (TUMSAT)
- 1140 福井県南川における天然アユ復活に向けた取り組み～南川アユの産卵期と産卵場～
 坂下奨悟・谷田 響・○田原大輔(福井県大海洋生資)
- 1141 トランスクリプトーム解析によるヤイトハタの免疫関連遺伝子群の探索
 ○吉澤聡一郎・吉村和真・野崎玲子(海洋大)・山内千裕・
 宇田川伸吾(琉大・研推)・竹村明洋(琉大・理)・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕(海洋大)
- 1142 ベニザケの成熟抑制のための長日処理～間欠照明の導入～
 ○泉田大介・佐藤 友・尾崎雄一(水産機構技術研)・黒川忠英(水産機構資源研)・
 鵜沼辰哉(東北大院農)

- 1143 Down-flow Hanging Spongeリアクターを用いた琵琶湖の淡水真珠稚貝育成技術の検討
 ◯霜鳥孝一・珠坪一晃(国環研)・佐野聡哉(滋賀水試)・青木仁孝・馬淵浩司・富岡典子(国環研)
- 1144 モズク残渣を用いたシラヒゲウニ *Tripneustes gratilla* 養殖用配合飼料の開発
 ◯呉屋絢音(琉大・理工)・平塚悠治(琉大・研推)・新垣隆太(ホクガン)・宇田川伸吾(琉大・研推)・高橋 誠(琉大・農)・竹村明洋(琉大・理)
- 1145 アメリカミズアブ由来昆虫ミールがニシキゴイの白血球貪食能に及ぼす影響
 ◯木多由梨・小林 功(金沢大)・渡利高大(長岡技大)・村上祐貴(長岡高専)・山口隆司(長岡技大)・竹内 裕(金沢大)
- 1146 マアジとカイワリの交配による新たな交雑種の作出
 ◯原田将登・森田哲朗・松下芳之・Wongtho Suwarak・吉崎悟朗(海洋大)
- 1147 スマ稚魚用飼料の開発
 ◯西宮 攻(愛媛大南水研セ/弘前大地域戦略)・中島兼太郎(愛媛水研セ)・斎藤大樹・後藤理恵・松原孝博(愛媛大南水研セ)
- 1148 マサバ0才魚の摂餌量に及ぼす飼育密度の影響
 ◯富永 修・浮田智波(福井県大海洋生資)
- 1149 魚類における生殖関連ステロイドホルモンの同時測定法の開発
 ◯西川 潤・宮代好道(株式会社あすか製薬メディカル)
- 1150 マダイ筋肉由来培養細胞株の樹立
 ◯上野幹憲(長大院水環)・山口 優(長大院医歯薬)・吉田朝美・平坂勝也(長大院水環)・高橋夏美(一正蒲鉾)・門脇知子・筑波隆幸(長大院医歯薬)・山口健一(長大院水環)
- 1151 人工消化液を用いたソフトシェルシュリンプのカルシウム溶出に関する検討
 ◯松井大幸・三木悠意(株式会社ニチレイ)
- 1152 魚肉および魚肉エキス中のイノシン酸濃度と呈味との関係について
 ◯村田裕子・松田 隆・橋本加奈子・渡邊龍一・三浦大輝・石原賢司(水産機構技術研)
- 1153 Rasの活性化とミトコンドリア機能障害は魚類細胞株EPCにおいて完全老化を誘導する
 ◯白坂 麟・片桐孝之・二見邦彦(海洋大)
- 1154 海洋細菌 *Kordiimonas gwangyangensis* 由来の新規天然化合物の探索
 大橋聡臣・山口皓平・◯上岡麗子(北里大海洋)
- 1155 魚類細胞におけるPMLボディの欠如と老化耐性との関連
 ◯伊東颯太・片桐孝之・二見邦彦(海洋大)
- 1156 超音波AIによる冷凍ビンチョウの脂の含有評価の検討
 ◯八木雅文(東海大海洋)・酒井 彬・安富 優・鈴木彼方(富士通人工知能研究所)・柏倉弘貴・阿部修一郎・中村海斗・荒井佑哉・田島勇希・後藤慶一(東海大海洋)
- 1157 キチジとその餌生物における総脂肪酸およびエイコセン酸異性体組成
 ◯大迫瑞葵・西 功誠・山村織生・安藤靖浩(北大院水)・成松庸二・濱津友紀(水産機構資源研)
- 1158 アコヤガイ *Pinctada fucata* の貝殻真珠層から合成されたヒドロキシアパタイトの化粧品への高度化利用
 ◯大森文人・阪井田和則・荒巻 要・服部文弘・前山 薫(御木本製薬)
- 1159 海洋低温菌 *Pseudoalteromonas* sp. LA 由来ラミナラナーゼの3つのCBMの多糖結合能解析
 ◯上田理智・徳原 翔・石田真巳・岡井公彦(海洋大)
- 1160 ニホンウナギ由来ナッテリン様タンパク質の構造と発現
 ◯矢野幹季・今道力敬(福井県大海洋生資)
- 1161 紅藻スサビノリ基準品種と高水温耐性品種における熱ショックタンパク質遺伝子群と葉緑体の機能発現・維持に関わる遺伝子の発現解析
 ◯中野晴貴・五十嵐洋治・松永茉弓・上杉玲奈(三重大院生資)・岩出将英(三重水研)・吉武和敏・浅川修一(東大院農)・柿沼 誠(三重大院生資)
- 1162 Production of fish fillet analogue using fish muscle cell powder and sodium alginate- κ -carrageenan as bio-ink materials
 ◯YOUN HEE CHOI・Ulagesan Selvakumar・Krishnan Sathish・TAEK JEONG NAM(Pukyong National University)
- 1163 レトルトあさりの臭気成分の同定とみそによるマスキング効果
 ◯高橋健司・浅野瑞季・山本英作(ハナマルキ(株))

- 1164 雑種フグにおける TTX および TTX 類縁体の分析
 ○沼野 聡・糸田将太・渡邊龍一・内田 肇・小澤眞由・松嶋良次・
 鈴木敏之(水産機構技術研)・辰野竜平・刀禰一幸・高橋 洋(水産機構水大校)・
 山下まり(東北大院農)
- 1165 マダイ肉の貯蔵による腐敗に伴う代謝成分プロファイル変化の解析と腐敗関連成分の探索
 ○馬淵良太(県立広島大生物資源科/県立広島大院総合学術)・
 杉正 龍・田中麻緒(県立広島大院総合学術)・古田 歩(県立広島大地域創生)・
 谷本昌太(県立広島大院総合学術/県立広島大地域創生)
- 1166 魚肉由来タンパク質ゲルに対するポリフェノールの影響
 ○山本彩起子・高橋 徹(東洋食研)
- 1167 アカモク添加による減塩ハクレンすり身のレオロジーとゲル形成特性の評価
 ○王 卓琳・wenrui Zhu・蘭 禹萌・袁 春紅(岩手大)
- 1168 スーパーチリングによるブリ肉の鮮度保持効果
 ○緒方由美・吉岡武也(道工技セ)
- 1169 生食用ブリの官能評価用語の収集と消費者および調理従事者等の生食用ブリに対する認識
 ○橋本加奈子・三浦太暉・今村伸太郎・石原賢司(水産機構技術研)
- 1170 ヒトデ由来サボニンの抗炎症作用
 ○萩谷紀香(東京海洋大学大学院)
- 1171 人工種苗由来の養殖ウナギに対する試食会参加者の評価
 ○高崎竜太郎(水産機構技術研)・岸 真二郎(MF21)・加藤尚武(山田水産)・
 風藤行紀・須藤竜介・里見正隆・樋口健太郎・今泉 均・中村康平・棧敷孝浩(水産機構技術研)
- 1172 下水を起点とした循環型エネルギー・食料生産システムに対する地域住民の満足度評価
 ○棧敷孝浩・外丸裕司・羽野健志・松原 賢・島袋寛盛(水産機構技術研)
- 1173 カンボジア王国ケップ州カニ市場におけるコロナ禍の影響
 ○石川智士(京都府立大)・堀 美菜(高知大)・Leakhena Chin(カンボジア水産局)
- 1174 Sustainable large-scale Pelagic Fisheries under Net Zero Emission: Study on Taiwan and Japan
 Government's Policies and Industry's Actions for Carbon Reduction
 李 冠廷(台湾鮪魚公會)・侯 清賢・○鄭 玉欣(台湾高科大)

高校生による研究発表プログラム

期日：令和6年3月29日(金)

11:00～13:00(17:00まで掲示可)

[討論時間：Aグループ11:30～12:00／

Bグループ12:00～12:30／

Cグループ 12:30～13:00]

- 2001-A 小田和湾のアマモを取り戻せ～アマモ再生プロジェクト～
 ○本木優海(神奈川県立海洋科学高等学校)
- 2002-B 除草剤が海産藻類に与える影響と磯焼けとの因果関係について
 ○松野 翼・石黒恋那・横山京香・石井亜希奈・及川那智(神奈川県立海洋科学高等学校)
- 2003-C 冷水性淡水魚に寄生するチョウモドキに対するみかん果皮抽出液の駆虫効果
 ○杉村奨生(近畿大学附属新宮高等学校)
- 2004-A アオリイカ産卵礁の開発
 ○淀 優星・吉田倅成(徳島県立徳島科学技術高等学校)
- 2005-B μ CTを用いたホシザメの歯と部位別の鱗の構造的比較
 ○栗山奈月(青稜高等学校)
- 2006-C 魚由来の油吸着材の作成の検討
 ○山崎はるか・梶 雅・小山夏奈・寺田結月・鈴木美果(神奈川県立厚木高等学校)
- 2007-C キトサンビーズを用いた銅イオン排水処理
 ～ジェランガムとのポリイオンコンプレックスによる吸着～
 ○片山湧太・高木惺斗・中村 純(学校法人城北学園 城北高等学校)
- 2008-B 海の怪火現象「不知火」の観測条件と発生原理
 ○徳丸亮汰・本田琢磨・新宅草太・小林 瑞・米田直人・村上聖真・吉田大暉・西川幸輝・丸目遥菜・大塚茉莉杏・東元かりん・堀田舞衣(熊本県立宇土高等学校)
- 2009-C 柳川掘割のこれから－生態調査とホタルの復活－
 ○石川妃里・諸藤志穂・郭 子淳・佐藤智成・中園暁太楼・永瀨七翔・中島正蔵・松石明人・生清勝志・久富友裕(福岡県立伝習館高等学校)
- 2010-A 環境DNAによる能登地域の河川の魚類相調査
 ○延田考聡・中村晃規・浅田遥音・金沢寧々・竹澤 翔・田中 竣・山口色葉(石川県立七尾高等学校)
- 2011-B ドジョウ飼育水における様々な温度での環境DNA量の経時的変化
 ○松原慶治・谷野智了・中村晃規・柴 葉月・中山絢乃・村山昂輝(石川県立七尾高等学校)
- 2012-C フナムシと乾燥処理
 ○田尾望乃果・岩山寛大・加藤 和(広島県立広島国泰寺高等学校)
- 2013-A ケイソウとケイ酸濃度との関係について
 ○加納幸音・藤原遙海・尾花彩乃(広島県立広島国泰寺高等学校)
- 2014-B イセエビの水揚げ量の予測モデルに関する研究
 ○井上波人伊(東京都立大島海洋国際高等学校)
- 2015-C カワリヌマエビ*Neocaridina*交雑種における適切な生育環境－バナメイエビ*Litopenaeus vannamei*に適する環境を探る－
 ○秋山莉乃・小高暢子(山脇学園中学校・高等学校)
- 2016-A 魚の聴力と学習能力によるコントロール
 ○永山 晴(神戸大学附属中等教育学校)
- 2017-B 省スペースにおけるノコギリガザミの種苗生産に関する研究
 ○菅野颯哉・前島亮太・木原理久(神奈川県立海洋科学高等学校)

- 2018-C えっ、島が浮いてる！？～浮島現象の発生・観測条件と科学的原理～
 ……○本田琢磨・徳丸亮汰・新宅草太・小林 瑞・米田直人・村上聖真・吉田大暉・西川幸輝・丸目遥菜・大塚茉莉杏・東元かりん・堀田舞衣(熊本県立宇土高等学校)
- 2019-A 不知火海を吹く風を探る～近くにアメダスがない場所の風の推定～
 ……○新宅草太・徳丸亮汰・本田琢磨・小林 瑞・米田直人・村上聖真・吉田大暉・西川幸輝・丸目遥菜・大塚茉莉杏・東元かりん・堀田舞衣(熊本県立宇土高等学校)
- 2020-B 金魚を用いた魚類の色覚の認識の調査とその活用について
 ……○築場玲央(東洋高等学校)
- 2021-C マダカアワビとクロアワビおよびその交雑種に発現する表現型について
 ……○丸山功成(神奈川県立海洋科学高等学校)
- 2022-A 金魚の鱗の成長について
 ……○牛山 翠・山下航平・佐藤智恒・佐藤 匡・畑中佑心(東京農業大学第一高等学校)
- 2023-B チンアナゴの棲息および巣穴を変える条件に関する研究
 ……○大東厚太・木下和生(報徳学園高等学校)
- 2024-C スマエビ属の異なる明度における行動
 ……○石山愛梨・都丸凜々香(山脇学園高等学校)
- 2025-A 目指せ脱却！ワーストワン！～りんくうビーチをきれいに～
 ……○渡邊紗良・田村二三代・金岡 慧・田中峻翔・小早川美桜・山崎由依(愛知県立半田高等学校)
- 2026-B 広島県の河川におけるマイクロプラスチックの汚染状況の調査および
 マイクロプラスチック汚染指標の作成
 ……○山田 廉・長谷川 遥・安食柊大(広島県立広島国泰寺高校)
- 2027-C PCを用いたミナミヌマエビ*Neocaridina denticulata*の認識
 ……○廣鱈優華(山脇学園高等学校)
- 2028-A 魚介類にマイクロプラスチックは取り込まれているのか
 ……○富田リアーナ・杉本 結・高木結萌(山脇学園高等学校)
- 2029-B まるで海の宝石箱や～！ ～光る海藻のHow疑問とWhy疑問を解く～
 ……○廣田陽世・山本美璃・高崎優嘉・山崎すず(白梅学園高等学校)
- 2030-C 生息水深の違いによる北海道南部産ダリスの組成変化
 ……○中村 響・水間咲心(函館大学付属柏稜高等学校)
- 2031-A マホロバサンショウウオはどこから岐阜県にやって来たのか？
 ……○川瀬幸貴・竹内啓太・白木瑛翔・綴喜美慧・篠原菜々華・田中 遼・浅野公聖・鹿野龍浄・長沼大雅・小林祥大・瀬口大翔・高木雅紀(岐阜県立大垣北高等学校自然科学部サンショウウオ班)
- 2032-C 岐阜県のオオサンショウウオを守る！～生息地の分析と在来種の保全～
 ……○河合七香・森 憲仁・飯田智輝・田中隆太郎・粟井佑果・安藤有未・志田和樹・藤井飛燕・杉本巧翔・金森愛子・浅野公聖・伊藤力也・高木雅紀(岐阜県立大垣北高等学校自然科学部オオサンショウウオ班)
- 2033-C 埼玉県内における外来種系統のドジョウの拡散状況
 ……○金澤玄翔・橋本 悟・奥野陽天・黒羽悠人・今津快斗(浦和実業学園高等学校)
- 2034-A 糸魚川における持続可能なサケ増殖事業に関する調査研究
 ……○大橋 諒・林 明日香・村越柚希・増田真之介(新潟県立海洋高等学校)
- 2035-B 水温の変化がオオミジンコの運動に与える影響
 ……○岩田皐牙・河合玲奈・森 麻亜子・李 炫進(岐阜県立大垣北高等学校自然科学部ミジンコ班)
- 2036-C 投網における目合いの違いと、捕獲されるアユの体長と掛かり方について
 ……○羽生寛太郎・大澤勝紀・若生直輝(都立多摩科学技術高校)
- 2037-A ホヤ殻の橙色は観賞魚の色揚げに関わる色素「ゼアキサンチン」か？
 ……○阿部 蓮・菊田嗣美・中澤謙人(宮城県気仙沼向洋高等学校)
- 2038-B マイクロプラスチックの密集する地形の解明及び収集機器の作成
 ……○川崎和華・河野健太・河原理穂・橋倉ひなた(宮城県立宮崎北高等学校)
- 2039-C まぐろはえ縄漁業の効率化の可能性について
 ……○内田航太郎・三留直太郎(神奈川県立海洋科学高等学校)

- 2040-A 江を通年湛水することによるミナミメダカの繁殖期初期の生育状況に及ぼす保全効果
 ○所 巧真・高崎哲治・小林優斗(岐阜県立岐阜農林高等学校)
- 2041-B 天神島のプランクトン相の周年変化
 ○若林兼真・渡辺然太・小林令奈・湯浅実華・杉山佳織・横川叶夢・
 作田悠太郎(神奈川県立横須賀高等学校)
- 2042-C 日立市宮田川におけるモクズガニの四季間での移動, および最上流域の生物相調査の研究報告
 ○杉山 稜・小泉智弘・柴田 司・細美祐貴・高山志優・遠田佑真(明秀学園日立高等学校)
- 2043-A 霞ヶ浦の魚類におけるマイクロプラスチックの摂取実態
 ○村次小枝・正垣絢野(東京都立国分寺高等学校)
- 2044-B 山形県南部における、キタノメダカ(*Oryzias sakaizumii*)とミナミメダカ(*Oryzias latipes*)の
 生息域継続調査
 ○土屋心宇・山口大輔・末野莉子・富樫和真・鈴木寛大(米沢興譲館高等学校)
- 2045-C チゴダラの餌の選択方法
 ○畠山 要・渡邊 權(宮城県仙台第三高等学校自然科学部生物班)
- 2046-A 長崎県五島近海のタコツボ漁業に関する研究
 ○築瀬俊弘・山崎 洋・村中俊介(長崎県立上五島高等学校)
- 2047-B アニサキスシンプレックスはなぜ筋肉への移行率が高いのか
 ○香川沙織(東京学芸大学附属高校)
- 2048-C 髪における18-MEAの有無と潤滑油吸着の関係性
 ○山川穂乃佳(奈良学園高等学校)
- 2049-A 魚は夜給餌すると脂がのるか
 ○山口 權・竹林 要・坂本 嵐・中村唯人・生田わかば・下田政太・池口啓一郎・
 荒川和美(長崎鶴洋高)・山本悠理(長大院水環)・平坂勝也(長大海洋未来)
- 2050-B トリゴニアの表面構造から探る~トリゴニアはどう生き抜いたのか~
 ○先崎あかり・菊地兼太郎・南部拓未(宮城県仙台第三高等学校)
- 2051-B アメンボの動きと水の流れとの関係
 ○新谷美晴・徳田あおい(広島県立広島国泰寺高等学校)
- 2052-A 横須賀高校に生息するトウキョウサンショウウオの継続的な保全活動
 ○山口和穂・浅岡 蒼・阿部正治・川井柊弥・湯浅実華(神奈川県立横須賀高等学校)
- 2053-C 子どもたちの興味・関心を高める観音崎の貝殻パンフレット作成
 ○高橋冴空・菅野孔一・三富柊士・末永 涼・岩淵太陽・
 吉澤春花(神奈川県立横須賀高等学校)
- 2054-C カイコから作った餌がサケの成長と肉質に与える影響
 ○河合和来(静岡県立焼津水産高等学校)・成島すみれ(静岡大学理学部)・
 岡部 聖・清水勇一(岩手水技セ)・三浦 猛(愛媛大農)・
 日下部 誠(静岡大学理学部)
- 2055-A 紀伊長島におけるアコヤガイの分布と生態
 ○伊藤涉晴(三重県立四日市高等学校)
- 2056-B ホトケドジョウ十日町集団の危機 - 保全のための基礎調査 -
 ○野崎昊太・石田妃菜佳・阿部未彩樹・霜垣 咲・保坂紗良・
 高橋小珠(新潟県立十日町高等学校)・馬場吉弘(新潟県立海洋高等学校)
- 2057-A わかめ配偶体に与える光の影響
 ○木下倫那・青木駿和・我妻優史・千田琴乃・菊地兼太郎・千葉瑛翼・
 井上康介・中野 剛(宮城県仙台第三高等学校)
- 2058-A キートセロスの新たな培養方法 その2 より簡単なシラヒゲウニ種苗生産を目指して
 ○崎枝留希・奥田賢司(沖縄県立沖縄水産高等学校)・前野万也香・
 森井克行(株式会社日本触媒・大阪大学日本触媒協働研究所)
- 2059-B ザリガニの成長に対するエクジステロイドとセルロースの影響
 ○松本結衣・佐々木優維(文京学院大学女子高等学校)
- 2060-C 山形県置賜地方におけるモツゴ(*Pseudorasbora parva*)とシナイモツゴ(*Pseudorasbora pumila*)の生息
 域調査
 ○新藤匠杜・二馬良太(山形県立興譲館高等学校)

- 2061-A ホクリクサンショウウオの環境DNAを利用した生息調査と保護活動について
○高田紗良・片林菘月・金井 希・吉田悠馬・倉川太我・柴田孝史郎(富山県立富山中部高等学校)
- 2062-B ドクターフィッシュの行動について
○高田紗良・吉田彩希・京本実久(富山県立富山中部高等学校)
- 2063-B 「市民は解決者になれる」シチズンサイエンスによる海洋ごみ問題解決の実践
○岡崎 華・福原瑠奈・小橋愛美・原 帆希・酒匂瑛葉・森本 綾・山本真鈴・栗原夏歩・湯浅亜子・大本 真(山陽学園高等学校)
- 2064-B 金魚の追隨行動と色のコントラストについて
○山下 優・副島英子・田口萌禾(福岡工業大学附属城東高等学校)
- 2065-B 広島県尾道市向島沿岸における干潟底生生物の調査・研究
○柏原陽生・小坂将太・藤井鶴人(尾道高等学校)
- 2066-C キンギョを用いた学習実験～キンギョもサッカーをできるのか～
○小沼広汰・小林優太・野澤優斗(大森学園高等学校科学研究部)
- 2067-A アサリの産卵期と成長速度in和白干潟～保全策を行うために～
○石丸文菜・副島英子・田口萌禾・山下 優・林 あい・青柳瑞希・刀根佳子・池田愛梨(福岡工業大学附属城東高等学校)
- 2068-B 毛髪と油によるマイクロプラスチックの回収方法の考案
○岩崎章太(栄東高等学校)
- 2069-C 津屋崎干潟でのカブトガニ幼体のコドラートによるサンプリング法の妥当性
○大石圭悟・副島英子・荻澤日向子・石丸文菜・岡田奏真・蛭子遙生・濱崎 佑(福岡工業大学附属城東高等学校)
- 2070-A 鮎の腸管を用いた乳酸菌の分離
○加賀羽揺・藤井春香・江尻 和(茨城キリスト教学園高等学校)
- 2071-B ハイブリッド紙の作成に関する研究
○大宮海翔・益子 龍・太田守侗・健太 プリンセバ・石井星吾(茨城キリスト教学園高等学校)
- 2072-C ザリガニの体色変化と周囲の色彩に関する研究
○内田康太・猪俣大地(東京都立日野台高等学校)
- 2073-A 時間経過による魚類の光への認識の変化と適応までの時間の特定
○岡田奏真・副島英子・蛭子遙生(福岡工業大学附属城東高等学校)
- 2074-B 魚類およびヒト血清中のメラニン結合タンパク質の検出
○小崎伶衣(熊本県立熊本高校)・中尾実樹(九大院農)
- 2075-C システインプロテアーゼによるコイのアレルギー反応について
○森 陽理(長崎県立諫早高校)・中尾実樹(九大院農)
- 2076-A 河川MPsの汚染状況と発生源の調査
○鈴木 歩・山田 翔(東京都立科学技術高等学校)

＜令和6年度日本水産学会春季大会 ミニシンポジウム＞

水圏生物の行動解析～水産分野における難題へのチャレンジ～

日時・場所：令和6年3月27日（水） 9:00-12:30 第2会場

企画責任者：紫加田 知幸（水産機構技術研）・野田 勉（水産機構技術研）

- 9:00－ 9:05 開会の挨拶・企画の趣旨説明 野田 勉（水産機構技術研）
- 座長：梶川 和武（水大校）
- 9:05－ 9:35 1. 魚類の摂餌行動を利用した海藻の種苗生産技術 野田 勉（水産機構技術研）
- 9:35－10:05 2. IoTを用いた監視システムによる養殖マグロの斃死要因の解明 野田 誠（大分水研）
- 10:05－10:35 3. 養殖魚の摂餌活性を踏まえた自動給餌機「餌ロボ」の開発 斉藤 友良（パシフィックソフトウェア開発株式会社）
- 10:35－10:50 休憩
- 座長：西山 佳孝（埼玉大）
- 10:50－11:20 4. 原因プランクトンの日周鉛直移動特性を踏まえた赤潮対応技術 紫加田 知幸（水産機構技術研）
- 11:20－11:50 5. 微生物の行動シミュレーション技術とその水産研究への応用可能性 石川 拓司（東北大）
- 11:50－12:25 総合討論 座長：紫加田 知幸（水産機構技術研）
- 12:25－12:30 閉会の挨拶 紫加田 知幸（水産機構技術研）

企画の趣旨

水圏生物の行動特性は多くの水産技術開発の基盤となるため、長年精力的に研究されてきた。さらに近年はIoTやAIに代表される情報通信技術の革新が著しく、それらの技術を取り入れた行動解析やシステム開発が進められている。しかし、それでも水産分野において、未解決の課題が多々あることは周知の事実である。一方で、企画者らは、更なる対象生物の行動に関する情報の蓄積や異分野の解析技術の導入が課題解決を大きく後押しすると考えている。本シンポジウムでは、主に水産養殖分野における問題点を明示し、それらを対象生物の

行動の解析や利活用によって解決しようとする試みについて事例を報告する。また、バイオメカニクス分野の研究者を招き、微生物の行動シミュレーション技術について最先端の情報を紹介する。微生物の行動シミュレーションは、養殖魚貝類の人工種苗生産、貝類の天然採苗、赤潮や魚病への対応など、難点を抱える水産技術への応用が期待される。さらに、総合討論では、講演を踏まえて今後の問題点を整理し、具体的な解決方法や必要なコラボレーションについて議論する。

<令和6年度日本水産学会春季大会 ミニシンポジウム>

水圏動物の「賢さ」から水産学への展開を探る

日時・場所：令和6年3月27日（水） 13:00-16:40 第2会場

企画責任者：高橋宏司（新潟大）・安房田智司（大阪公大院理）・佐藤成祥（東海大海洋）・石原千晶（北大院水）・幸田正典（大阪公大院理）

13:00- 13:20	開会の挨拶・企画の趣旨説明	高橋宏司（新潟大） 座長：高橋宏司（新潟大）
13:20- 13:45	1. 「認知進化生態学」で紐解く魚類の社会	安房田智司（大阪公大院理）
13:45- 14:05	2. タコの摂餌生態から考える頭足類の賢さ	佐藤成祥（東海大海洋）
14:05- 14:15	休憩	座長：佐藤成祥（東海大海洋）
14:15- 14:35	3. 甲殻類は賢いか？ 十脚類から考える	石原千晶（北大院水）
14:35- 15:00	4. 自己意識や「心」がある魚類と、これからいかに接していくか	幸田正典（大阪公大院理）
15:00- 15:10	休憩	座長：石原千晶（北大院水）
15:10- 15:30	5. サバ・イワシ類仔稚魚の摂餌・逃避と「賢さ」の意外な関係	中村政裕（水産機構技術研）
15:30- 15:55	6. 魚類の認知研究からみる水産学の未来	高橋宏司（新潟大）
15:55- 16:05	休憩	
16:05-16:35	総合討論	座長：高橋宏司（新潟大）
16:35-16:40	閉会の挨拶	安房田智司（大阪公大院理）

企画の趣旨

動物の「賢さ」は、高等動物とされる陸上動物に限定されてきた。しかし、近年魚類や頭足類、甲殻類などの水圏動物において、高次の認知を備える可能性が続々と報告されている。我々は、学術変革領域Bの助成を受けて、水圏動物の認知研究から「動物の賢さ」を見つめ直す「認知進化生態学」を立ち上げている。一方で、水産学会の皆さんの研究現場においても、対象としている水産動物の中に「賢さ」を感じる機会が多いのではないだろうか。動物の行動原理にある認知を探ることは、水産生物の資源管理や増養殖といった水産学への発展に貢献することができるかもしれない。本講演では、魚類・頭足類・甲殻類といった水圏動物の最新の認知研究を紹介し、みなさんに水圏生物の賢さを検討する機会を提供したい。そして、認知研究の水産学分野への展開可能性について、議論を講じたい。

<令和6年度春季 日本水産学会水産環境保全委員会企画シンポジウム>

農林水産業の気候変動影響評価手法と水産分野における将来予測・適応策

一 水産分野における課題と展望一

日時・場所：令和6年3月27日（水） 09:30-17:30 第1会場

開催方法：対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド

企画責任者：木所英昭・瀬藤 聡・笥 茂穂（水産機構資源研）・鬼塚 剛（水産機構技術研）

09:30-09:35 開会の挨拶

水産環境保全委員会 委員長

09:35-09:40 趣旨説明

木所英昭（水産機構資源研）

I. 農林水産業の気候変動影響評価・適応策

座長：木所英昭（水産機構資源研）

09:40-10:15 1. IPCCの報告書における農業・食料分野の影響評価・適応策

長谷川利弘（農研機構）

10:15-10:50 2. 農業分野の影響評価に用いるデータセットと影響評価・適応策

西森基貴（農研機構）

10:50-11:25 3. 日本周辺の海洋環境データセットの整備と今後の計画

石川洋一（海洋研究開発機構）

11:25-12:00 4. 気候変動の影響を考慮した資源管理方策の検討

北門利英（東京海洋大）

12:00-13:00 昼休み

II. 水産分野における将来予測と適応策の事例

座長：堀 正和（水産機構資源研）

13:00-13:25 1. 水産分野の気候変動評価に必要な海洋環境データセット

瀬藤聡・木所英昭・奥西武・井桁庸介・高見秀輝・笥茂穂・堀正和・八木佑太・川内陽平・鈴木勇人（水産機構資源研）・吉田吾郎・島袋寛盛・鬼塚剛・須藤健二（水産機構技術研）・矢野寿和（水産機構水大校）

13:25-13:50 2. 三陸におけるワカメ養殖業の将来予測と適応策

笥 茂穂・瀬藤 聡・木所英昭（水産機構資源研）・鬼塚 剛（水産機構技術研）

13:50-14:15 3. 瀬戸内海におけるワカメ養殖業の将来予測と適応策

鬼塚 剛・吉田吾郎・島袋寛盛（水産機構技術研）・竹中彰一・田村稔治（愛媛県）・笥 茂穂・瀬藤 聡（水産機構資源研）・郭 新宇（愛媛大）・東 博紀（国環研）

14:15-14:40 4. 日本周辺海域の藻場生態系の将来予測と適応策

須藤健二・島袋寛盛（水産機構技術研）

14:40-15:05 5. 日本周辺海域におけるアワビ資源の将来予測と適応策

堀 正和・高見秀輝（水産機構資源研）・須藤健二・島袋寛盛（水産機構技術研）

15:05-15:20 休憩

座長：笥 茂穂（水産機構資源研）

15:20-15:45 6. 日本周辺海域における底魚資源の分布変化

八木佑太・川内陽平・鈴木勇人・瀬藤 聡・木所英昭（水産機構資源研）・矢野寿和（水産機構水大校）

15:45-16:10 7. 東北海域における底魚資源の分布の将来予測

鈴木勇人・八木佑太・川内陽平・瀬藤 聡・木所英昭（水産機構資源研）・矢野寿和（水産機構水大校）

16:10-16:35 8. 社会経済シナリオを用いた日本の水産業の将来予測と適応策
木所英昭・瀬藤 聡（水産機構資源研）・須藤健二（水産機構技術研）

16:35-16:45 休憩

III. 総合討論

16:45-17:25 総合討論

進行：木所英昭（水産機構資源研）

17:25-17:30 閉会の挨拶

水産環境保全委員会 副委員長

企画の趣旨

令和 5 年夏の猛暑による農業への影響が米の品質低下を始めとして顕在化している。また、地球温暖化による海水温の上昇に加えて常磐、三陸沖では、黒潮続流の大蛇行によって水温が非常に高い状態が続くと共に、これらの海域では南方系の魚の来遊量、漁獲量の増加がみられている。このような気候変動による農林水産業への影響が近年特に顕在化し、国民の関心が高まっている。我が国の気候変動による影響に関しては、気候変動適応法の施行後、環境省によって概ね 5 年ごとに気候変動影響報告書として総合的に報告されることとなった。また、令和 2 年度からは影響評価報告書に寄与することを目的として、環境総合推進費による研究プロジェクト「気候変動影響予測・適応評価の総合的研究（S18）」が推進されている。この研究プロジェクトでは、共通の気候シナリオと社会・経済シナリオを用いて、我が国の各分野における影響を総合的に評価することを目標としており、農林水産業の研究テーマも設けられている。しかし、同じ農林水産分野においても陸上の気象データや水利用・土地利用データを用いる農業と、水温をはじめとする海洋のデータを用いる水産業では、将来予測に用いるデータセ

ットが大きく異なり、利用可能な海洋のデータは陸上のデータに比べて限定的である。また、適応策の検討においても、養殖業は品種改良や飼育方法・対象品目の変更など農業と同様である一方、天然資源を利用する漁業では資源管理の考え方も含めて農業とは異なった視点での適応策が必要となる。以上のように、同じ一次産業である農林水産業においても農業と水産業では気候変動による影響の予測手法が大きく異なっている。そこで本シンポジウムでは、S18 のプロジェクトで行われている農林水産業の研究を具体例として、まず気候変動による将来予測・適応策における農業と水産業の相違を整理する。そして、水産業の課題で開発された将来予測手法や適応策をもとに水産分野の研究で特に強化が必要な課題を抽出すると共に、農業分野とも連携しながら水産業のよりよい将来予測と適応策を検討することを目的として開催する。

日本水産学会春季大会水産政策シンポジウム
「福島第一原発処理水と水産業」

- ・開催日：3月27日
- ・開催場所：第4会場

・プログラム

1. 1315-1320: 開会のあいさつ（会長／海洋大・東海正）
2. 1320-1335: 主旨説明－2011年からの経緯を踏まえて－（理事／東大・八木信行）
3. 1335-1400: 自然科学的整理（福島大・和田敏裕）
4. 1400-1425: 生産現場の状況（福島県水産事務所・冨谷敦）

<休憩 1425-1435>

5. 1435-1500: 国内外の流通状況（ニッスイ・金柱守）
6. 1500-1525: 農産物との違い（福島大・小山良太）
7. 1525-1550: 風評被害とはなにか（東大・関谷直也）

<休憩 1550-1600>

8. 1600-1625: シナリオプランニングに基づく対処案策定（笹川平和財団・小林祐喜）
9. 1625-1720: 総合討論－必要な水産科学（東大・牧野光琢）
10. 1720-1730: 閉会の挨拶（京都府立大・石川智士）

＜令和6年度日本水産学会春季大会 水産学若手の会シンポジウム＞

20代の水産研究者が考える〇〇 ～これまでの経験・価値観・研究の観点から～

日時・場所：2024年3月27日（水）13：00～16：30 第7会場

企画責任者：米澤遼（東京大学）・立山和樹（マルハニチロ）・相馬智史（水産研究・教育機構）・加藤豪司（東京海洋大学）

- 13:00~13:05 開会挨拶・趣旨説明 企画責任者：米澤 遼
- 13:05~13:35 魚類血液凝固系の魅力 ～ネコザメ新奇血液凝固カスケード～
松井 信太郎（九州大学 農学研究院 水族生化学分野 特別研究員 PD）
- 13:35~14:05 ウミウシに魅せられてから博士進学まで ～大学院生としてどう生き残るか～
溝端秀彬（東京大学大学院 農学生命科学研究科 特別研究員 DC1 内定）
- 14:05~14:35 三次元潜水行動解析からみた定着氷下のアデリーペンギンの採餌戦略
渡邊日向（国立極地研究所）
- 14:35~14:50 休憩
- 14:50~15:20 学部卒でも大丈夫！ ～水産機構に就職してから博士号をとるまで～
半沢祐大（水産研究・教育機構水産資源研究所 社会・生態系システム部）
- 15:20~15:50 外食企業における水産研究
鈴木 凜太郎（株式会社ゼンショーホールディングス 中央技術研究所）
- 15:50~16:20 パネルディスカッション
- 16:20~16:30 閉会挨拶 水産学若手の会委員長：加藤豪司

企画趣旨

水産分野は水圏環境に生息するあらゆる動植物を対象とするため、研究手法やその成果の活用方法は多岐に渡る。我が国では、企業・大学・公設研究所などあらゆる機関においてユニークな水産研究が行われており、海洋大国「日本」を支えている。しかし、各機関に所属する若手研究者同士の相互理解や議論の場は限定的であり、水産研究の分野に進む20代も決して多くはないのが現状だ。そこで、本シンポジウムでは異なる機関の若手研究者同士を繋げ、より多角的に水産研究を議論する場を設けることを目的とする。本シンポジウムは、未来の水産業・水産研究を担う学生に、各研究機関で活躍している若手研究者の経験、価値観、研究やその思いを知ってもらう非常に有意義な機会にもなると考える。本シンポジウムを、若手水産研究者の有機的な異分野融合と、次世代の水産研究者の種を育てる場としたい。

<令和6年度日本水産学会春季大会>

水産学若手の会主催 ナイトポスターセッション

日時・場所： 令和6年3月27日（水）17:30～20:00 東京海洋大学品川キャンパス

開催方式： 対面式（非学会員のご参加歓迎，当日飛び入り参加可能）

参加費： 社会人500円（学生は無料）

ポスター形式： 自由（過去に発表済み，本大会で発表したポスターでも可）

※オフィシャルな発表業績にはカウントされないため注意

企画責任者：加藤豪司（東京海洋大学）

担当委員： 松井英明（水産大学校）・米澤遼（東京大学）・小祝敬一郎（東京海洋大学）

17:30～17:35 開会の挨拶・乾杯 企画担当：松井英明

17:35～19:45 ポスター発表・意見交換

19:45～19:50 閉会の挨拶 令和6年度委員長：小祝敬一郎

19:50～20:00 撤退

企画趣旨

日本水産学会水産学若手の会では，学生・若手研究者の交流，および研究の意見交換を促進することを目的に，夕刻以降に独自のポスター発表の企画を行う。本企画は，「国際学会でのアルコールが振舞われるポスターセッション」のようにドリンク類を楽しみつつ，水産学に関するポスターを囲みながら交流する場を提供するものである。昨年度の秋季大会の際に開催した本企画では，大変多くの参加者と発表ポスターが集い，研究内容，進路，ライフワークバランスなどの意見交換が積極的になされていた。若者だからこそ抱える研究やキャリアパスへの悩みなどについて，同世代で共有し解決する場が強く求められている。今年度の本企画を通して，水産学の次代を担う若手のネットワーク形成に活用していただきたい。また，本企画の対面での開催は，春季大会についてはコロナ禍が明けて実に5年ぶりとなる。初めて参加する方だけでなく，古参の研究者にもぜひとも参加いただければ幸いである。

〈水産増殖懇話会講演会〉

国内養殖産業におけるこれからの育種

日時：令和6年3月27日 13：00～17：00

開催方式 対面のみ

企画責任者：澤田好史・阿川泰夫（近畿大学）

参加費：無料

会場：第3会場

13:00-13:05 趣旨説明 開会の挨拶 澤田好史（近畿大学）

座長 阿川泰夫

13:05-13:35 I. 養殖現場における育種の現状と今後の需要 （中平博史 全国海水養魚協会）

13:35-14:05 II. 養殖魚における耐病性育種研究 （坂本 崇 東京海洋大学）

14:05-14:35 III. ブリ優良系統の利用と管理体制の構築（小林真人 水産機構開発センター）

14:35-14:50 休憩

座長

14:50-15:20 IV. 優良魚 DNA 解析手法の技術進展と応用について（阿川泰夫 近畿大学）

15:20-15:50 V. ゲノム編集によるマダイの育種（家戸敬太郎 近畿大学）

15:50-16:20 VI. 育種における知財の保護について（竹川義彦 水産庁栽培養殖課）

16:20-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶 阿川泰夫（近畿大学）

企画の趣旨

国内養殖は、多様な対象種について行われ、世界的にみて高い技術水準にあるものの、長期的には生産量が伸びていない現状にある。この原因として、魚ばなれと、近年の、養殖飼料の主原料である魚粉・油、漁船の燃料価格、電気・ガス料金、資機材の価格上昇を、養殖産品価格に転嫁できていない現状がある。加えて、海洋温暖化による生産への悪影響も顕在化している。本シンポジウムでは、これらの課題の解決策1つとして、育種に焦点を当て、生産者、研究・開発機関、行政のそれぞれの立場から、育種の需要や現状、作出品種の知財化、新しい育種技術などをご紹介頂き、これからの国内育種について議論する。

定置網漁業における数量管理と選択漁獲技術

日時・場所：令和6年3月27日(水) 13:15～17:30 第5会場

企画責任者：甘糟和男(海洋大)・秋山清二(海洋大)・河邊 玲(長大海七)・八木光晴(長大院水環)・
福田美亮(水産機構技術研)・片山知史(東北大院農)

13:15～13:20 開会の挨拶・趣旨説明 漁業懇話会委員長

座長：甘糟和男(海洋大)

13:20～13:50 定置網漁業における数量管理のための技術開発
武田行生(水産庁)

13:50～14:20 TAC魚種の追加に定置網としてどう向き合うか
玉置泰司(日本定置漁業協会)

14:20～14:50 クロマグロの資源回復と定置網漁業の生産性向上を同時に実現する漁獲コントロール技術の開発

秋山清二・宮本佳則・内田圭一・東海 正(海洋大)・田中友樹(青森水総研)・
山崎慎太郎(水産機構技術研)・野呂英樹((株)ホリエイ)

14:50～15:00 休憩

座長：秋山清二(海洋大)

15:00～15:30 神奈川県における定置網における選択漁獲技術開発の取組み
田村怜子(神奈川水技セ相模湾試験場)・磯崎晴一(株式会社川長水産)・
宮本隆典(海洋大)

15:30～16:00 富山県の定置網漁業におけるクロマグロ漁獲抑制対策の実証事例
大場隆史(富山水研)・小塚 晃(環日本海環境協力センター)・鷺北英司(鷺北漁業部)・
松平良介(徳島科学技術高等学校)

16:00～16:30 山口県地区におけるLEDの誘導による小型魚の放流技術開発
安部 謙(山口水研セ)・廣石芳郎((株)宇田郷定置網)・水口千津雄(水口電装(株))・
松下吉樹(長崎大)・川井雄五(ホクモウ(株))・志久 修(佐世保高専)

16:30～16:40 休憩

16:40～17:25 総合討論

17:25～17:30 閉会挨拶 漁業懇話会副委員長

企画趣旨

定置網は来遊魚群の入網を待つ漁獲を行う典型的な受動漁具であるため、特定の種やサイズを選択的に漁獲することが難しいと考えられてきた。一方、改正漁業法ではTAC魚種が拡大され、魚種別の数量管理が徹底されるため、定置網漁業においても特定の種やサイズを選択的に漁獲する技術が必要になる。平成31年に開催された第71回漁業懇話会では「太平洋クロマグロの資源管理と定置網漁業における漁獲コントロール技術」を取り上げ、定置網漁業におけるクロマグロの資源管理に関する技術的な課題について議論が行われた。その後も「太平洋クロマグロ漁獲抑制対策支援事業」や「定置網漁業等における数量管理のための技術開発事業」等が実施され、クロマグロはもとより、その他のTAC魚種の混獲回避や選択性を向上させる技術の開発が各地で進められてきた。本講演会では第71回漁業懇話会以降に実施された定置網漁業における選択漁獲技術の開発に関する取り組みを紹介し、その進捗状況を整理するとともに、技術的な課題について改めて議論する。